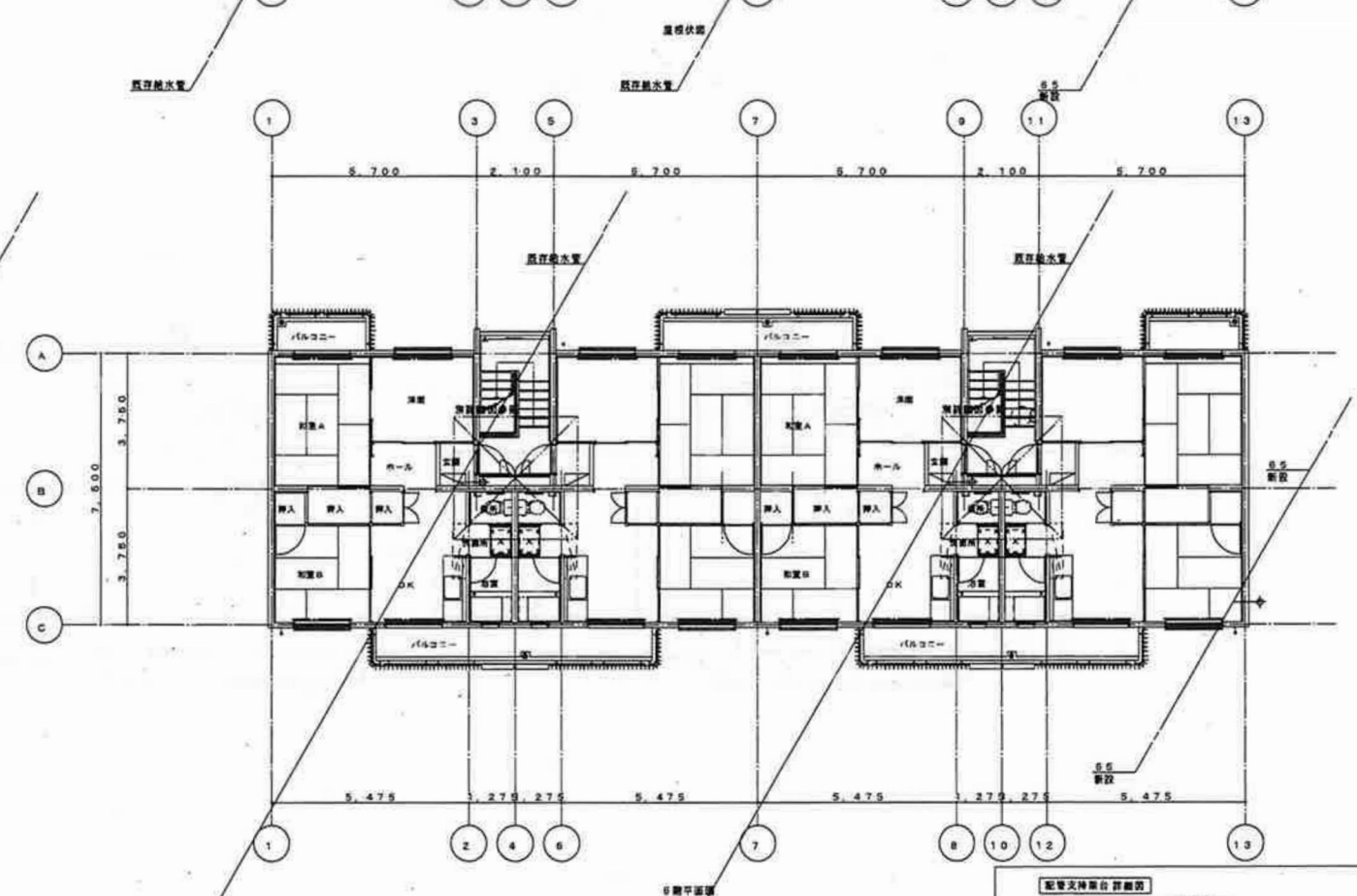
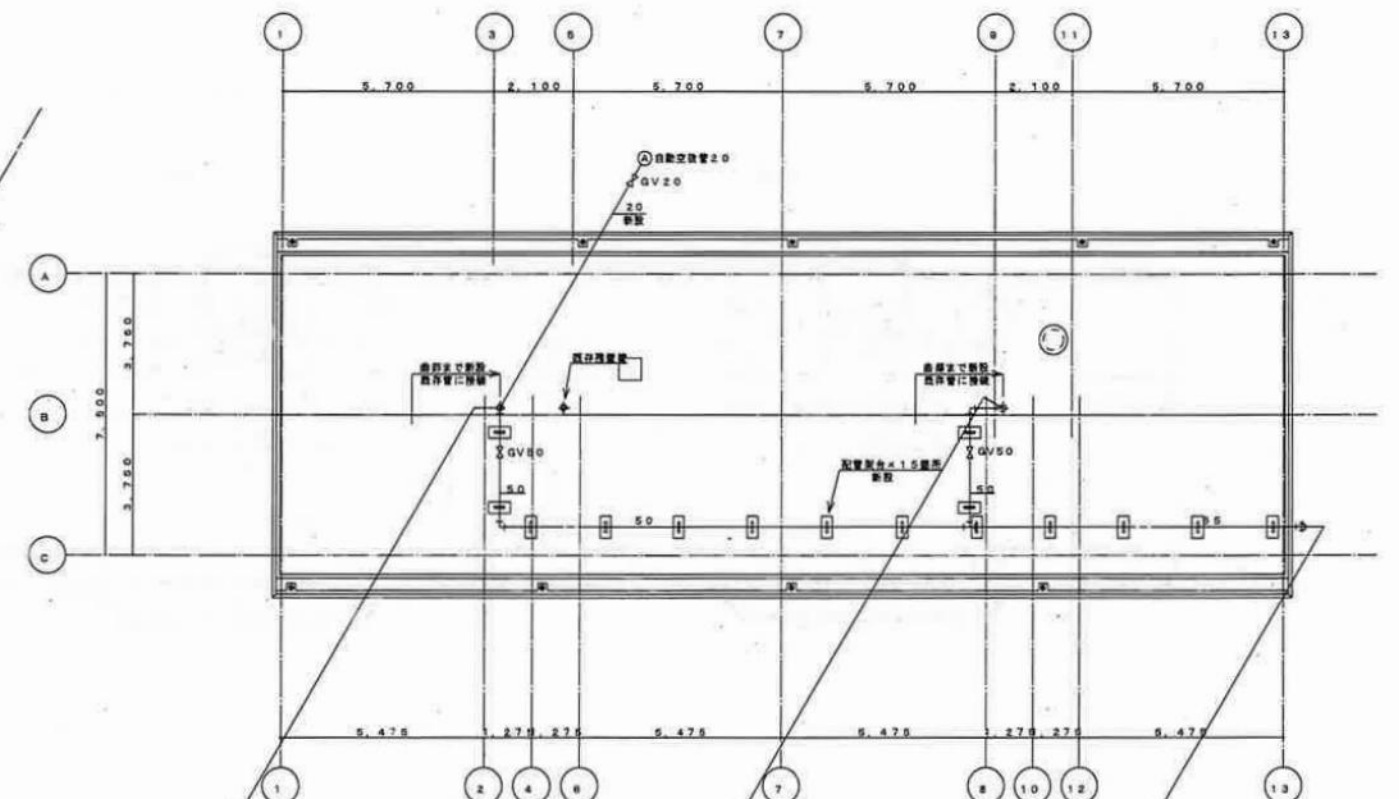
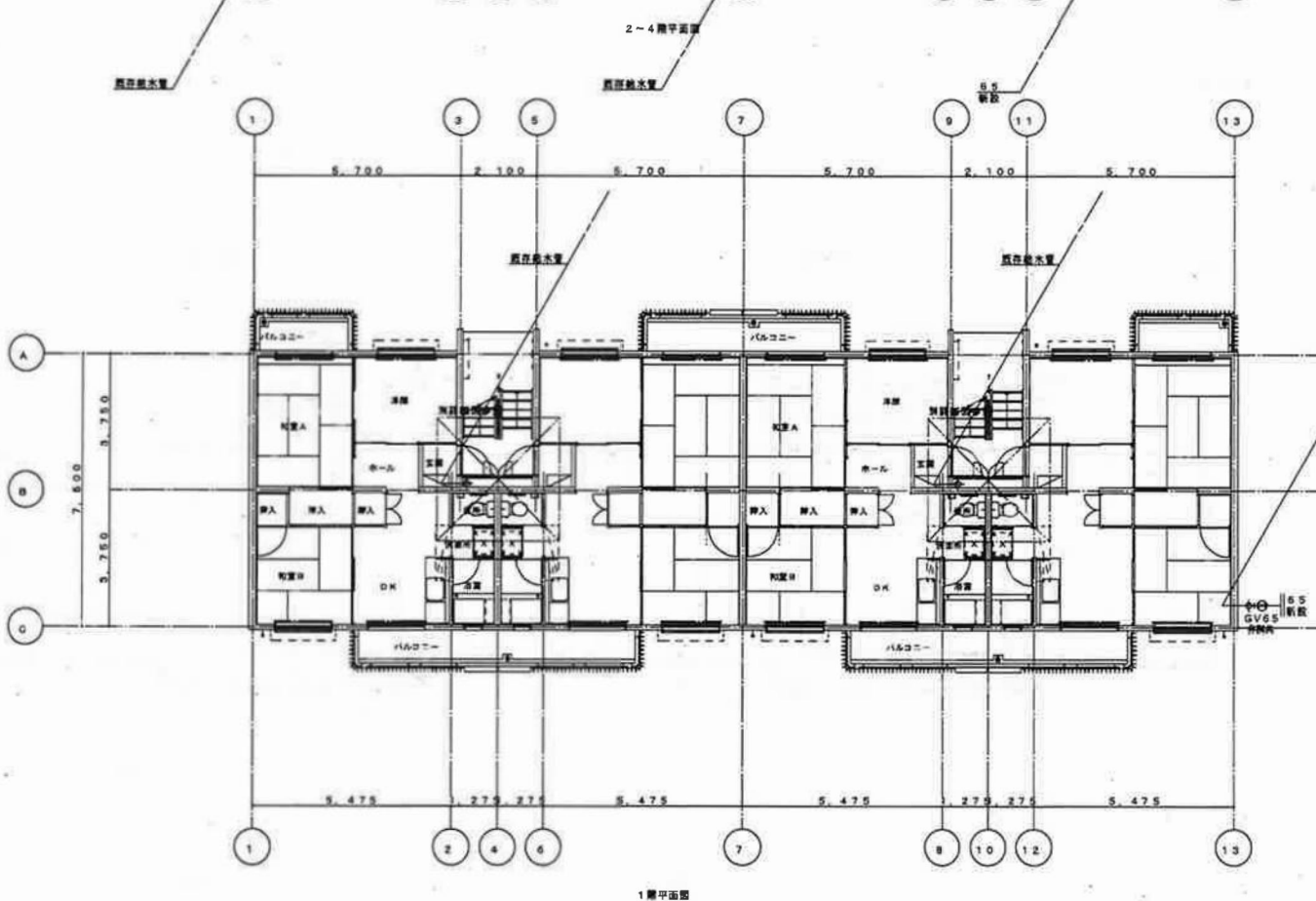
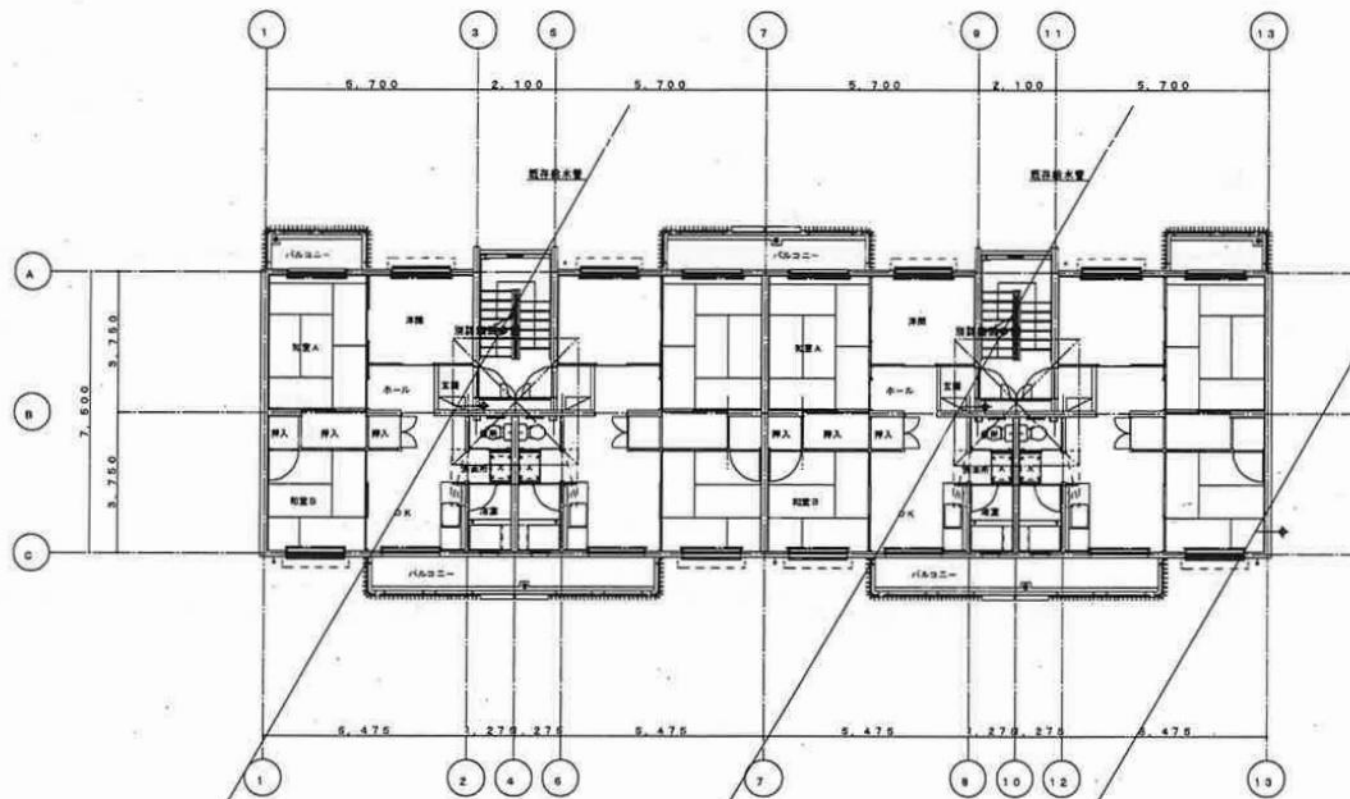
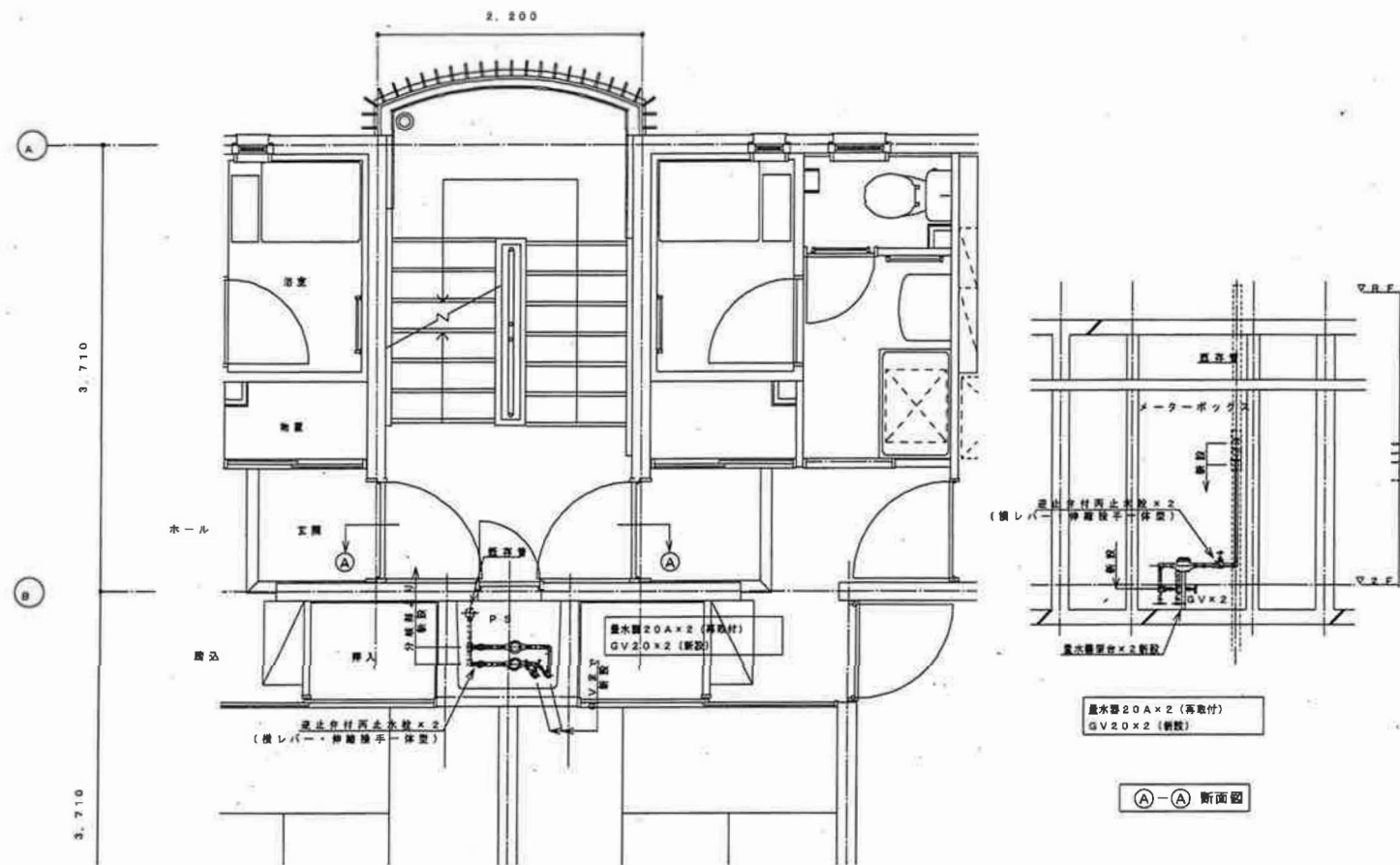


屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

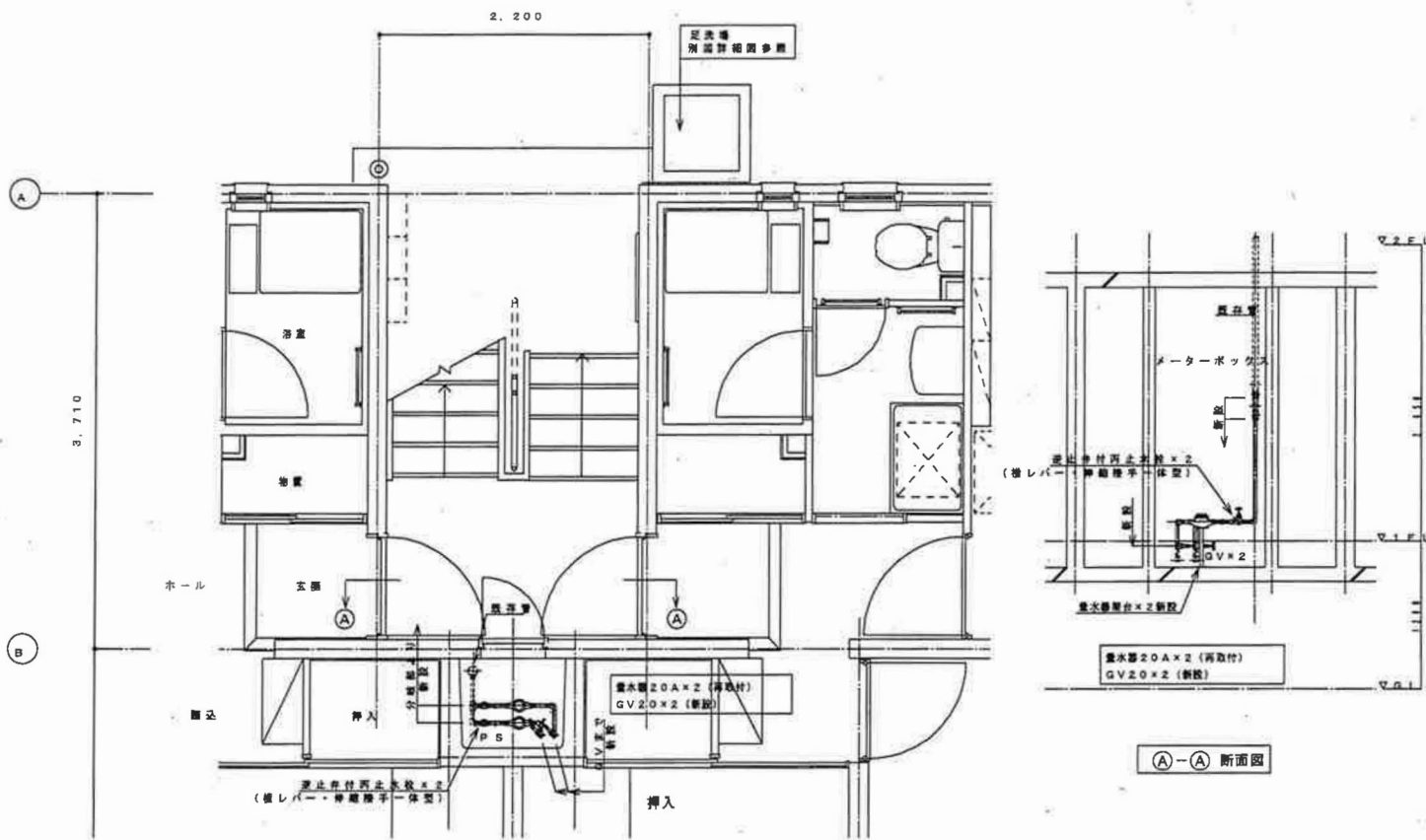
有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名 国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事
図面名 8号棟 1~R階 平面図 (新設)
船橋市建設局建築部建築課

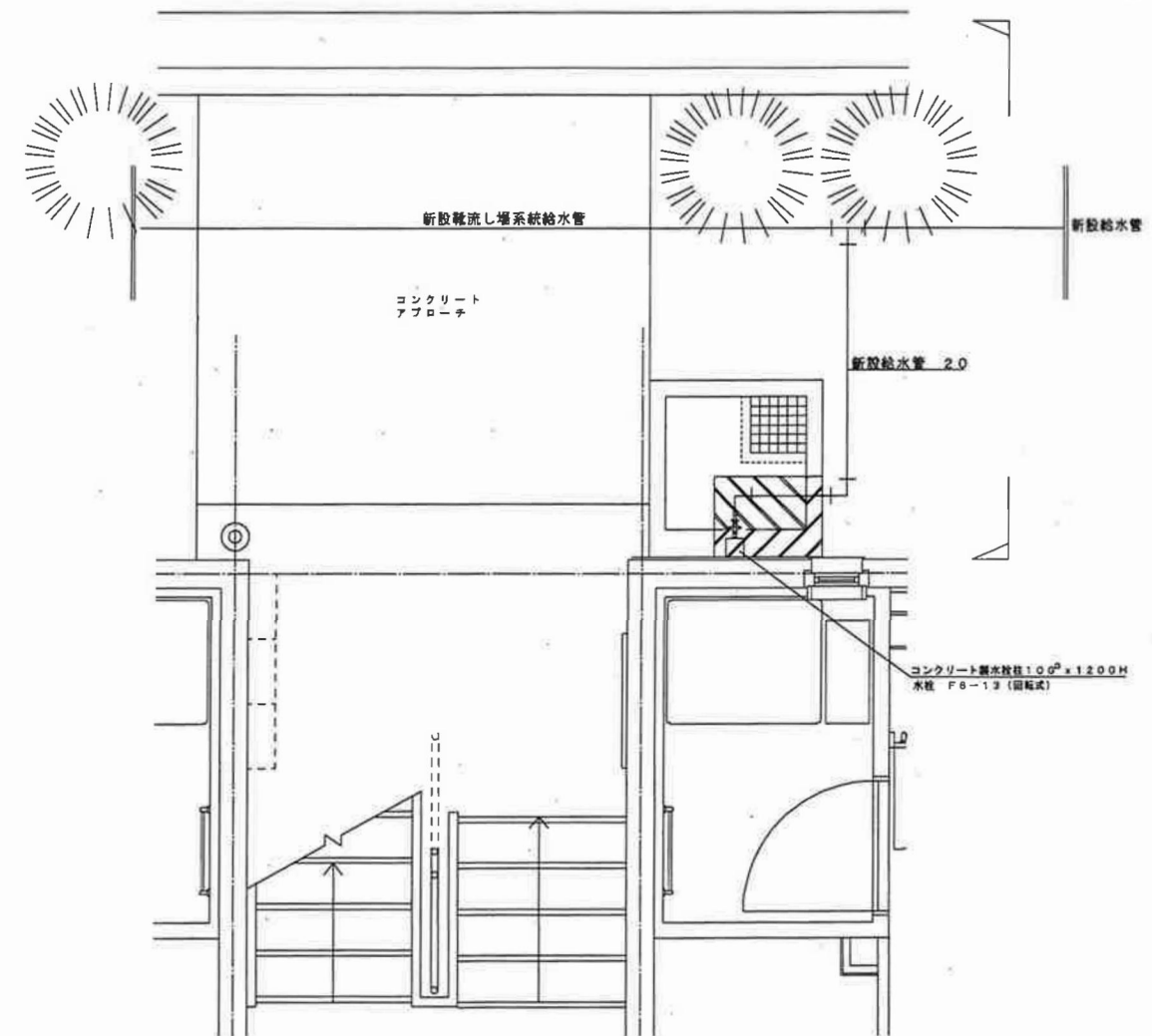
図面番号 K-41
(99/133)
令和7年度



1～7号棟 2～5階 量水器廻り詳細図 (新設)

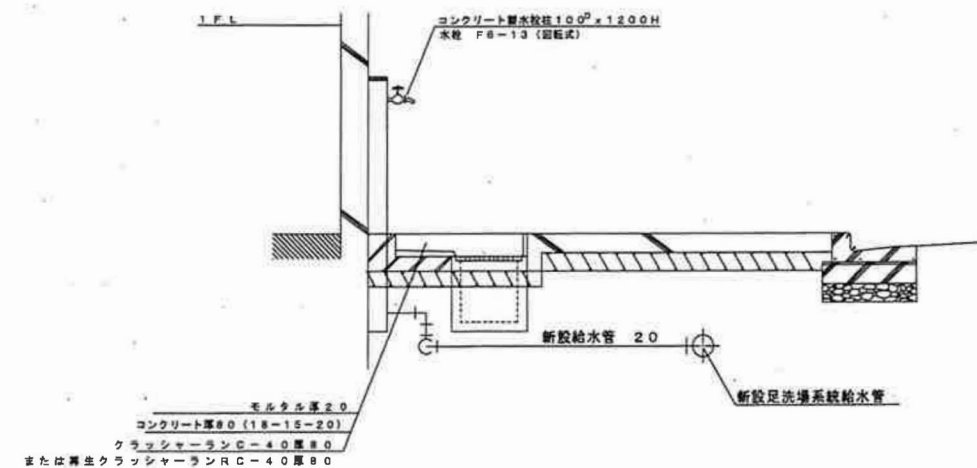


1～7号棟 1階 量水器廻り詳細図 (新設)



コンクリートはつり構造部分を示す。

足洗場平面詳細図 S=1/20

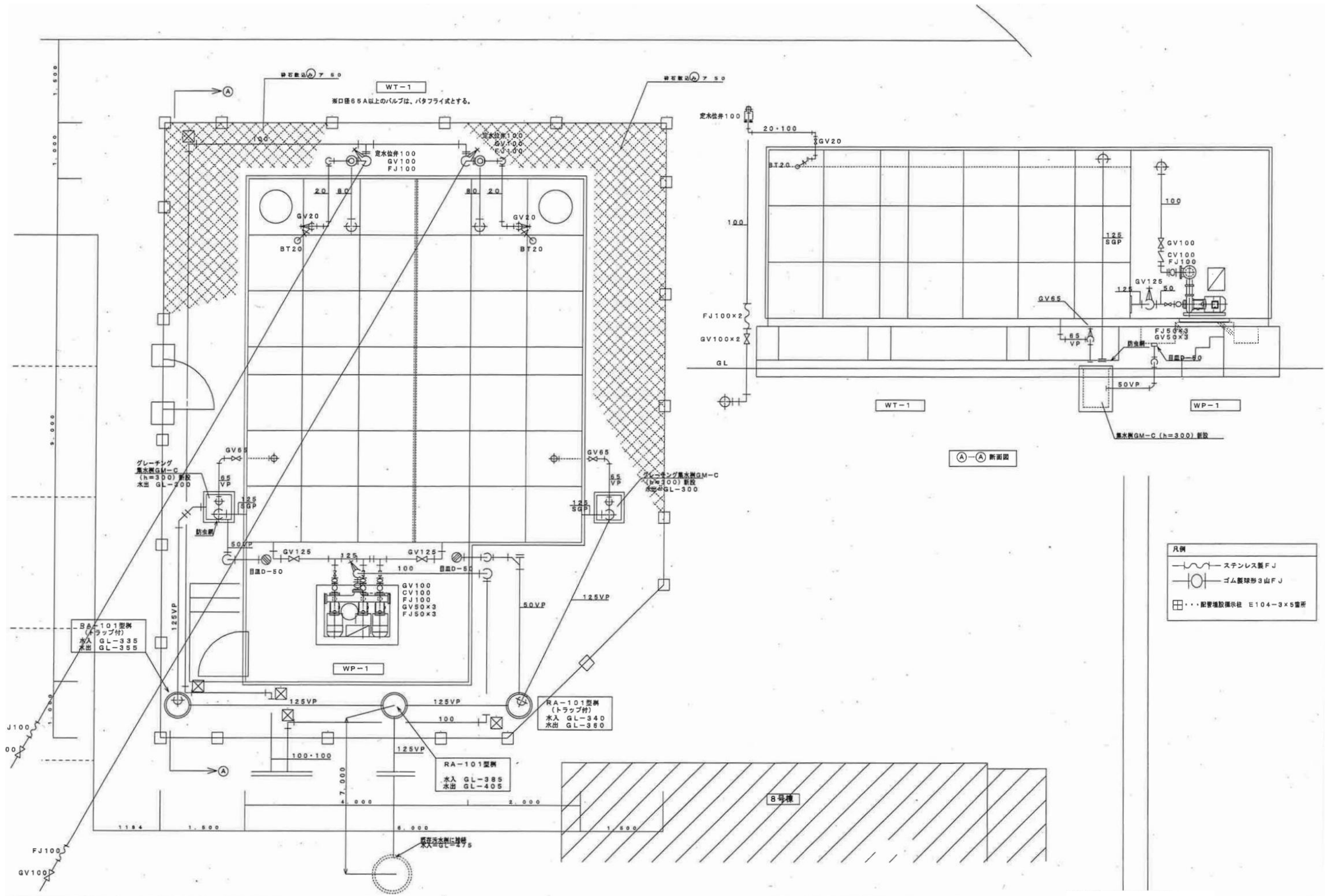


足洗場断面詳細図 S=1/20

屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤 彦

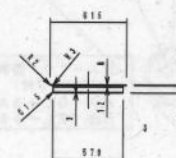
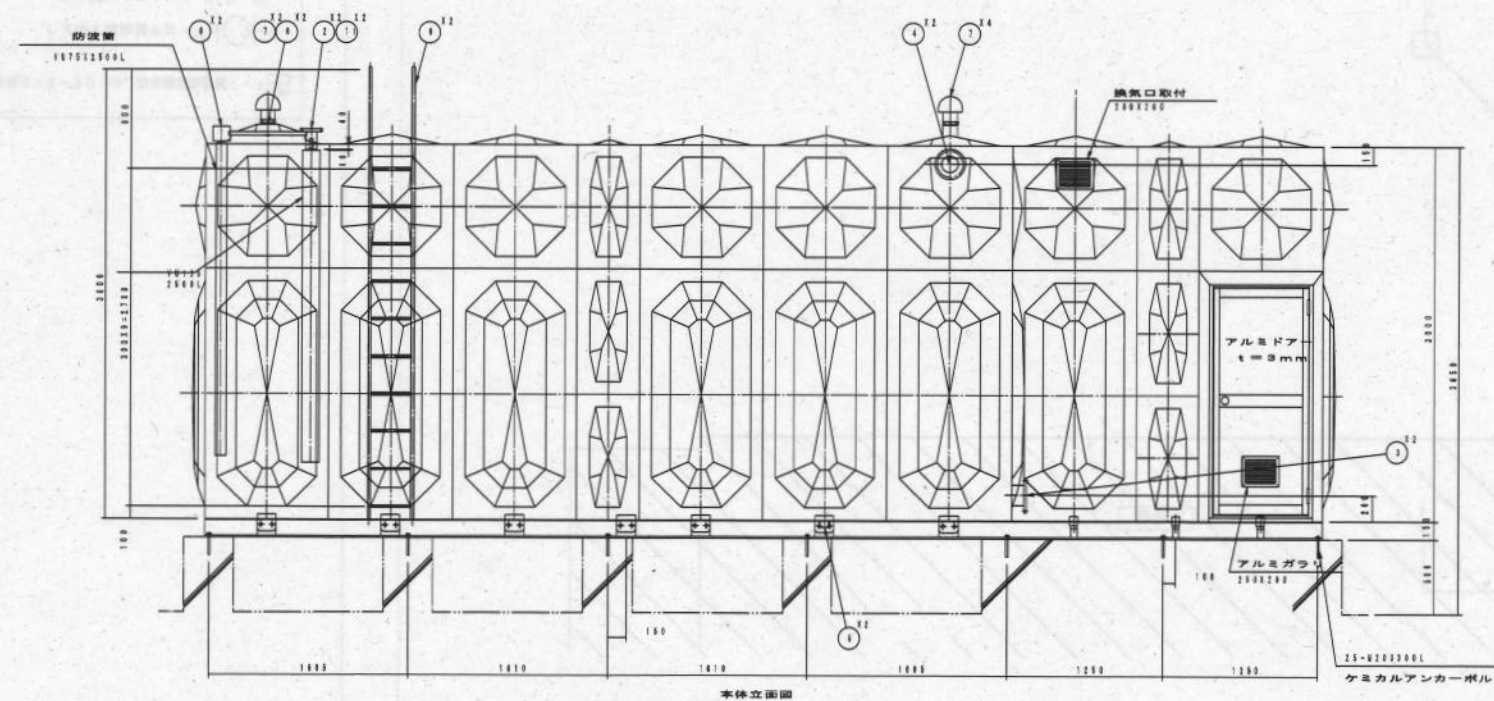
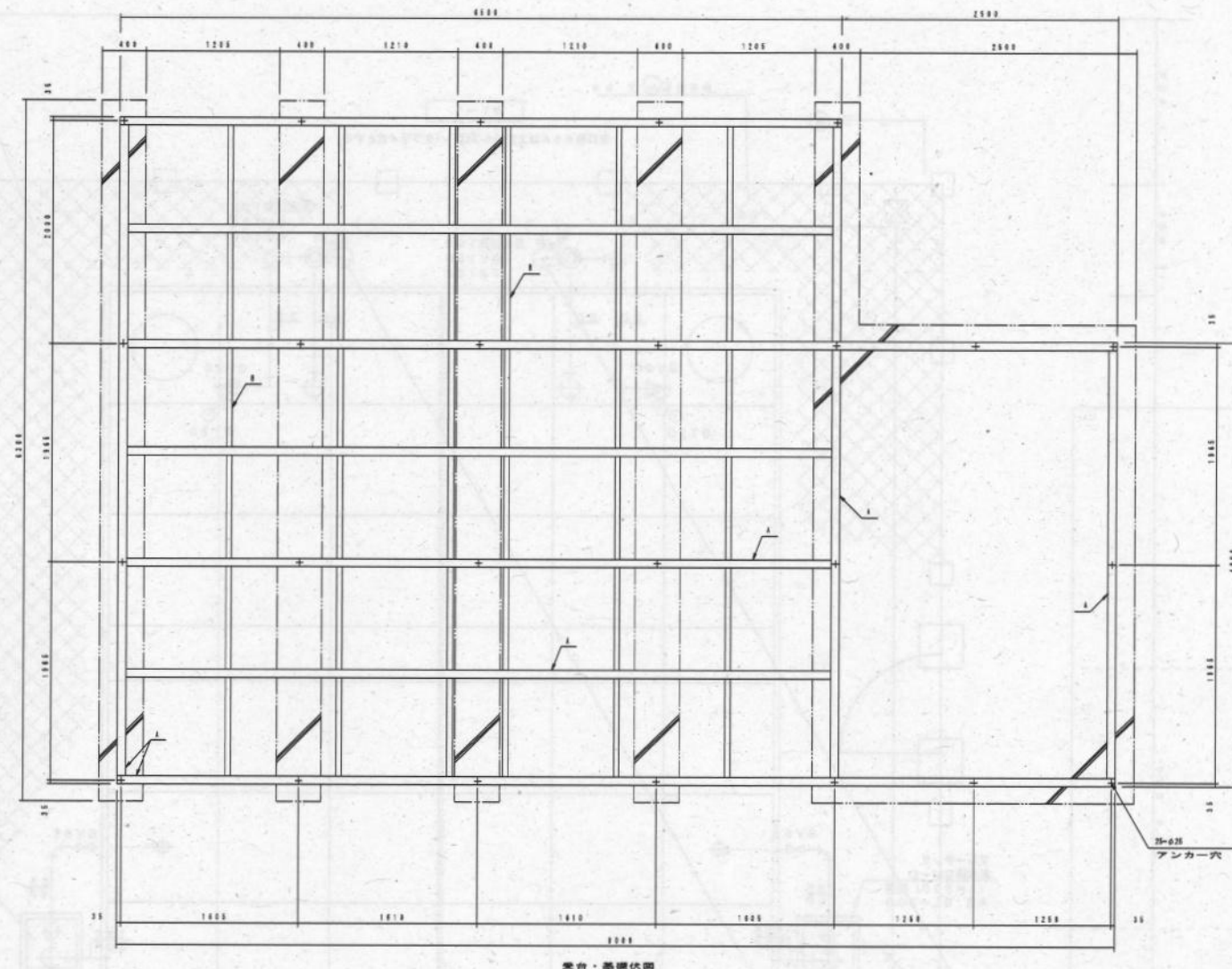
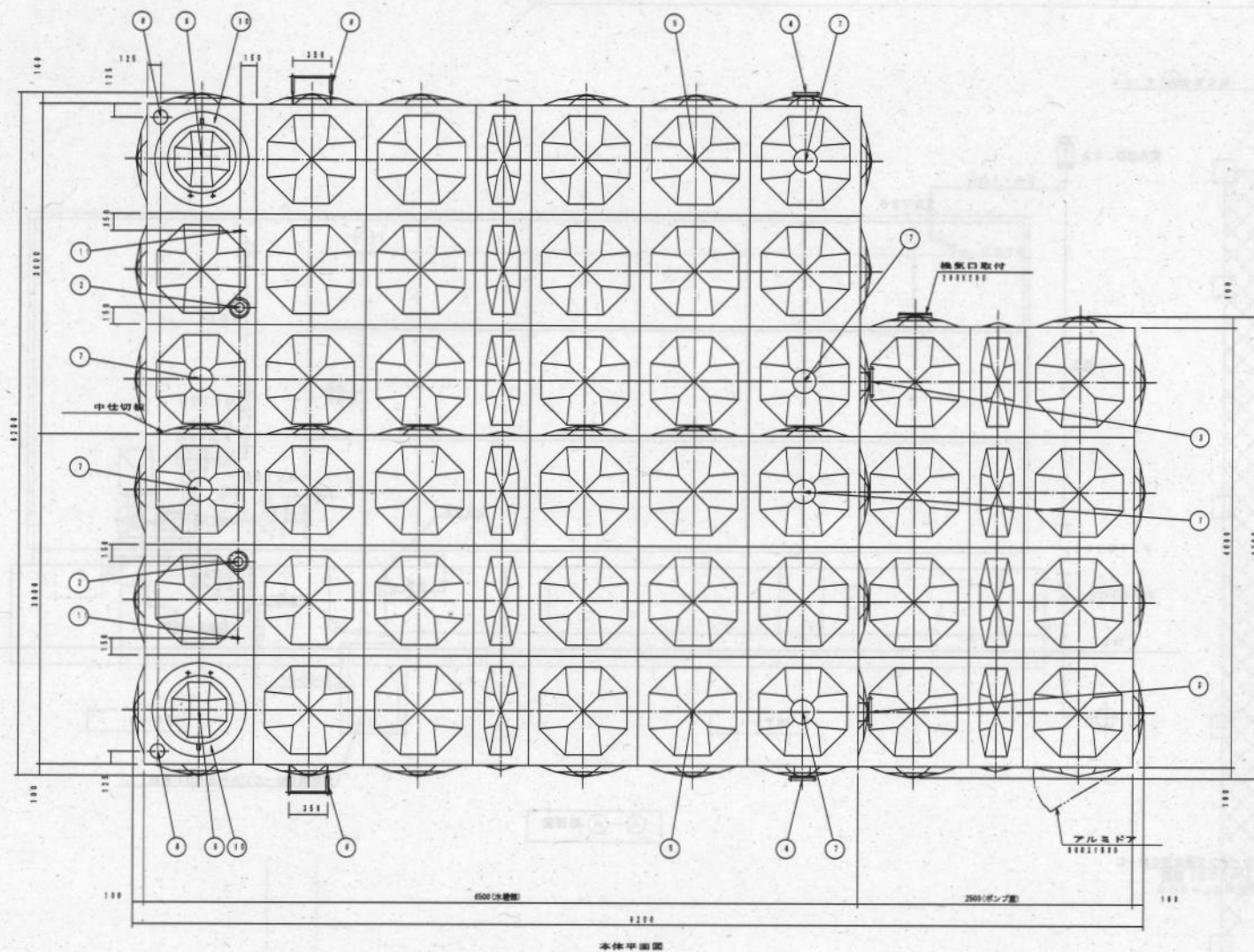
工事名	国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-42
図面名	1～7号棟 1～5階各戸量水器・足洗場廻り詳細図 (新設)	図面尺	(100/133)
作成	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



凡例	
	ステンレス製FJ
	ゴム製球形3山FJ
	配管増設標示柱 E104-3×5箇所

屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

	有限会社 佐藤建築構造設計事務所		工事名	国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事		図面番号
	一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号		図面名	受水槽・ポンプ室配管詳細図 (新設)		K-44
	一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦			船橋市建設局建築部建築課		(102/133)
				令和7年度		

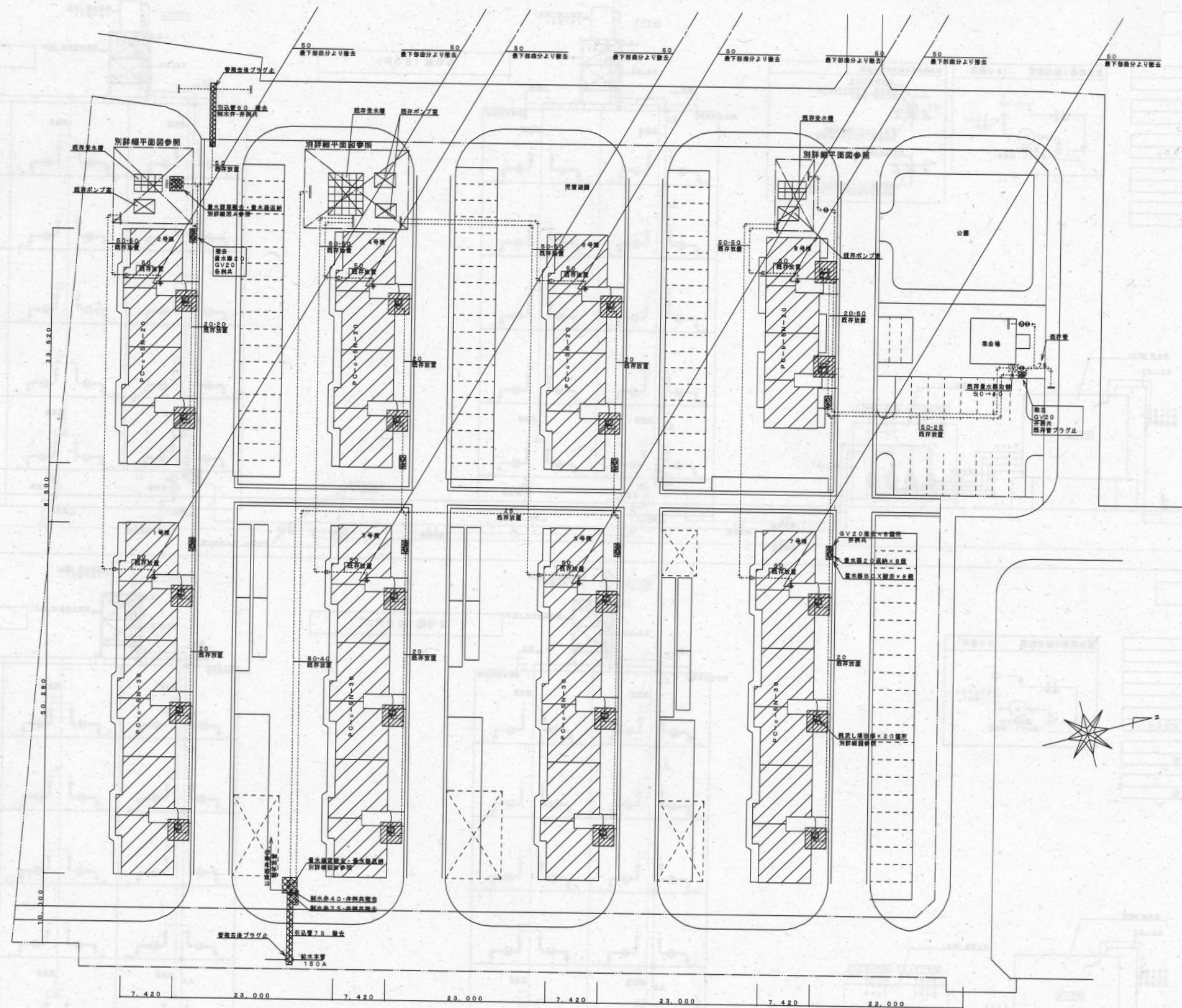
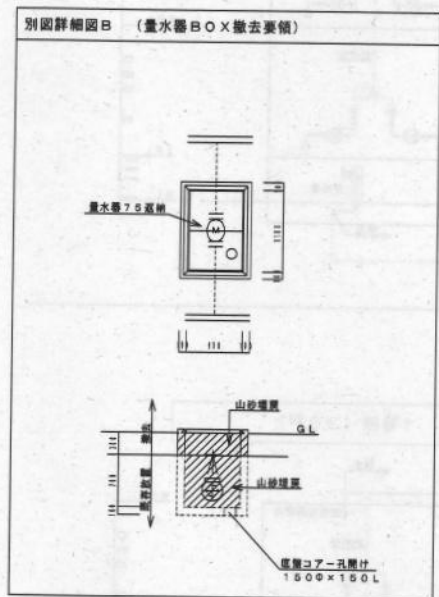


2. 換気口取付
(3/4寸)

アルミドア付属品
1. シリンダー錠
2. ドアストッパー

ステンレスパネルタンク仕様（参考図）						
設計水平容量		Kt= 1.1 G				
寸 法		1100(410) X 1900 X 1000				
本 体	天井板	11.5	鋼板上段	11.5	SUS304/L	
	側板下段	12.0	側板(プレス)	12.0	SUS400	
	ポンプ室	11.5			SUS400	
	S S 4 0 0					
実 合	A主部材 2-10017118 1		B割部材 2-10017118 1			
仕 上	ステンレス溶接部は酸洗い不動薬化処理					
	S S 部は溶融亜鉛メッキ					
付属品		通気・電線カバー・ポンプ室受水増仕切板は耐腐材付				
重 量		本体	110kg	受	10kg	
1 1	ボルトタップロ	SUS316	20	1	内外ソケット	
1 0	内 はしご	1101211/L	330X300	2	L30X30X3	
9	外 はしご	SUS304	350X300	2	20A・RB16	
8	電線取付用底	SUS316	50A	2	内外ソケット・防波板	
7	通 気 口	111	100A	1	防虫網付	
6	マンホール	1101211/L	φ600	2	施設式・2重蓋付	
5	排 水 口	SUS304	100	2		
4	溢 水 口	SUS316	120	2	120110EF 20204	
3	給 水 出 口	SUS304	150	2	120110EF 20204	
2	給 水 入 口	SUS316	80	2	120110EF 20204	
1	本 体	1101711/L	SUS444		内装配管付	
品番 名 称		材 質		寸 法	個数	備 考

特記：耐腐蝕仕様（スロッシング対応品）とする。



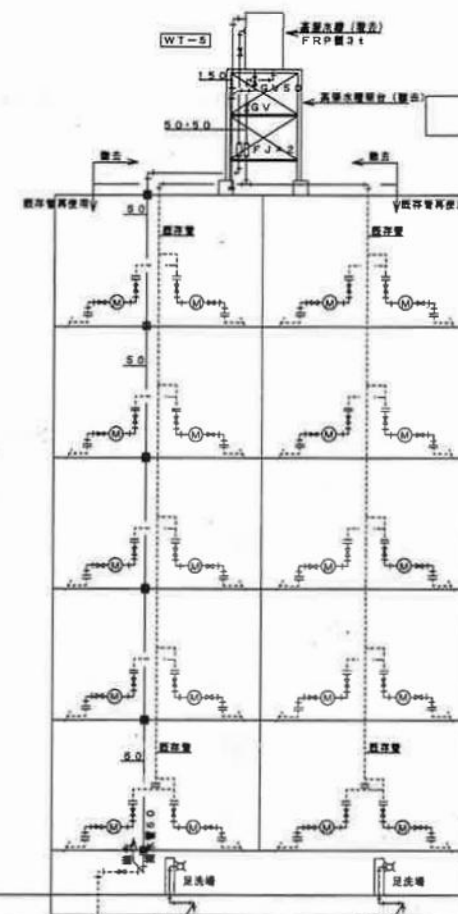
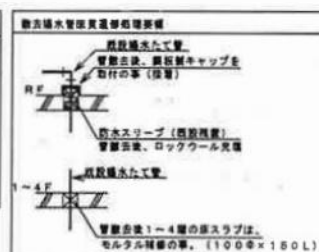
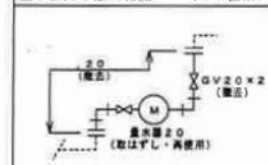
配置図 1/300

7～8号棟 給水配管系統図

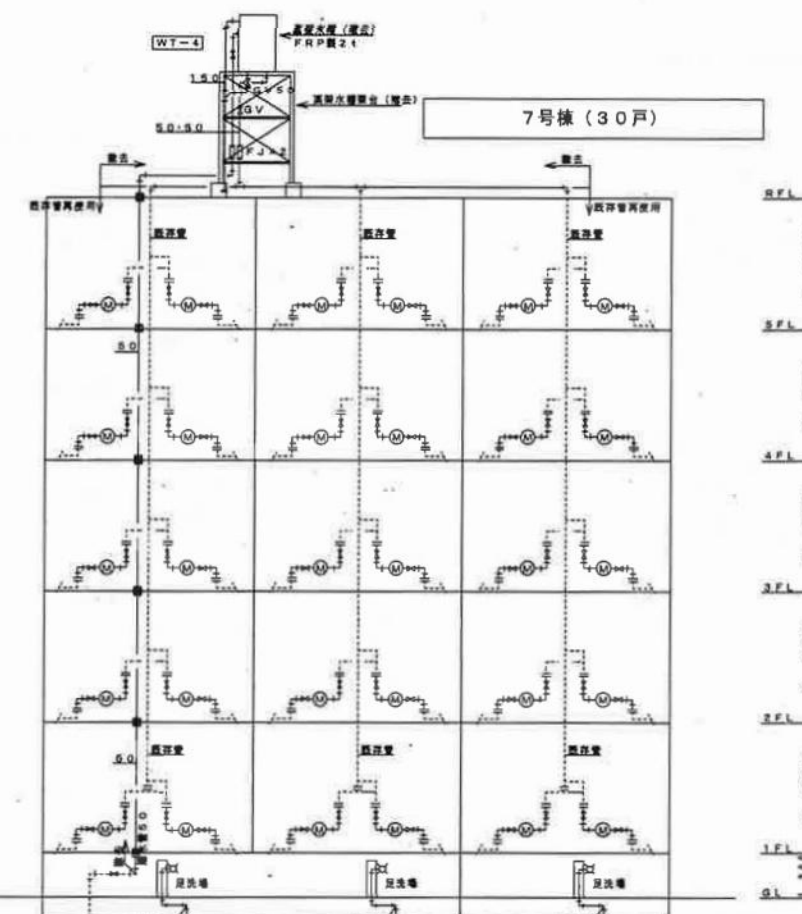
機器表 (撤去)

WT-3 FRP一体形 円筒形水槽
呼称 3.0T×1台WT-4 FRP一体形 円筒形水槽
呼称 2.0T×1台WT-2
FRP製水槽 4000×2500×2500hWP-2-1
40A×3Φ-200v-2.2kw×2台WP-2-2
40A×3Φ-200v-3.7kw×2台

量水器廻り撤去範囲 (50箇所)



8号棟 (20戸)



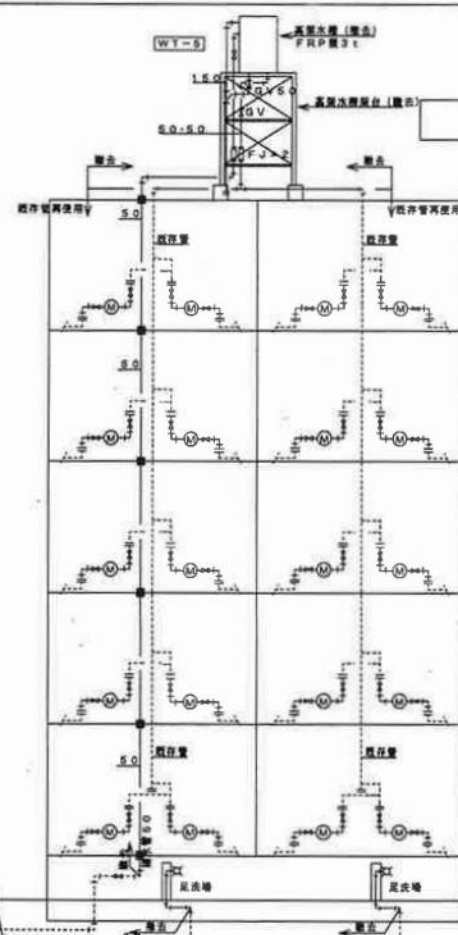
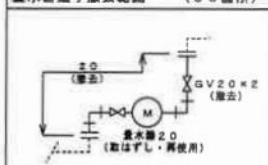
7号棟 (30戸)

1～2号棟 給水配管系統図

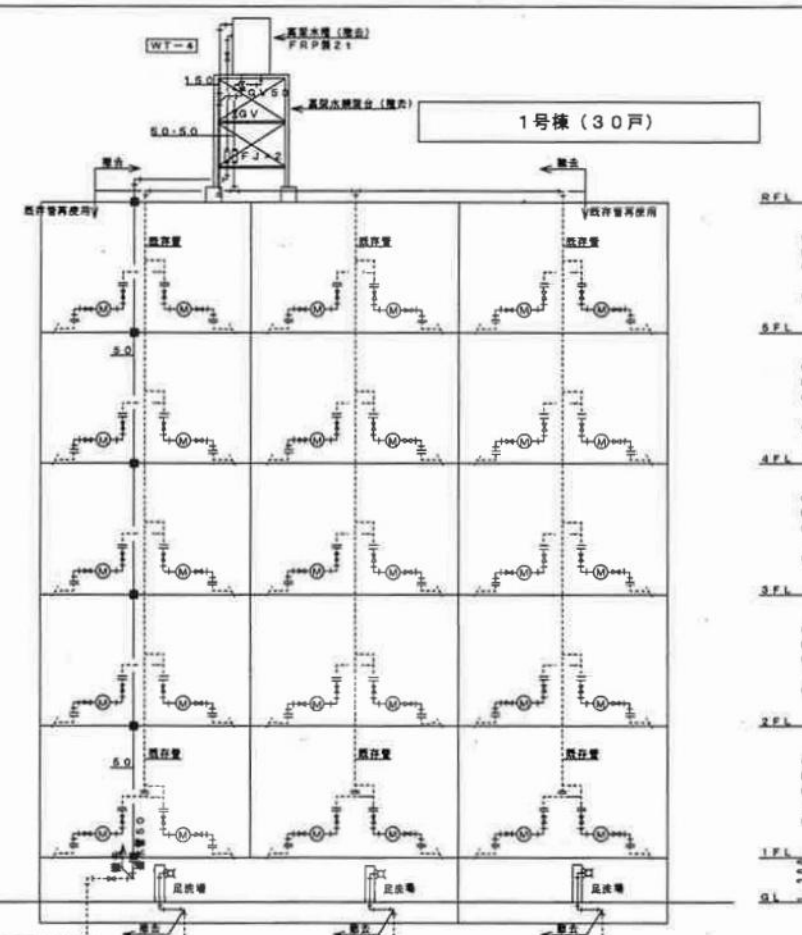
機器表 (撤去)

WT-3 FRP一体形 円筒形水槽
呼称 3.0T×1台WT-4 FRP一体形 円筒形水槽
呼称 2.0T×1台WT-3
FRP製水槽 3000×2500×2500hWP-3-1
40A×3Φ-200v-2.2kw×2台WP-3-2
40A×3Φ-200v-3.7kw×2台

量水器廻り撤去範囲 (50箇所)



2号棟 (20戸)



1号棟 (30戸)

屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤 博彦

工事名 国家公務員宿舎と住宅跡地建物解体工事
図面名 系統図-1 (撤去)
船橋市建設局建築部建築課

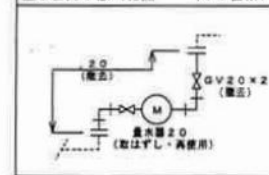
図面番号 K-47
(105/133)
令和7年度

7～8号棟 給水配管系統図

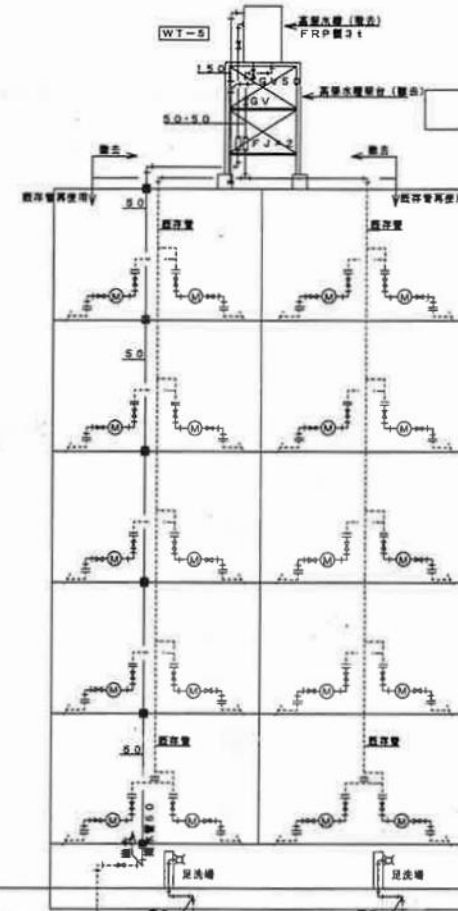
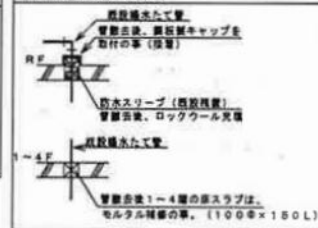
機番表 (撤去)

WT-3 FRP一体形 円筒形水槽 呼称 3.0T×1台
WT-4 FRP一体形 円筒形水槽 呼称 2.0T×1台
WT-2 FRP製水槽 4000×2500×2500h
WP-2-1 40A×3Φ-200v-2.2kw×2台
WP-2-2 40A×3Φ-200v-3.7kw×2台

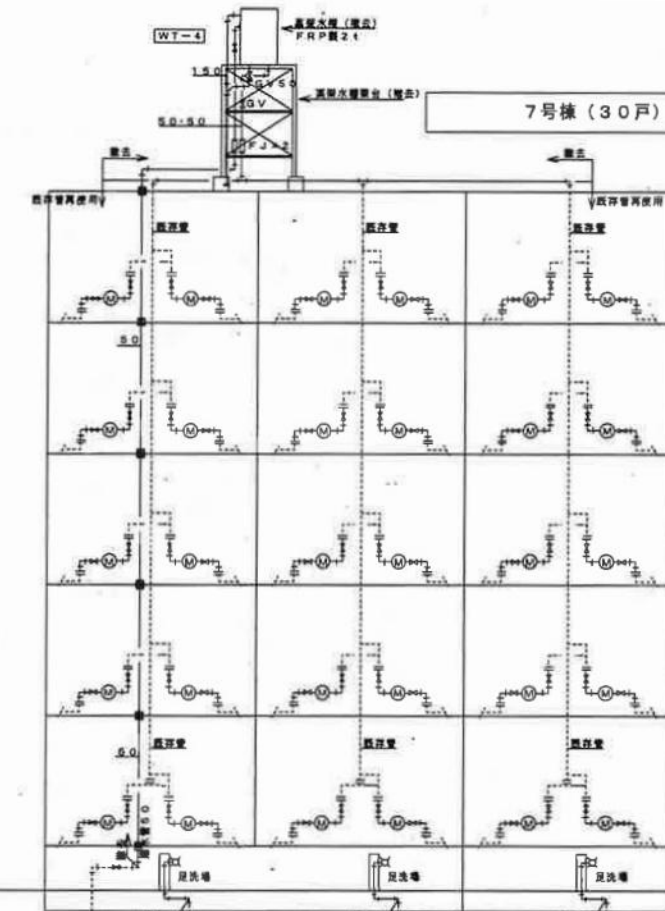
量水器廻り撤去範囲 (50箇所)



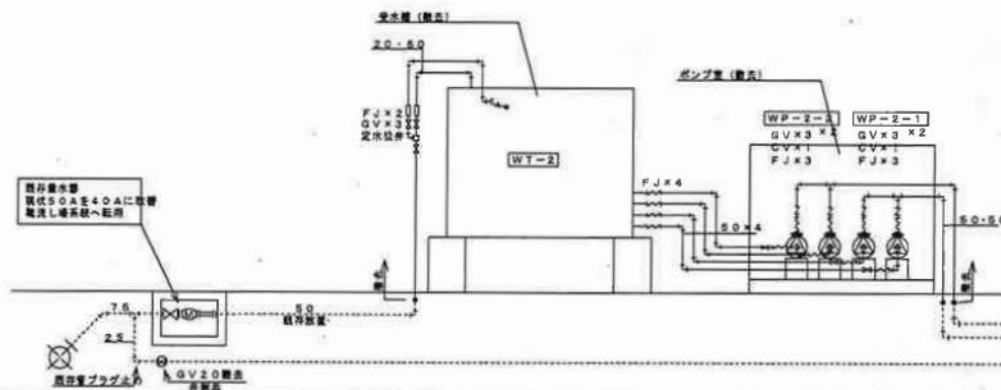
撤去給水管装置等詳細図解



8号棟 (20戸)



7号棟 (30戸)

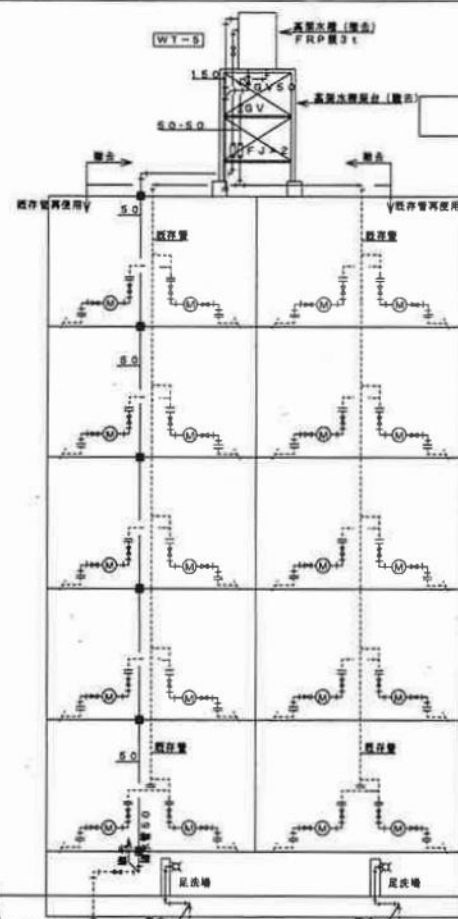
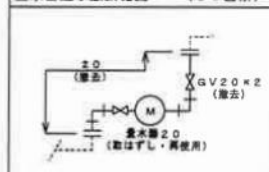


1～2号棟 給水配管系統図

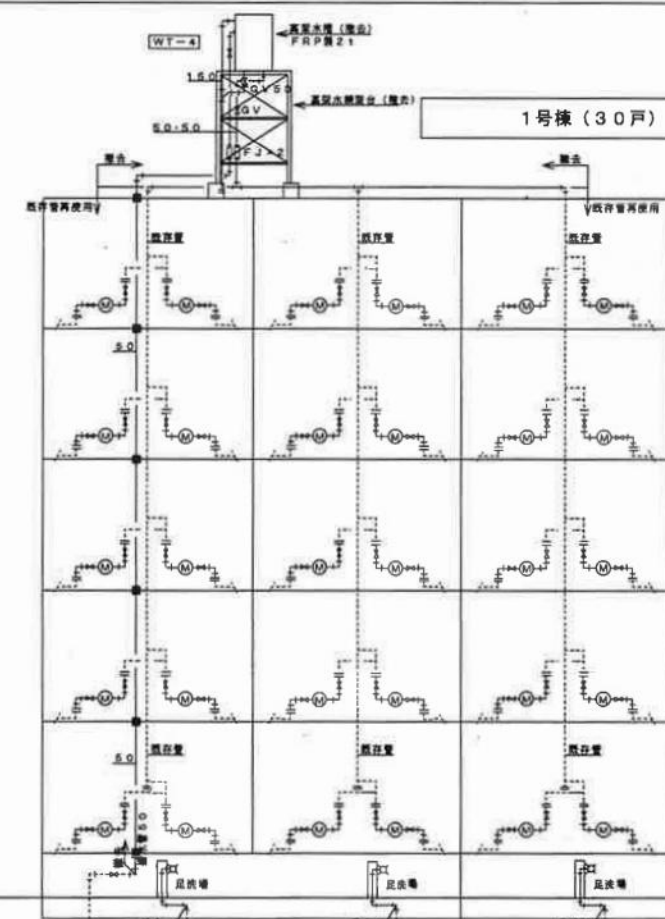
機番表 (撤去)

WT-3 FRP一体形 円筒形水槽 呼称 3.0T×1台
WT-4 FRP一体形 円筒形水槽 呼称 2.0T×1台
WT-3 FRP製水槽 3000×2500×2500h
WP-3-1 40A×3Φ-200v-2.2kw×2台
WP-3-2 40A×3Φ-200v-3.7kw×2台

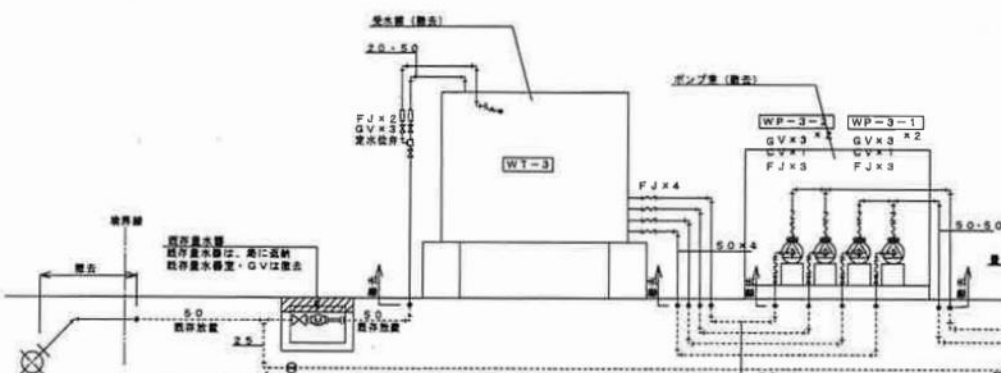
量水器廻り撤去範囲 (50箇所)



2号棟 (20戸)



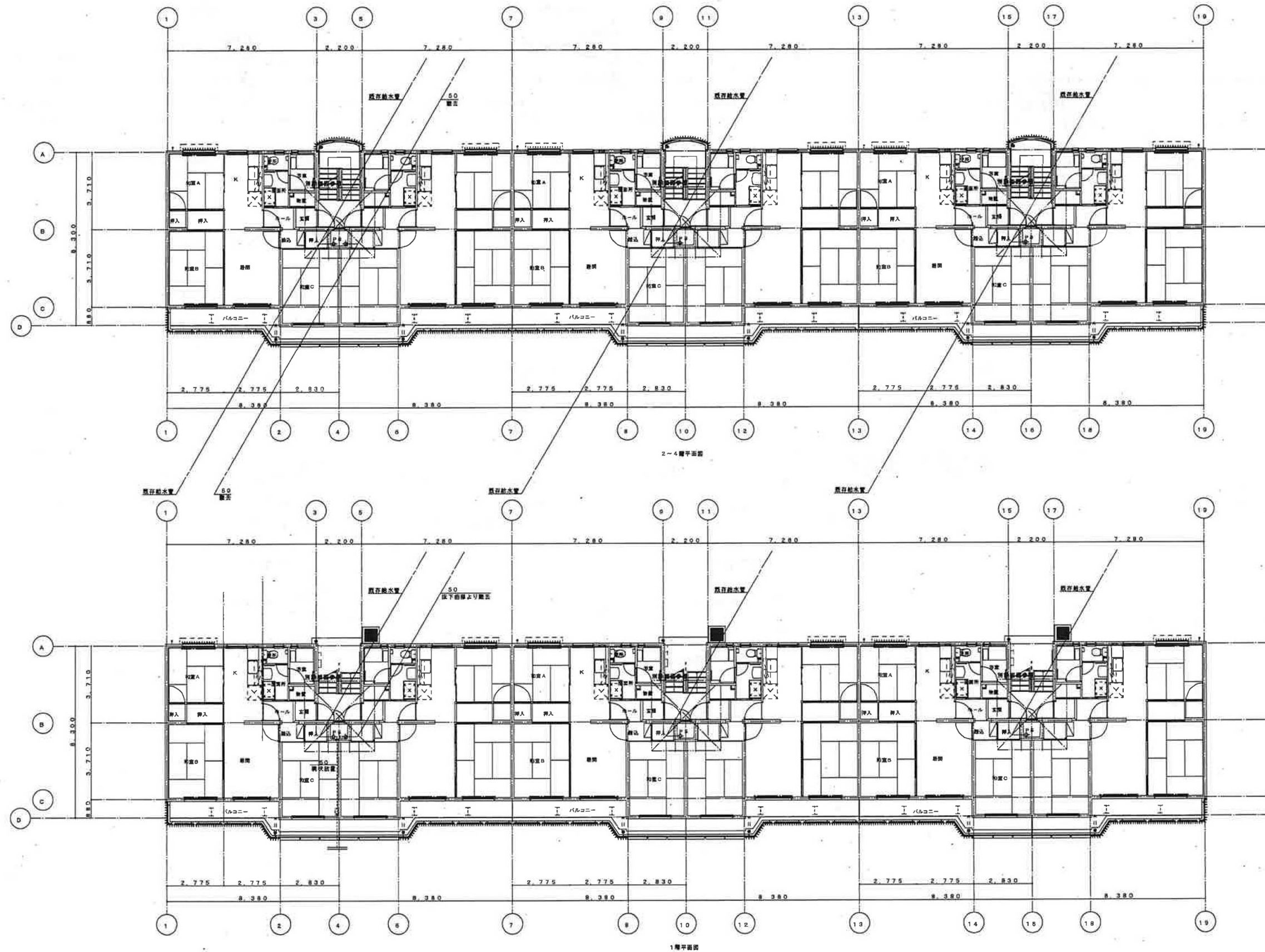
1号棟 (30戸)



屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

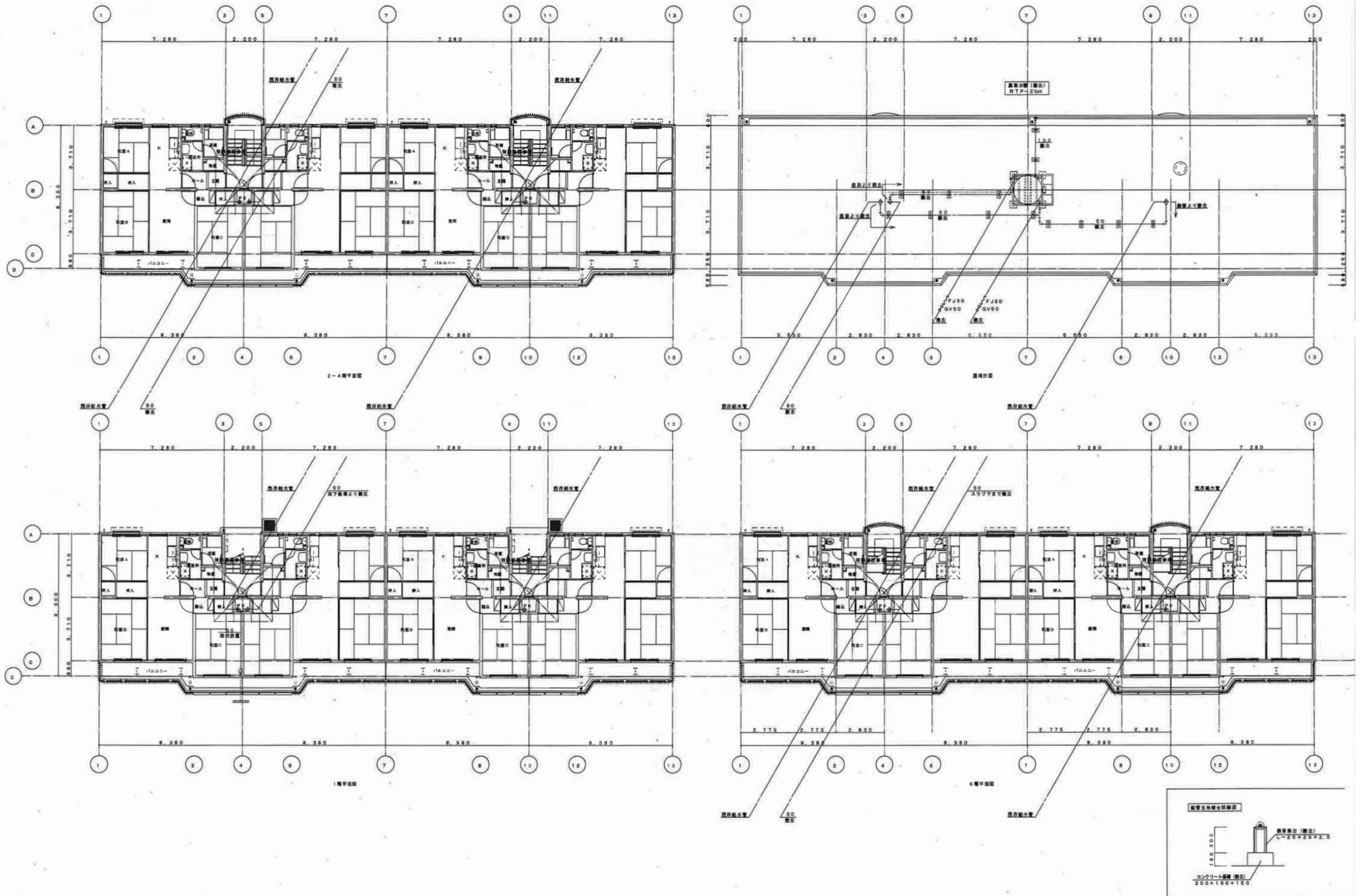
工事名	国家公務員宿舎2和住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-48
図面名	系統図-2 (撤去)	図面	(106/133)
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	



屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
 一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
 一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名	国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-49
図面名	1・3・5・7号棟 1~4階 平面図 (撤去)	縮尺	(107/133)
船橋市建設局建築部建築課	令和7年度		

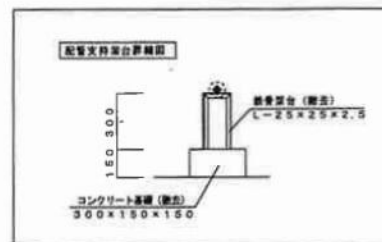
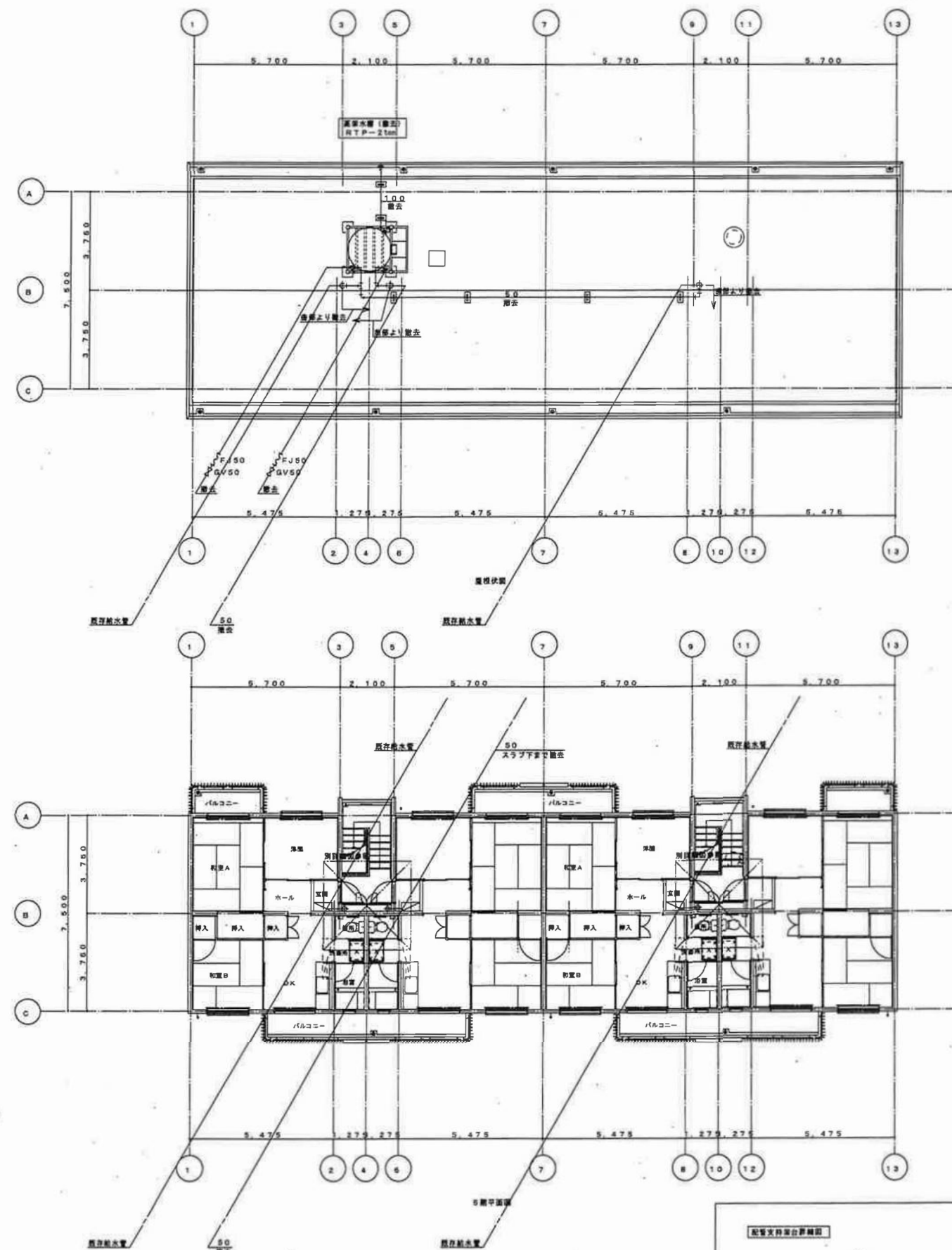
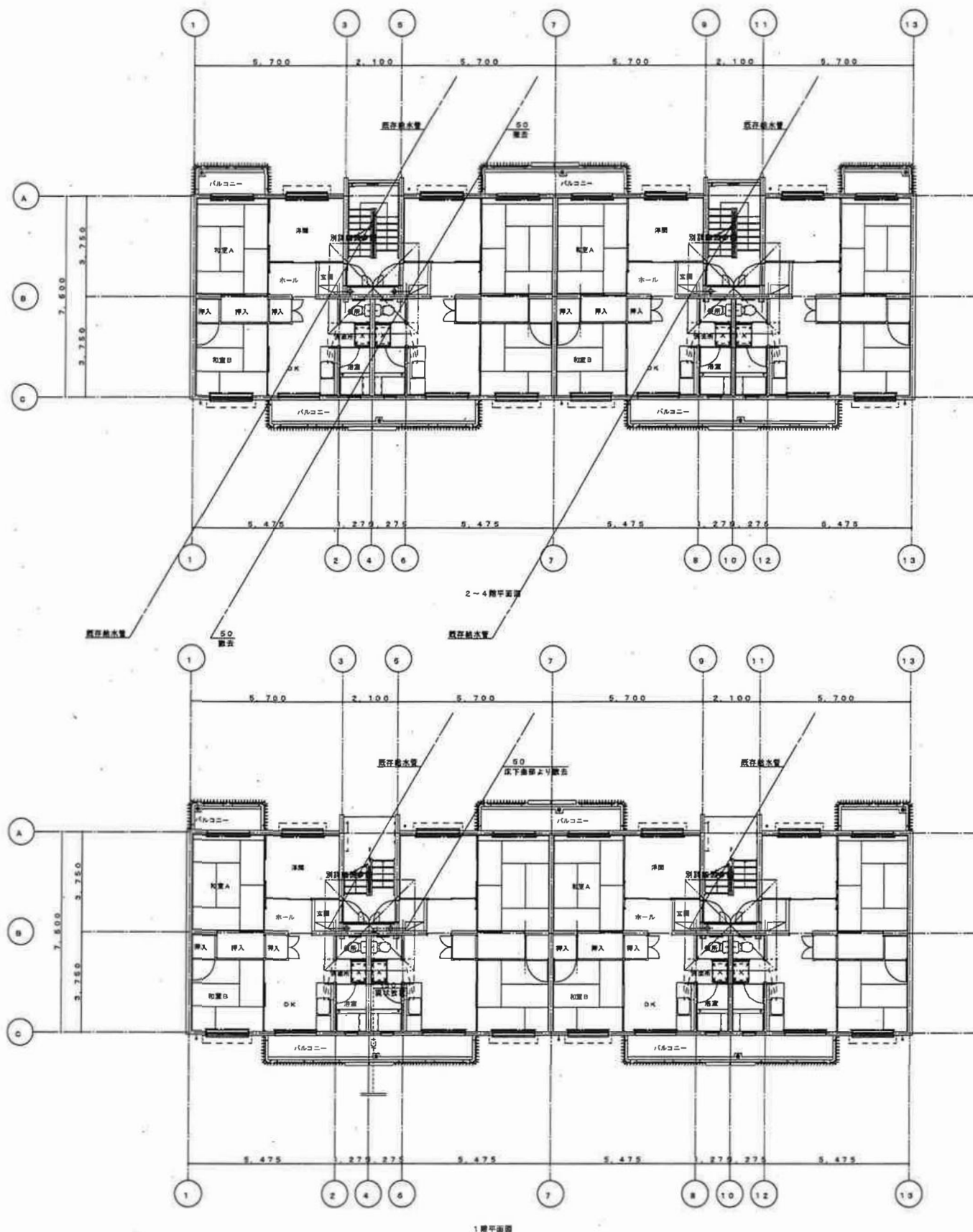


屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
 一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
 一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名 国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事
 図面名 2・4・6号棟 1~R階 平面図 (撤去)
 船橋市建設局建築部建築課

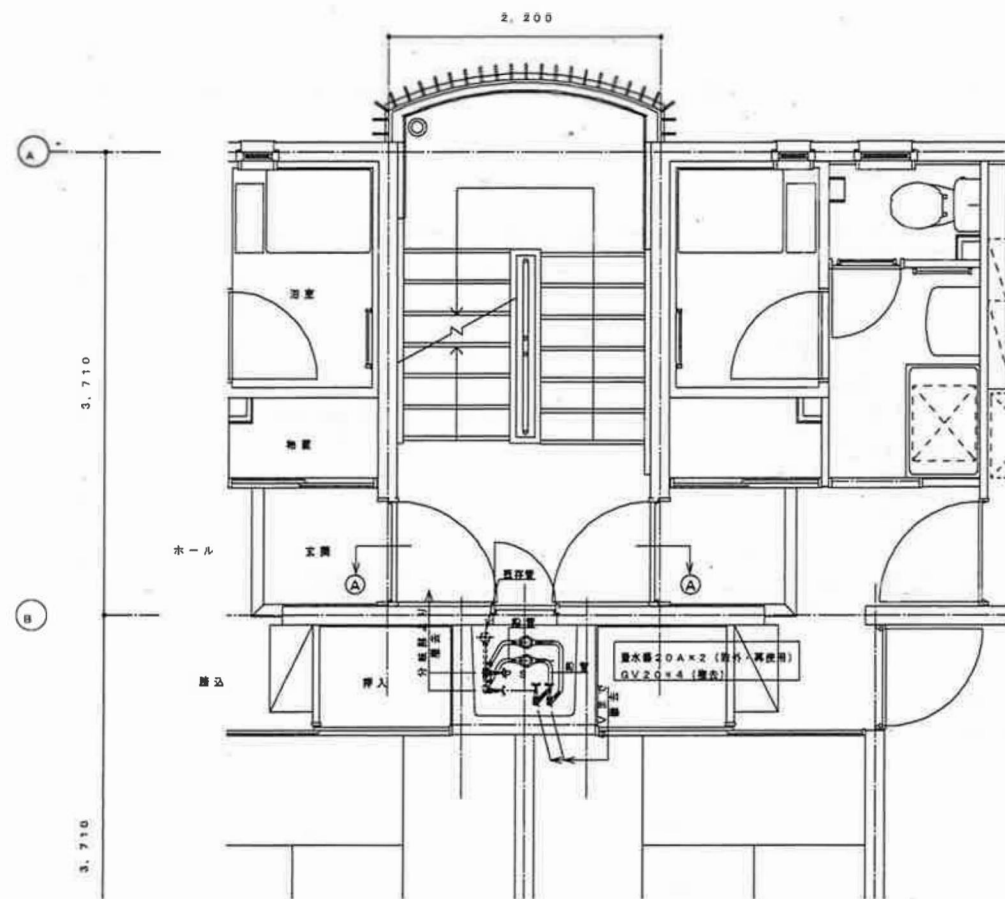
図面番号 K-51
 (109/133)
 令和7年度



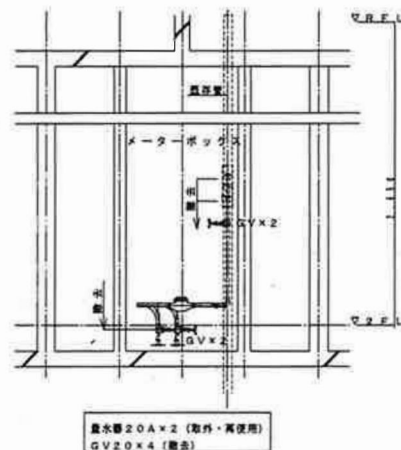
屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

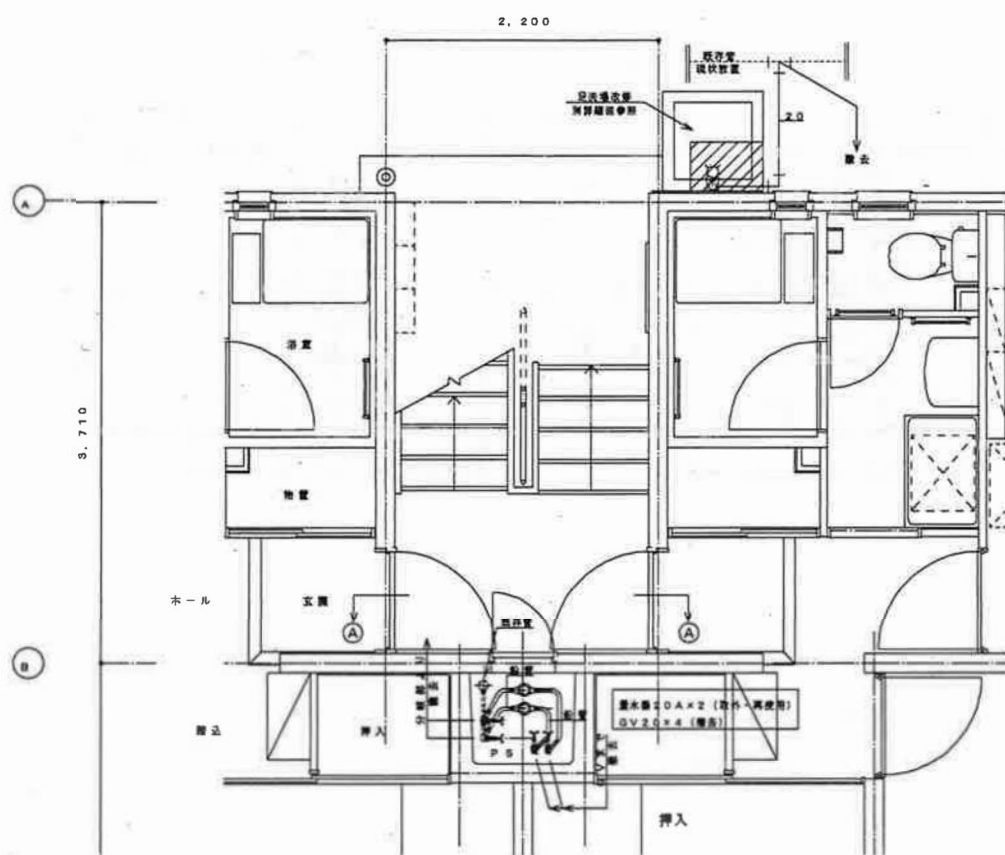
工事名	国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-52
図面名	8号棟 1~R階 平面図 (撤去)	図尺	(110/133)
作成	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



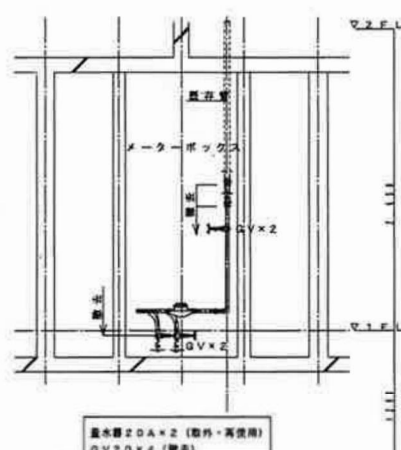
1～7号棟 2～5階 量水器廻り詳細図 (撤去)



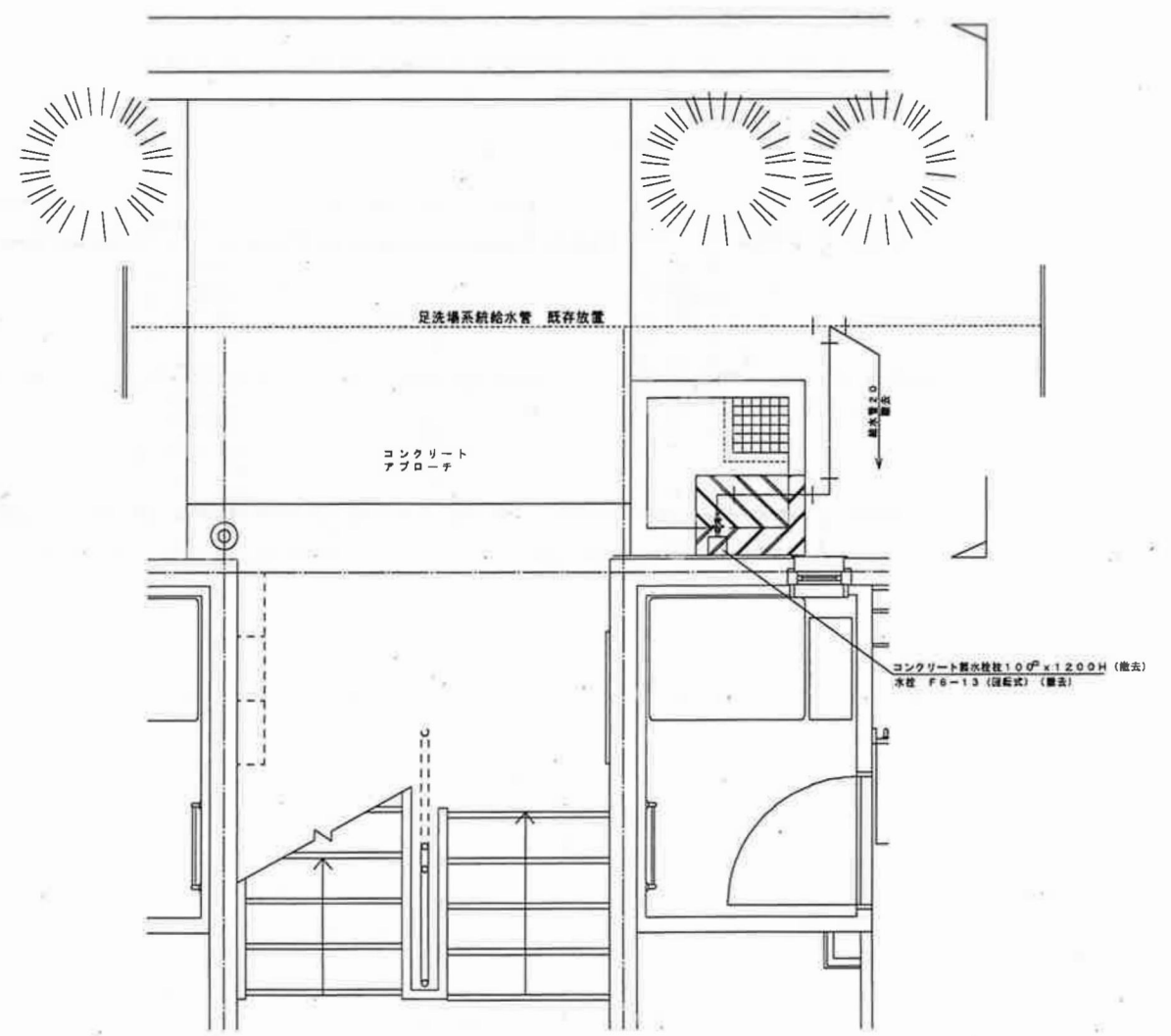
A-A 断面図



1～7号棟 1階 量水器廻り詳細図 (撤去)

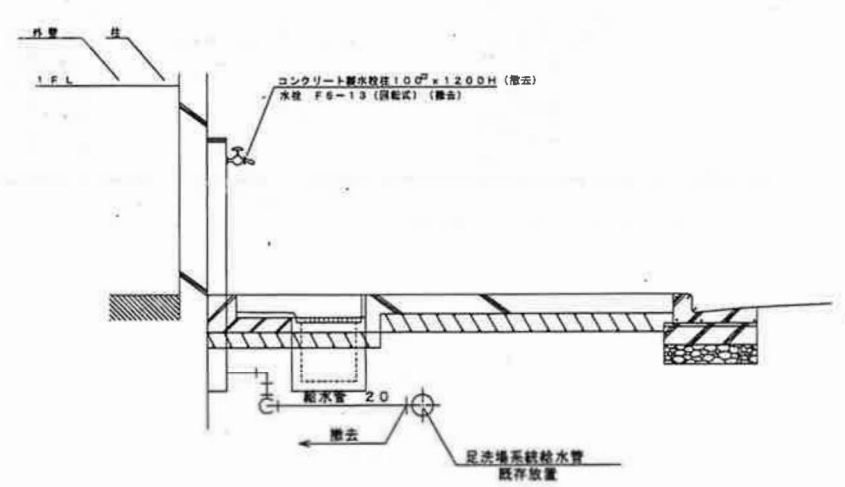


A-A 断面図



コンクリートはつり補強部分を示す。

足洗場平面詳細図 S=1/20

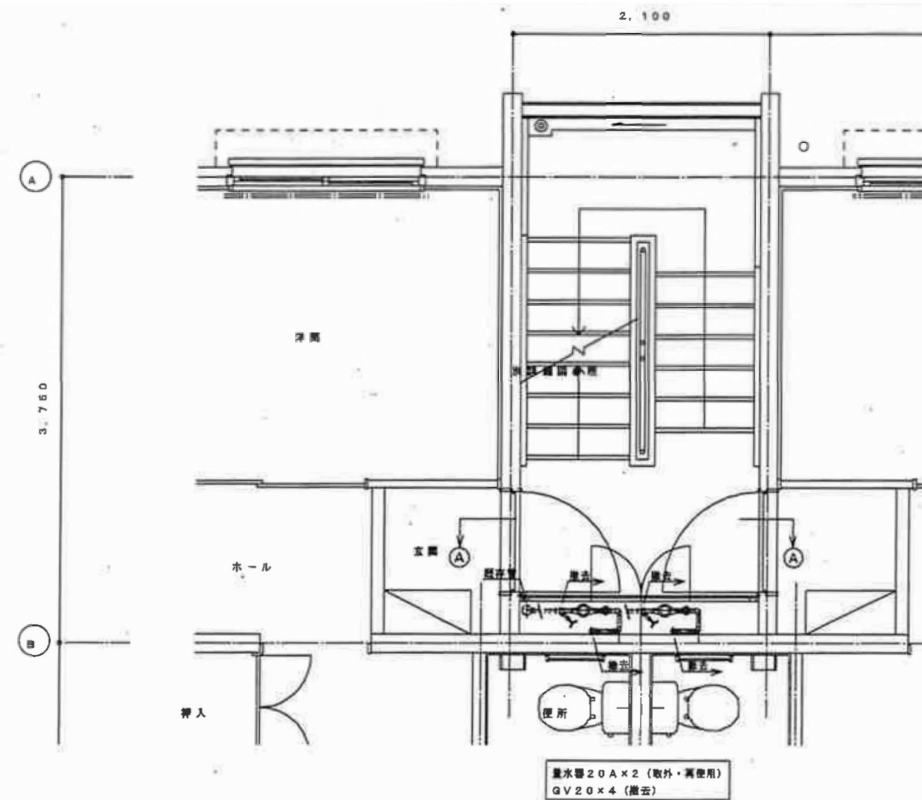


足洗場断面詳細図 S=1/20

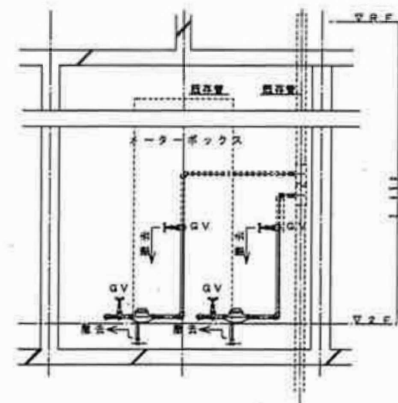
屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

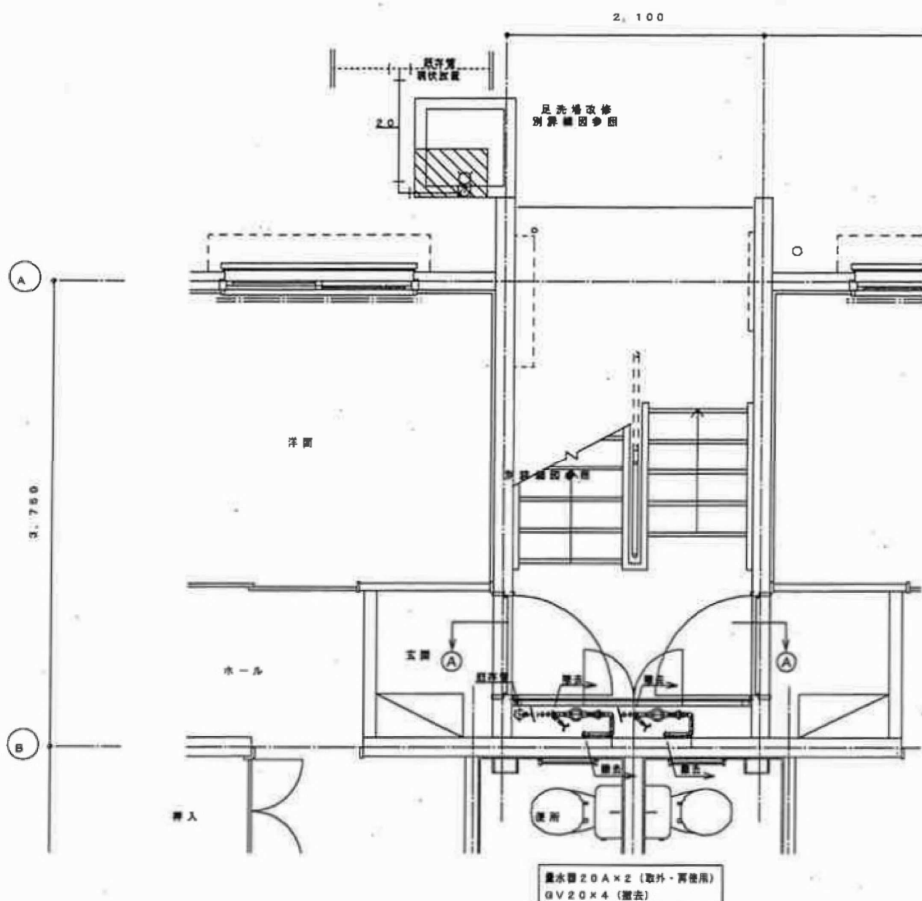
工事名	国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-53
図面名	1～7号棟 1～5階各戸量水器・足洗場廻り詳細図 (撤去)	図面	(111/133)
作成	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



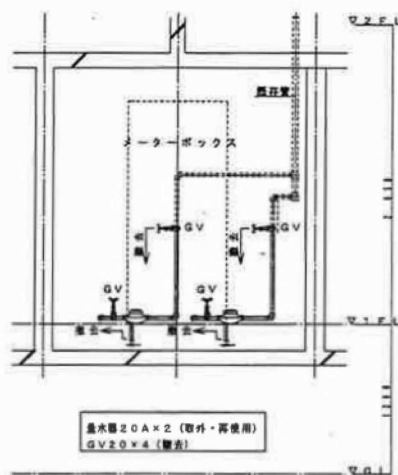
8号棟 2～5階 量水器廻り詳細図 (撤去)



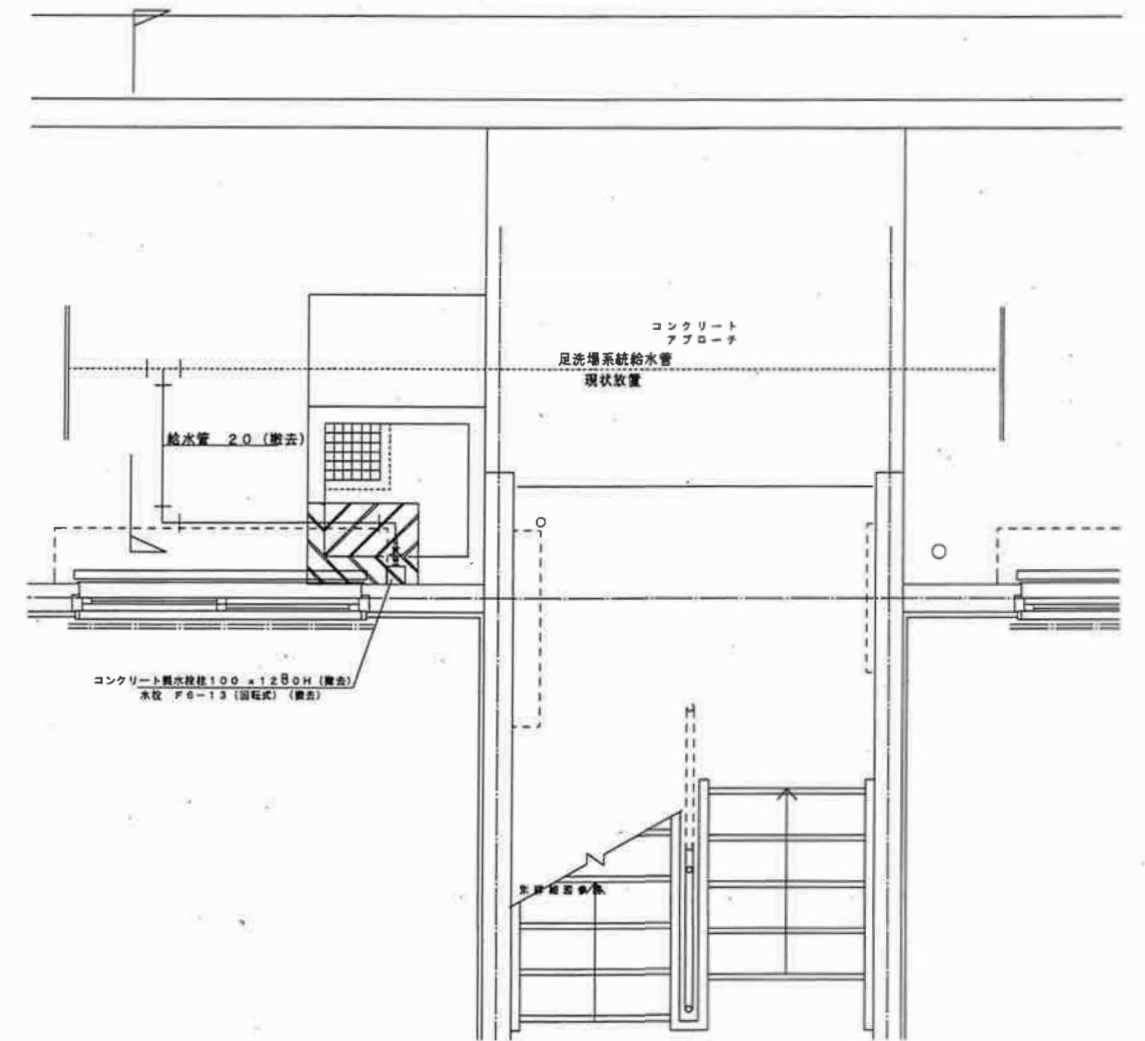
(A)-(A) 断面図



8号棟 1階 量水器廻り詳細図 (撤去)

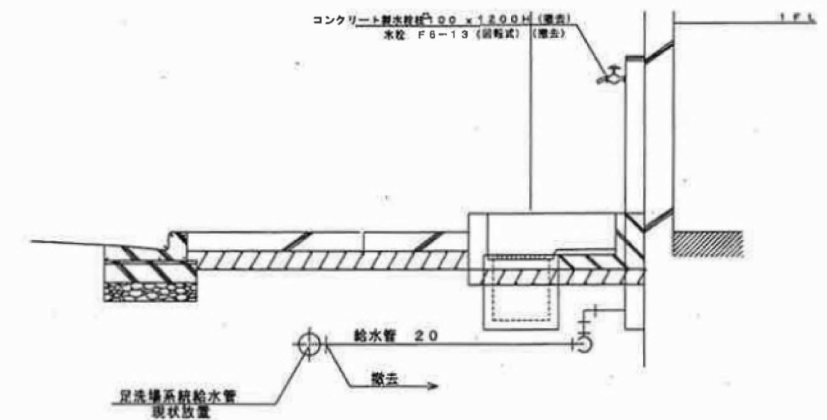


(A)-(A) 断面図



コンクリートはつり継ぎ部分を示す。

足洗場平面詳細図 S=1/20



足洗場断面詳細図 S=1/20

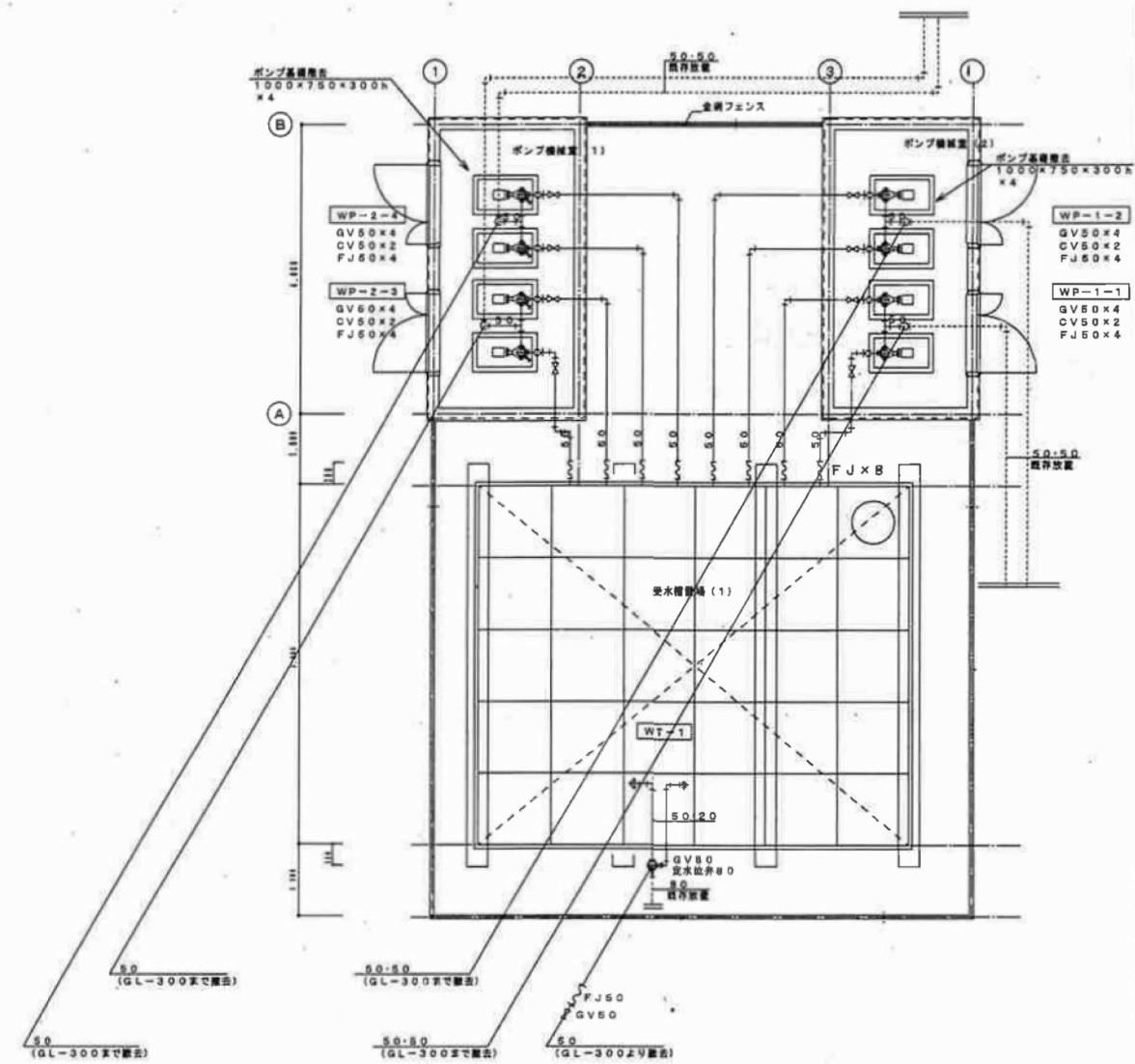
屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名 国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事
図面名 8号棟 1～5階各戸量水器・足洗場廻り
詳細図 (撤去)
船橋市建設局建築部建築課

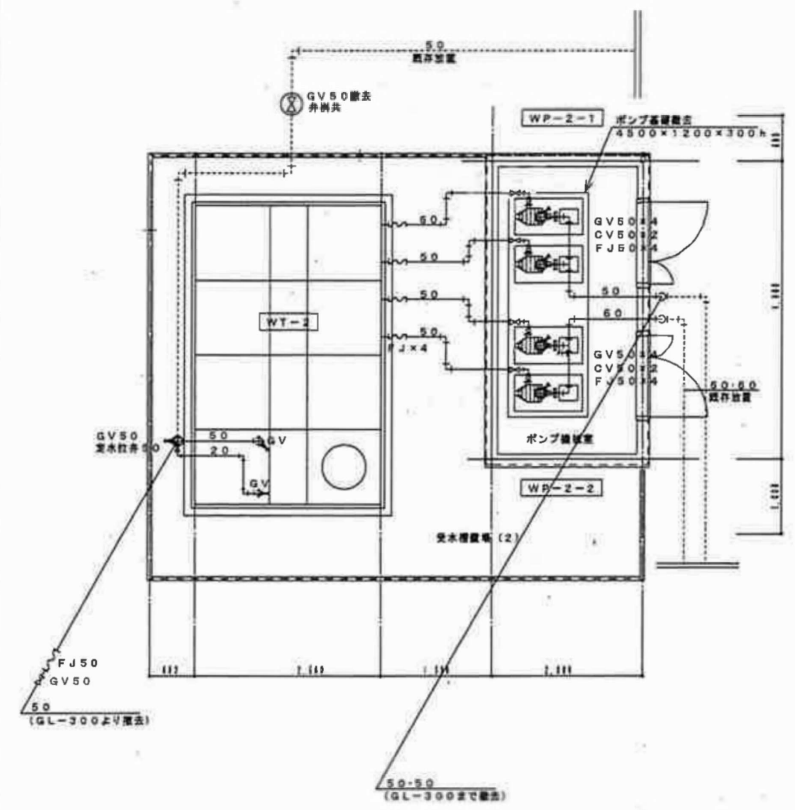
図面番号 K-54
(112/133)
令和7年度

3～6号棟系統受水槽・揚水ポンプ詳細図（撤去）



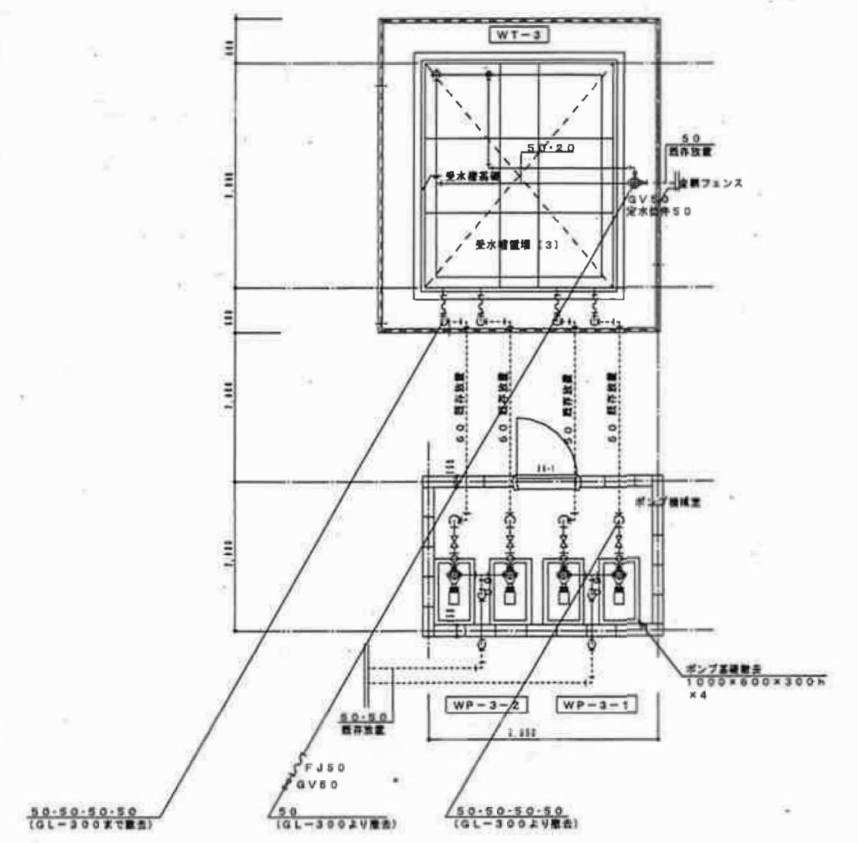
WT-1
FRP製水槽 6000×5000×2500h
WP-1-1
40A×3Φ-200v-2. 2kw×2台
WP-1-2
40A×3Φ-200v-2. 2kw×2台
WP-1-3
40A×3Φ-200v-2. 2kw×2台
WP-1-4
40A×3Φ-200v-3. 7kw×2台

7・8号棟系統受水槽・揚水ポンプ詳細図（撤去）

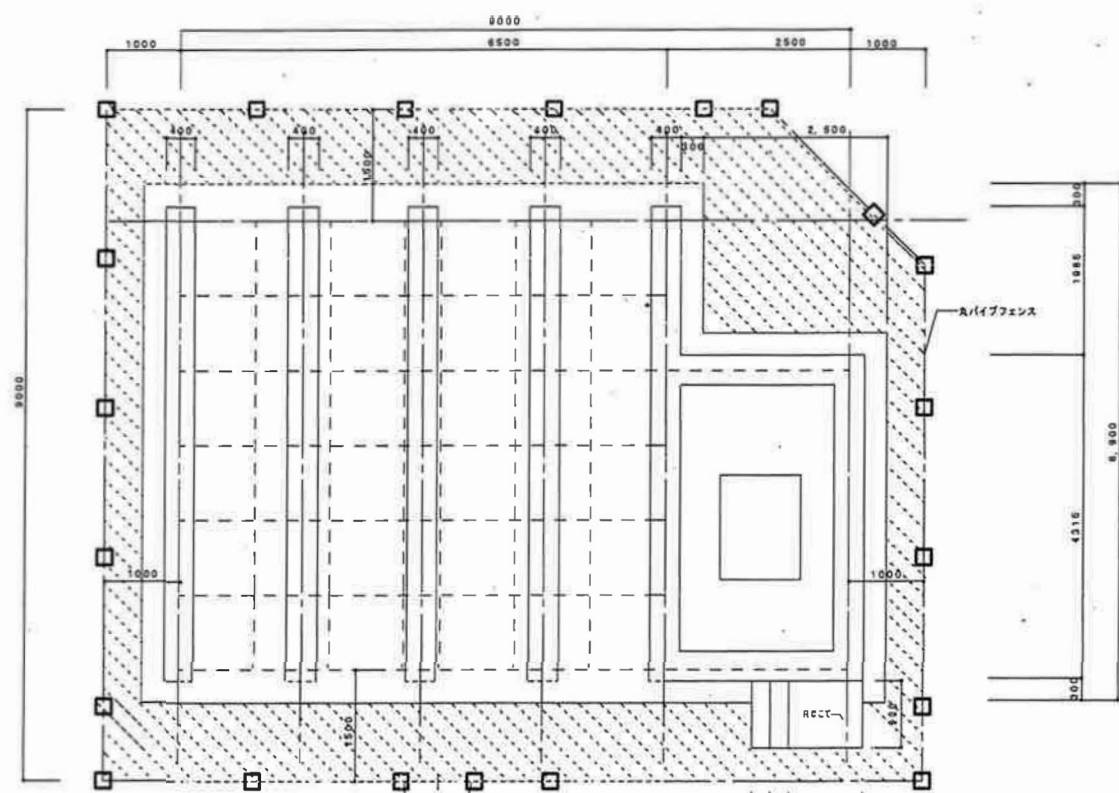


WT-2
FRP製水槽 4000×2500×2500h
WP-2-1
40A×3Φ-200v-2. 2kw×2台
WP-2-2
40A×3Φ-200v-3. 7kw×2台

1・2号棟系統受水槽・揚水ポンプ詳細図（撤去）



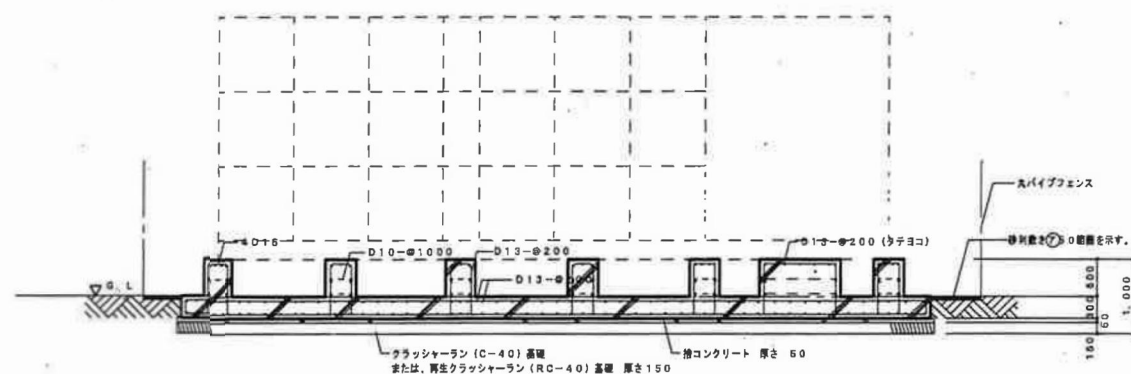
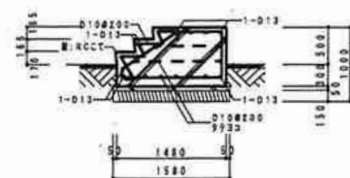
WT-3
FRP製水槽 3000×2500×2500h
WP-3-1
40A×3Φ-200v-2. 2kw×2台
WP-3-2
40A×3Φ-200v-3. 7kw×2台



受水槽基礎 平面図 S=1/50

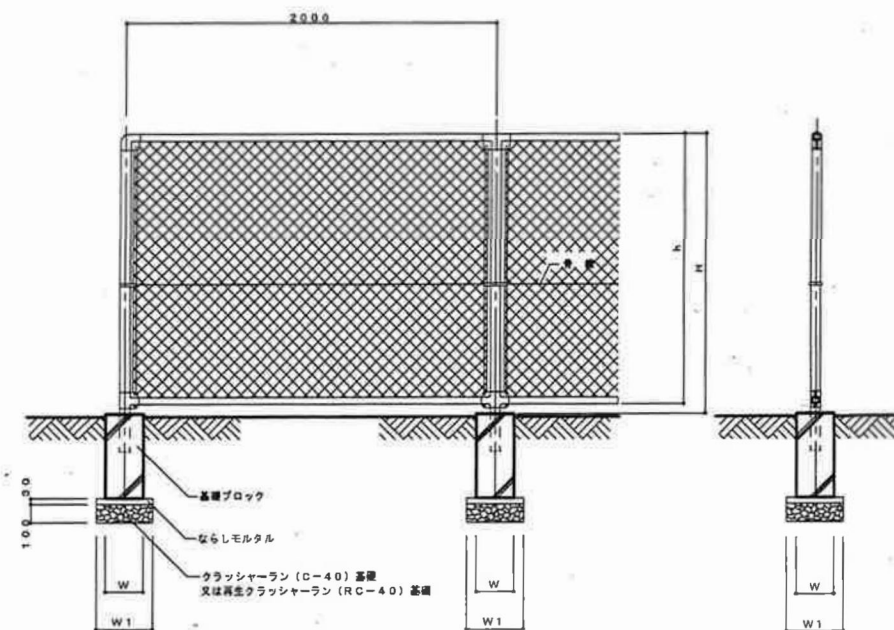


鉄筋はD10断面を示す。



受水槽基礎 断面図 S=1/50

- 注意事項
- 鉄筋はD10-D15はSD295Aとする。
D10はSD345とする。
 - 鉄筋の端手はすべて40dの重ね端とする。
 - 捨てコンクリートは18-8-20とする。
 - 躯体部分コンクリートは18-18-20とする。
 - 地耐力は調査境界の素入試験値等により設計地耐力が、0.1N/m²を確保すること。



寸法	寸法
H	1,800
h	1,770
W	200×200
W1	300×300
基礎ブロック	200×400

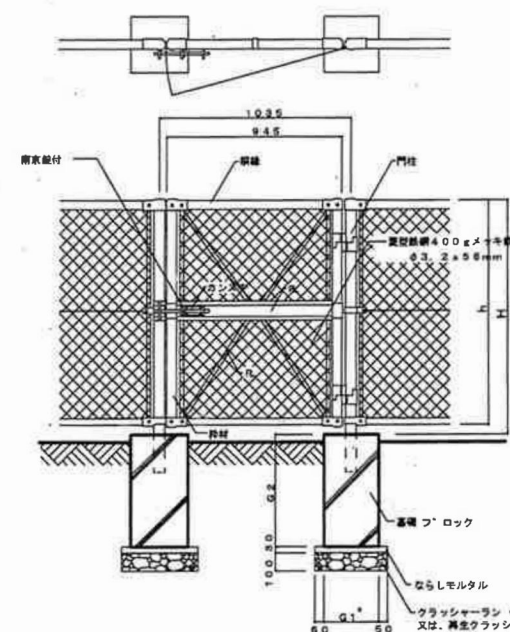
指定メーカー	種	門扉
川崎建設工業 (株)	KM型	KM型
日鐵建設工業 (株)	MP型	MP型
明日スチール工業 (株)	PC型	PC型
日本鋼管ライトスチール (株)	NR型	NR-G型

※H=1,800は骨組は2本とする

仕様

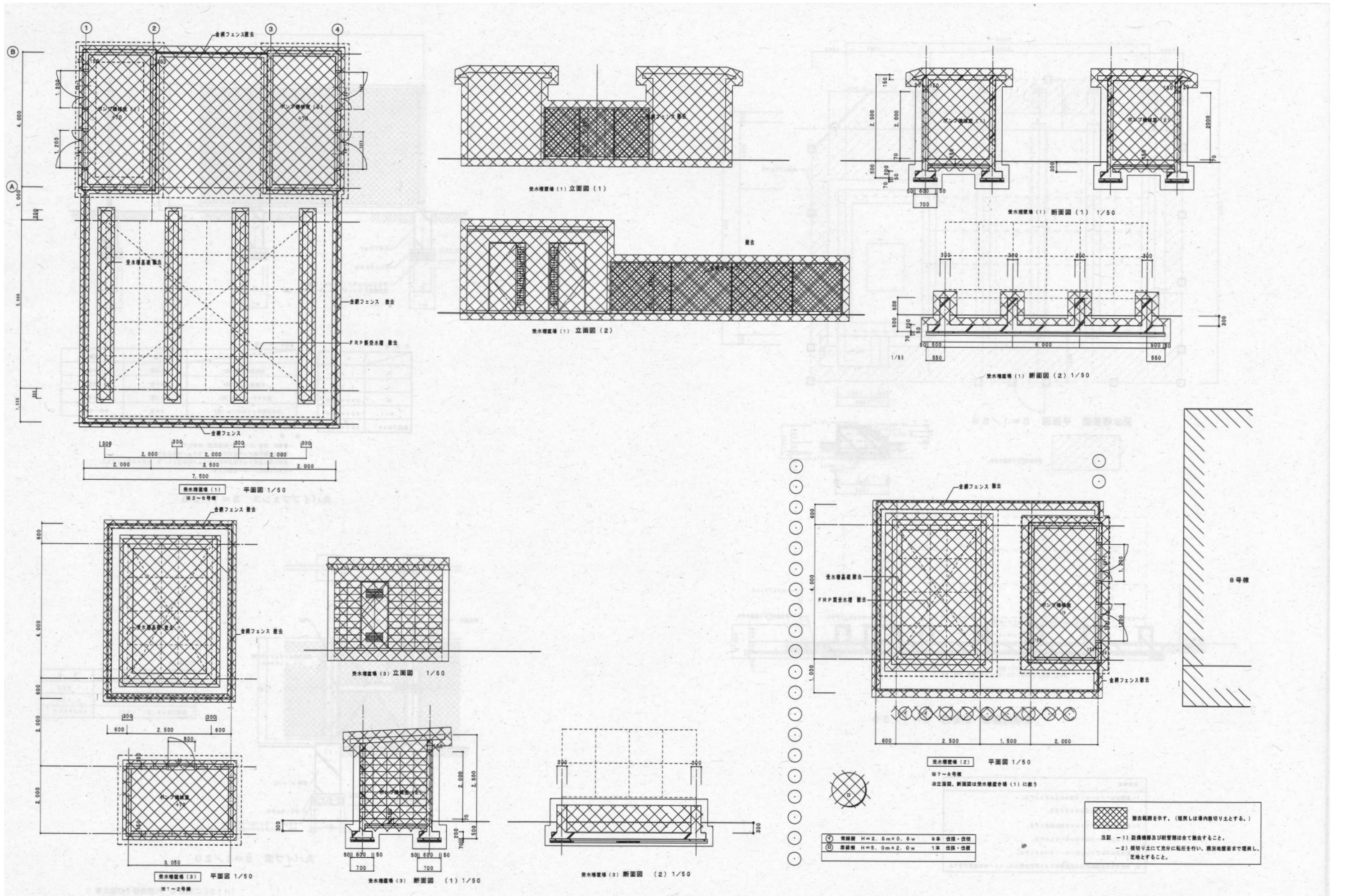
- 支柱は、縦筋 (シンダー付鋼管) 付きとする。
- 鉄筋は薄鉄板前メッキ仕上とし、400g/m²以上とする。
- 金網は強力鋼メッキ仕上の400g/m²以上とし、3、2φ×6mmとする。
- 骨組の本数はメーカー仕様による。

丸パイプフェンス S=1/20

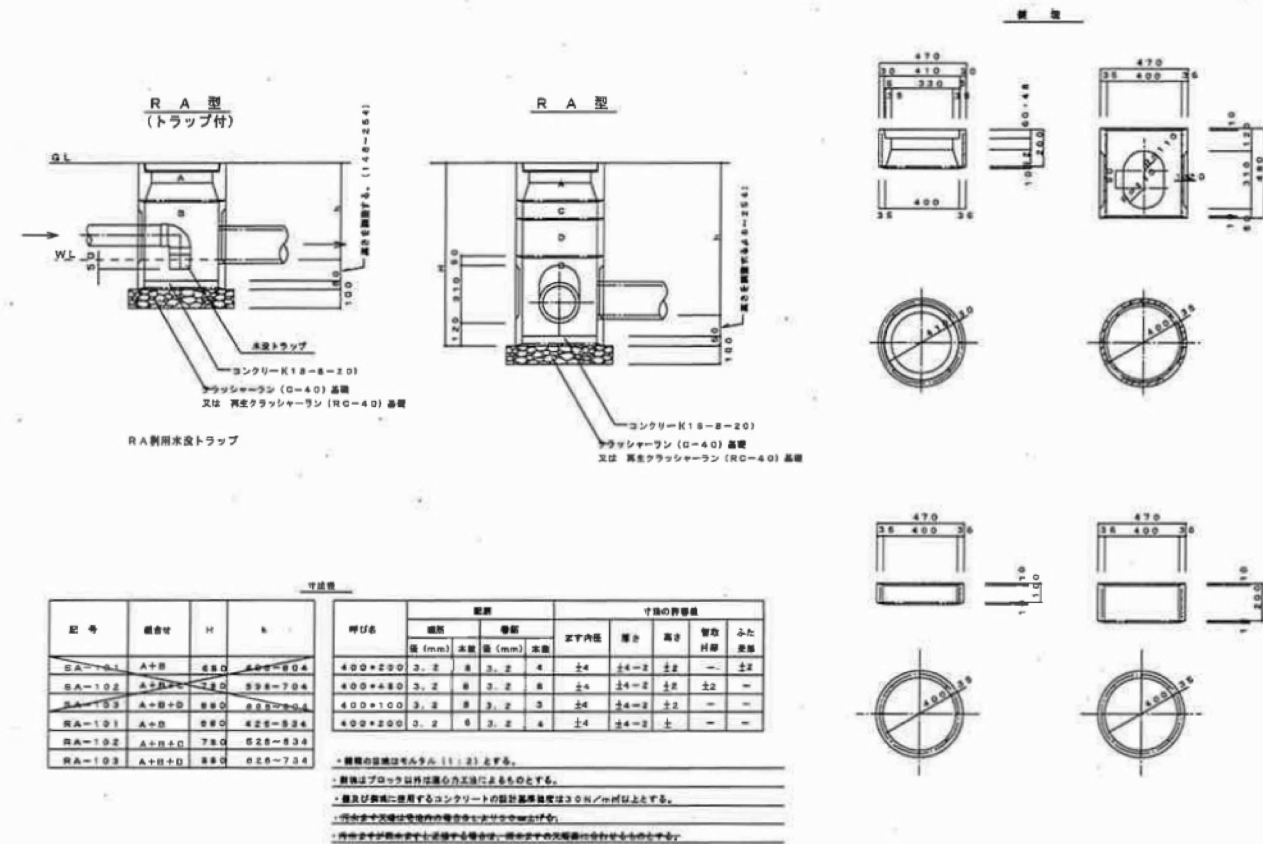


寸法	寸法
H	1,800
h	1,770
基礎ブロック (Q1×G2)	400×600

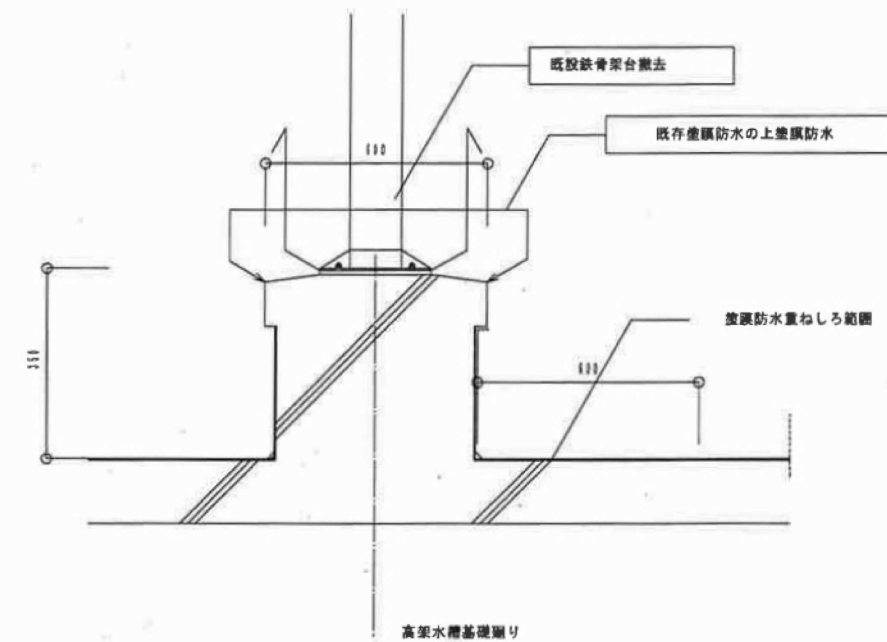
丸パイプ扉 S=1/20



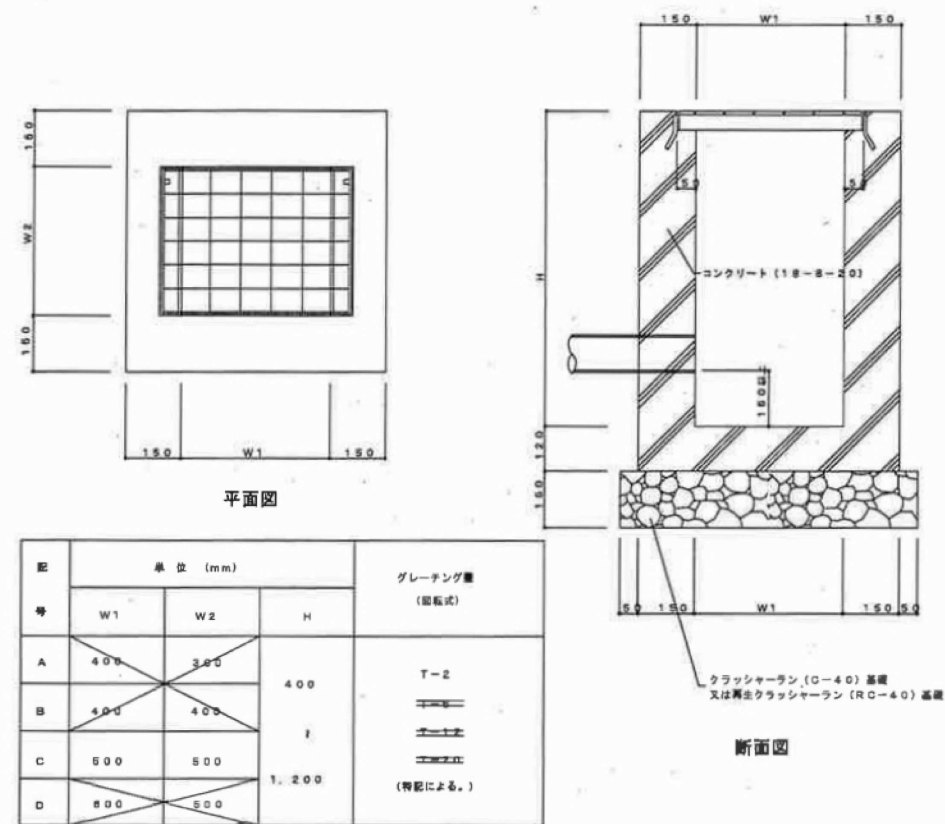
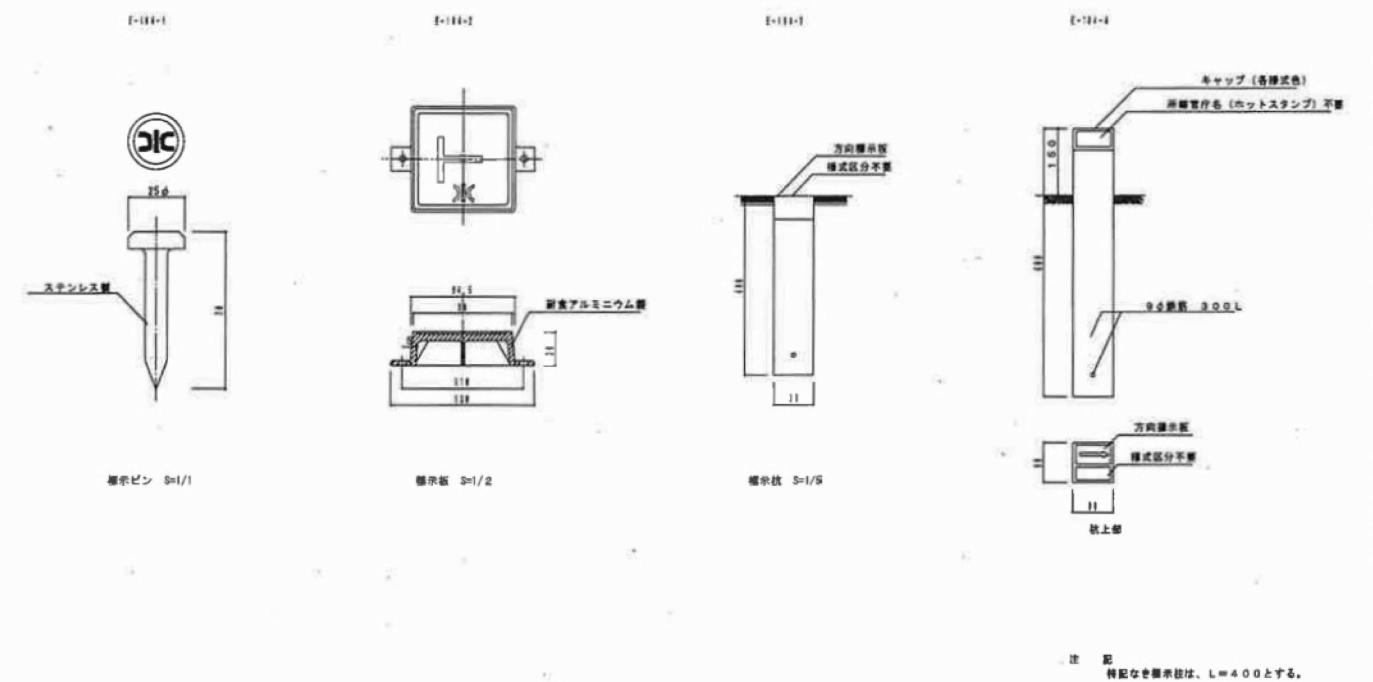
RA型樹詳細図 S=1/20

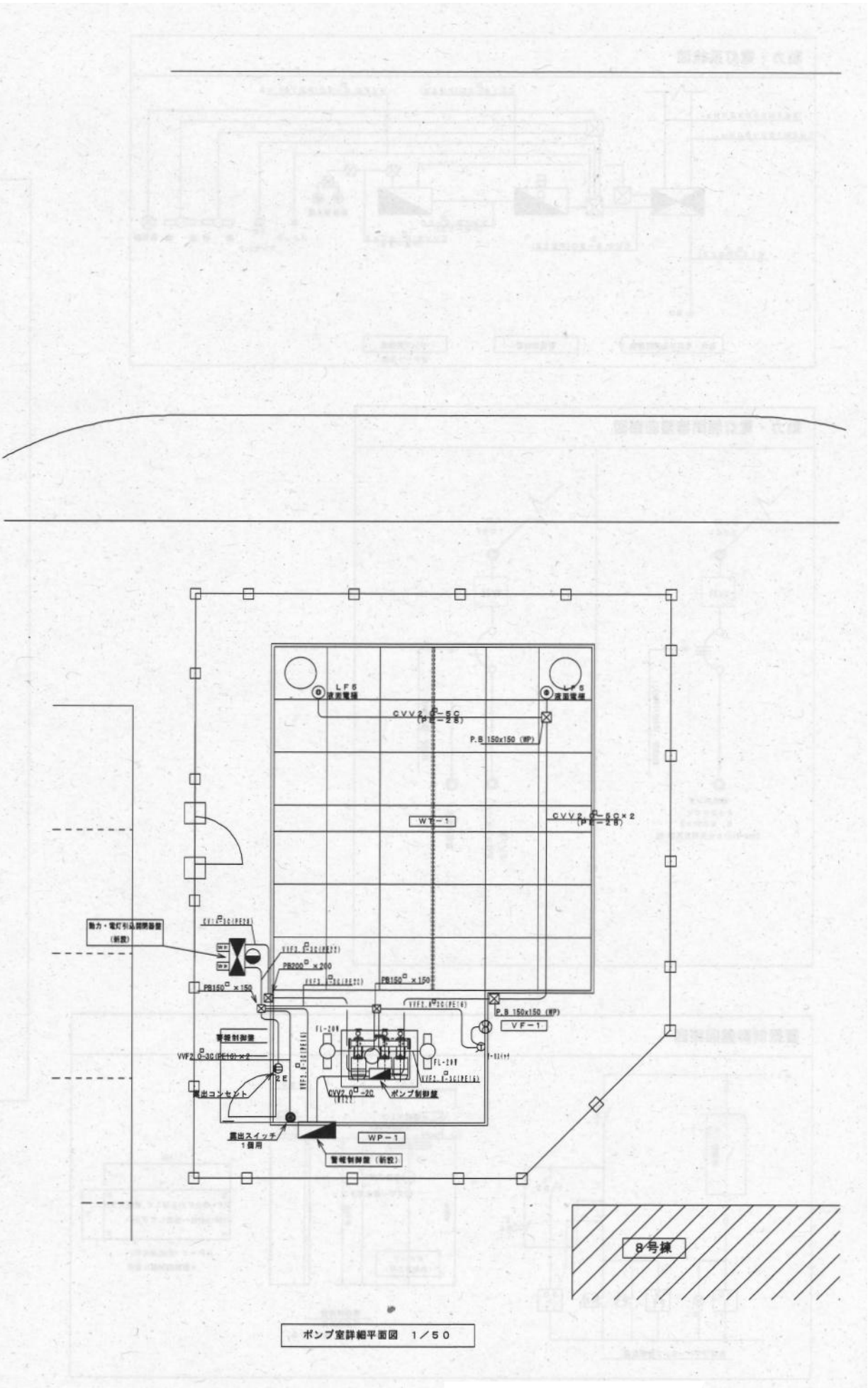
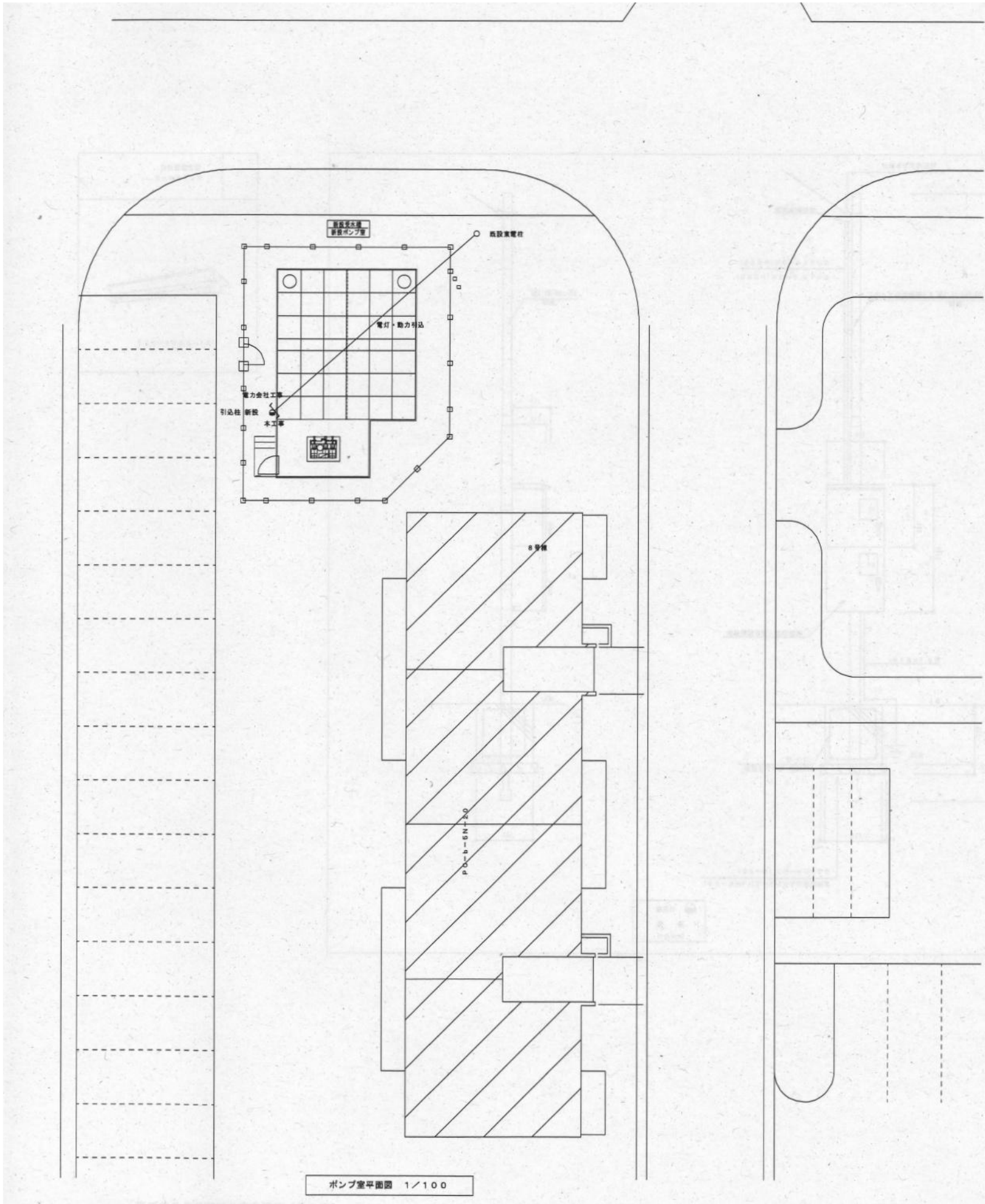


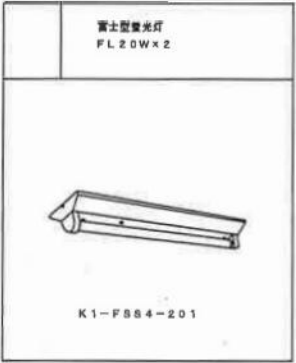
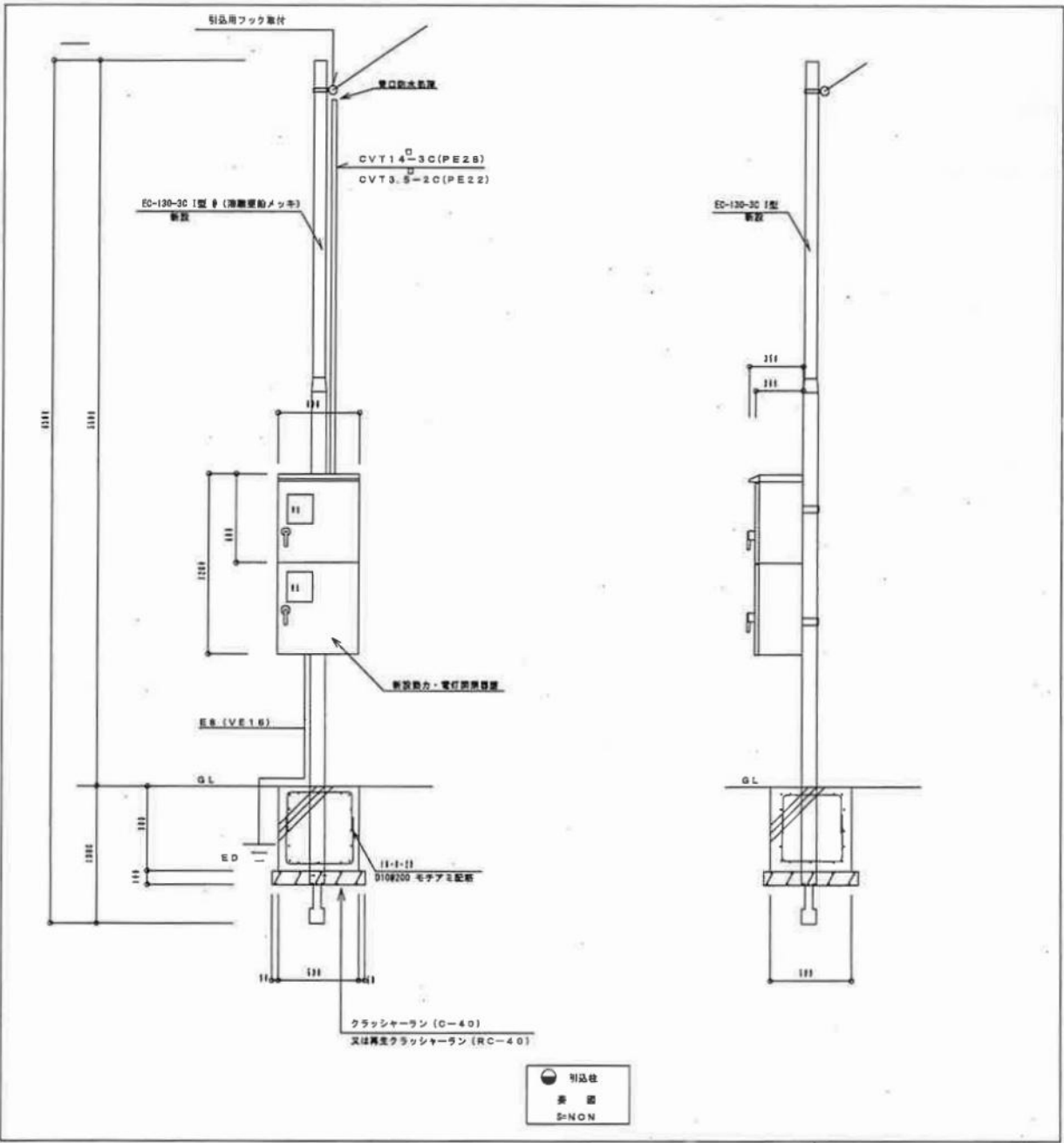
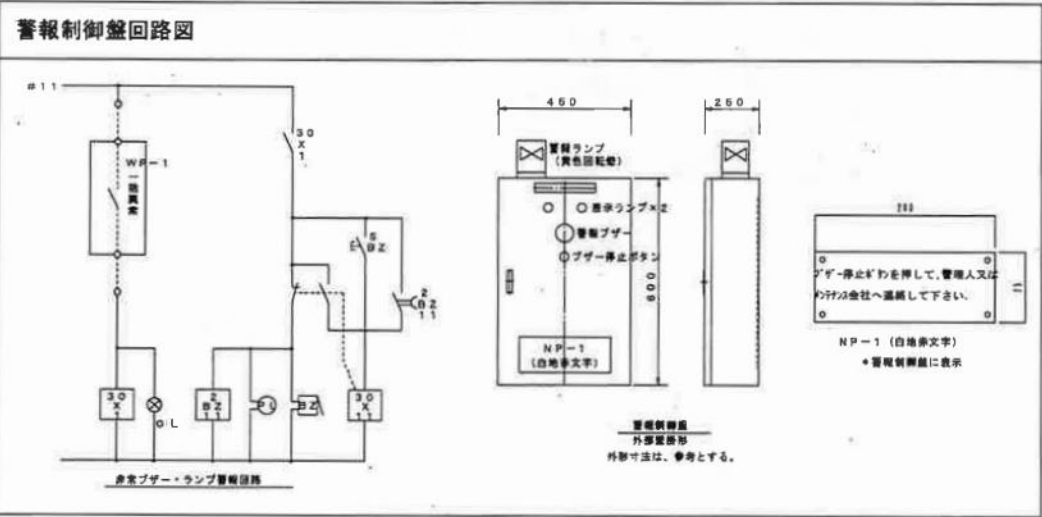
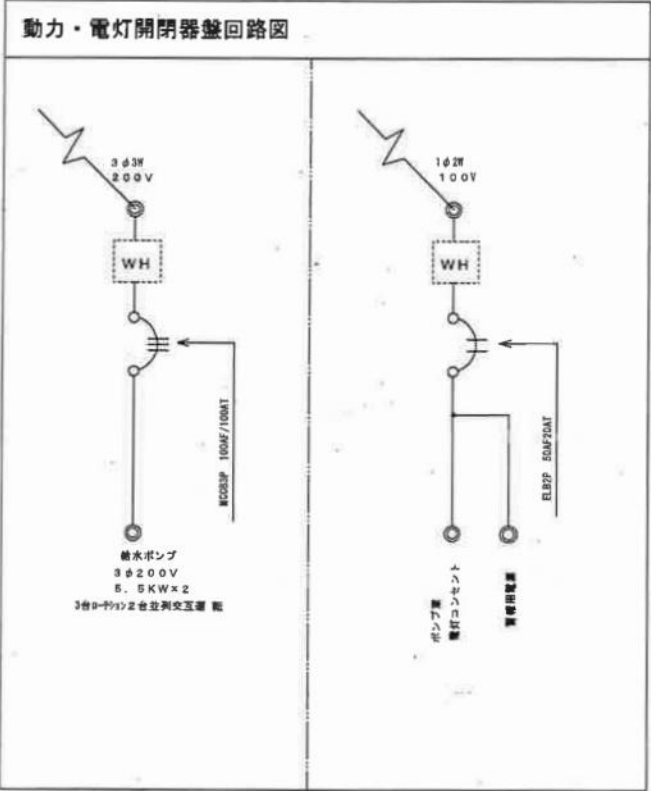
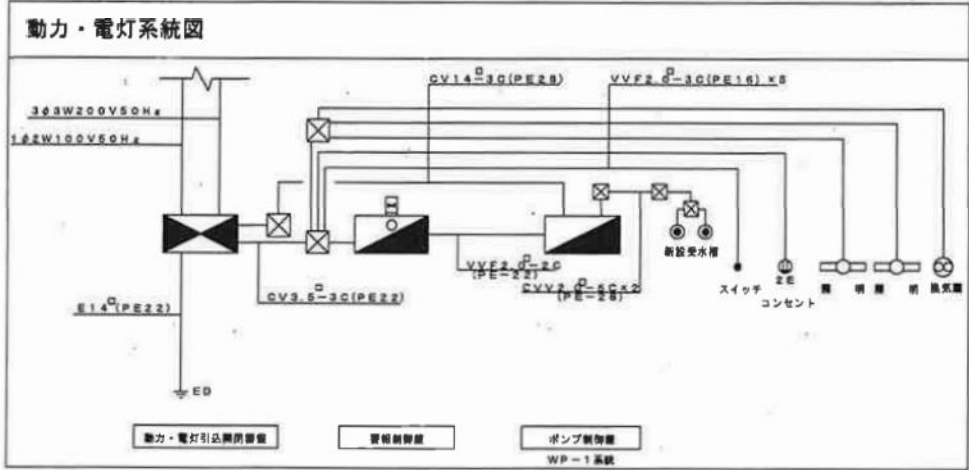
高架水槽基礎廻り $S=1/10$



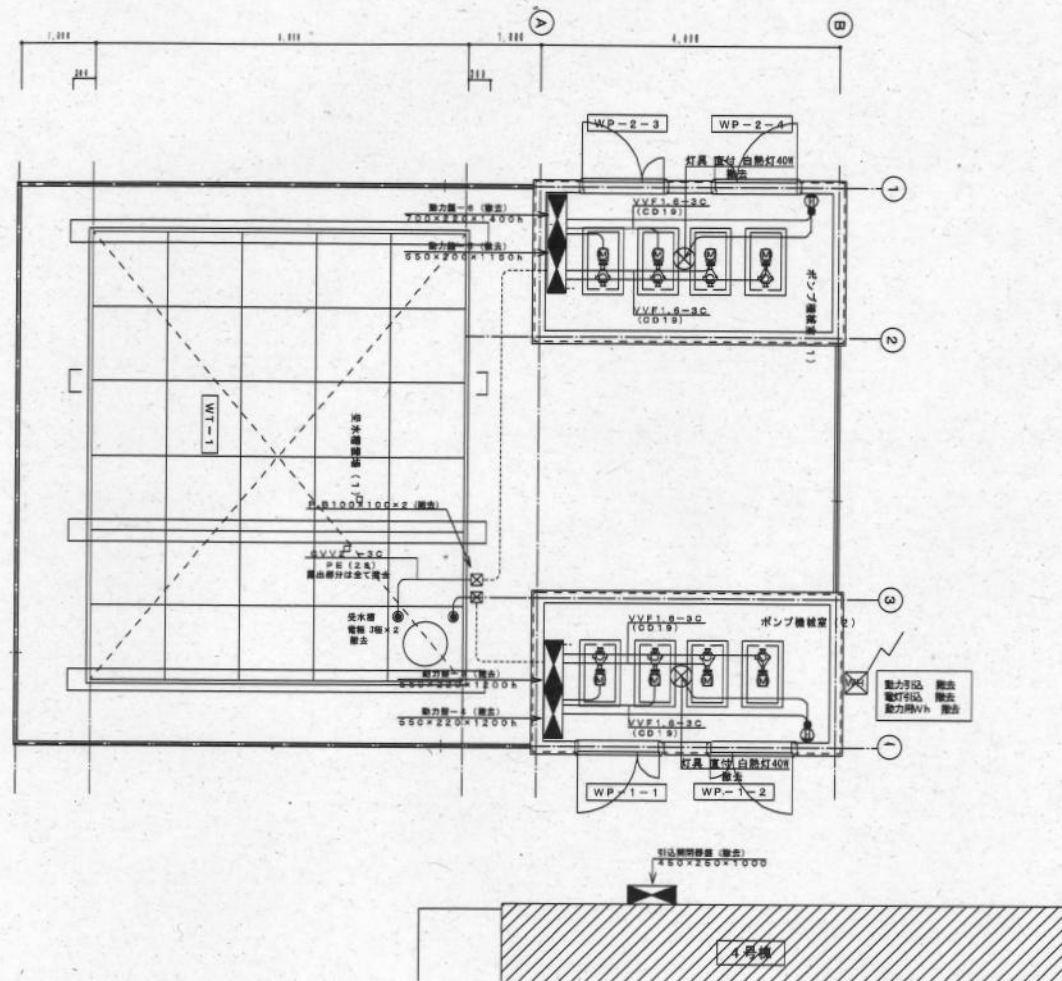
グレーチング集水ます 1/10

埋設標示板 $S = 1/1 \cdot 1/2 \cdot 1/5$ 

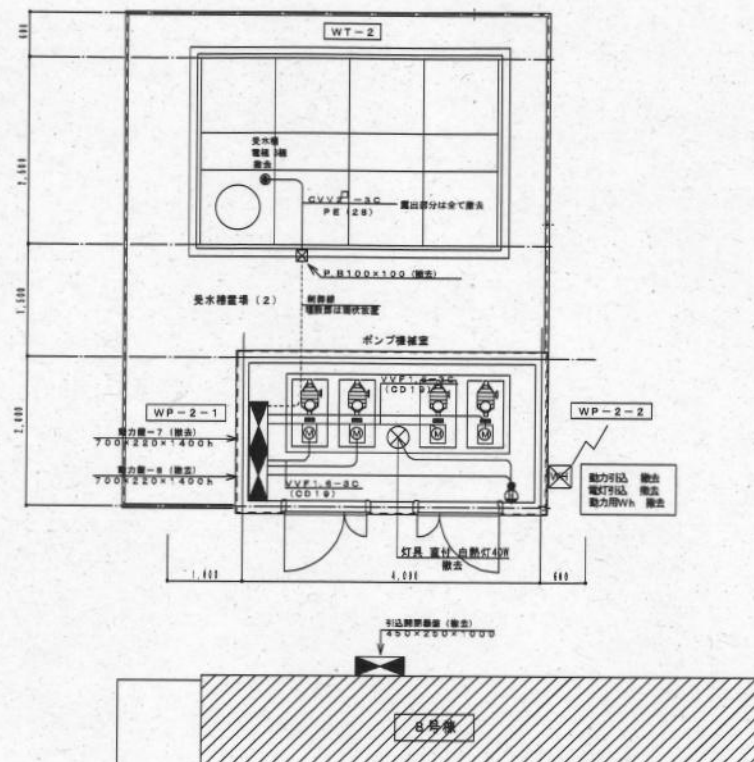




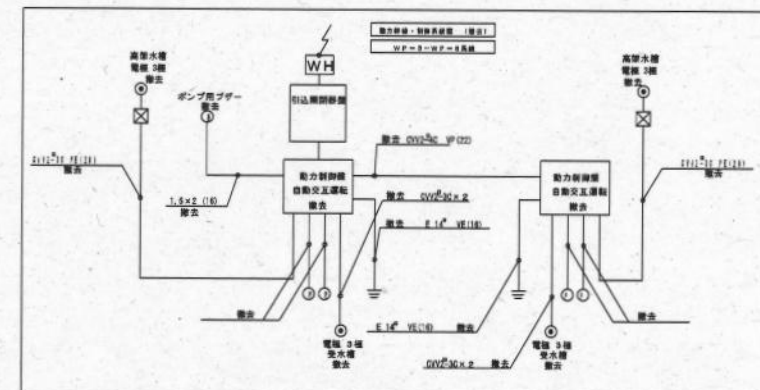
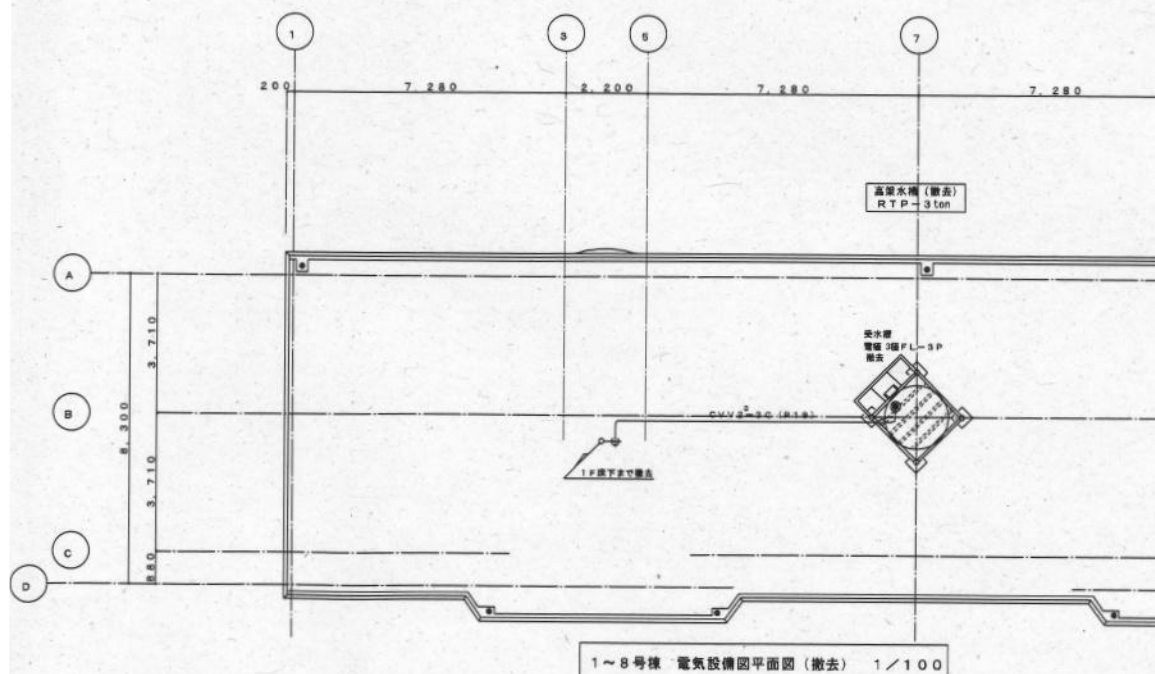
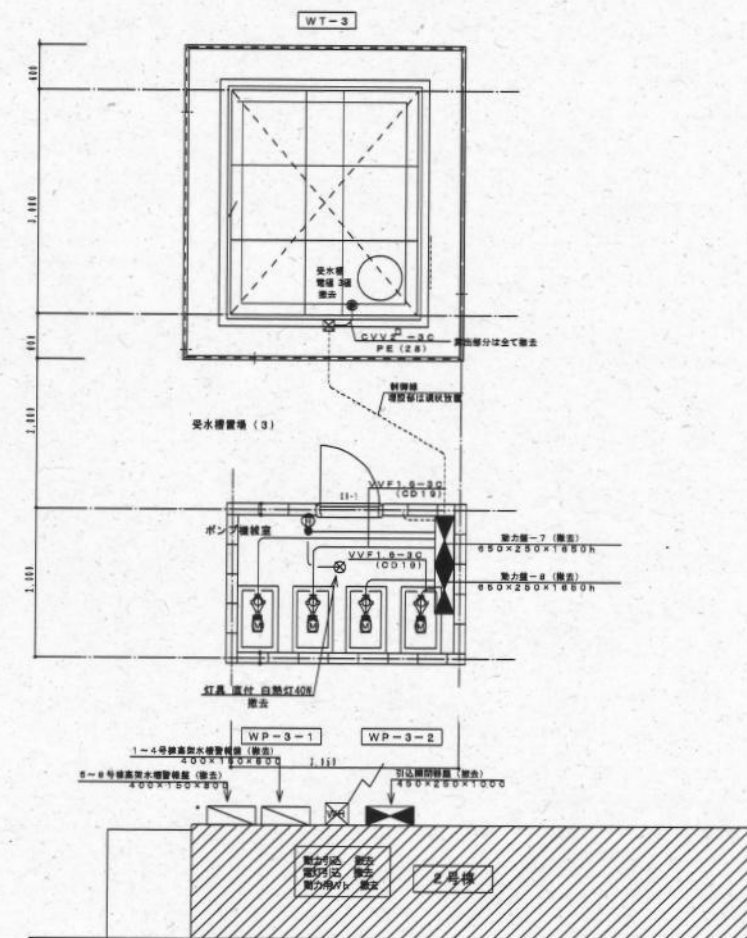
3～6号棟系統受水槽・揚水ポンプ詳細図（撤去） 1/50



7・8号棟系統受水槽・揚水ポンプ詳細図（撤去） 1/50



1・2号棟系統受水槽・揚水ポンプ詳細図（撤去） 1/50



屋外給水設備改良工事 (H15) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名	国家公務員宿舎と住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-62
図面名	雑工事-8 電気設備 平面図 (撤去)	図尺	1/100
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(120/133)

工事名称：（H16）二和住宅屋上防水改修工事

工事場所：千葉県船橋市二和東5－36

図面リスト							
図面番号	図面名称	縮尺	備考	図面番号	図面名称	縮尺	備考
1	表紙・図面リスト			11	屋根伏図・断面図・矩計図（8号棟）	1/100・1/20	
2	工事概要書			12	各部詳細図（1）（8号棟） 参考図-1	1/10・1/5	
3	案内図・配置図	1/400		13	各部詳細図（2）（8号棟） 参考図-2	1/10	
4	屋根伏図（1号棟）	1/100					
5	屋根伏図（2・3号棟）	1/100					
6	屋根伏図（4・5号棟）	1/100					
7	屋根伏図（6・7号棟）	1/100					
8	矩計図・断面図（1～7号棟）・数量表	1/100・1/20					
9	各部詳細図（1）（1～7号棟）	1/10・1/5					
10	各部詳細図（2）（1～7号棟）	1/10					

工事概要

1. 工事名称：(H16) 二和住宅壁上防水改修工事
2. 工事場所：千葉県船橋市二和東5-36
3. 工事種目

1) 屋上防水改修工事

- イ. 塗膜防水工法 (施工対象棟：1～7号棟 180戸)
ロ. 合成高分子ルーフィングシート防水 (施工対象棟： 8号棟 20戸)

2) 雑工事 (施工対象棟：1～8号棟 200戸)

- イ. ルーフドレイン塗装 7棟 計 71か所
ロ. 改修用ドレイン新設 1棟 計 10か所
ハ. 鉄部塗装工事 (アンテナマスト、支持フック、TV用電線管)
ニ. 脱気装置新設 7棟 計 43か所

4. 施工基準

本工事は本設計図によるほか下記図書により施工する。

- イ. 都市基盤整備公団編「工事共通仕様書」 (平成12年版)
ロ. // 「保全工事共通仕様書」 (平成13年版)
ハ. // 「公団住宅標準詳細設計図書」 (第5版)
ニ. 関東財務局編 「防水工事共通仕様書」 (平成16年版)
ホ. 国土交通省編 「建築改修工事共通仕様書」 (平成14年版)

5. 特記仕様

1) 一般事項

- イ. 本工事に際し、施工区分・施工要領について監督職員と十分打合せを行う。
ロ. 工事に先立ち、施工計画書を提出し監督職員の承認を得る。
ハ. 本工事に関する諸官庁への手続きは遅滞なく行い、手続きに要する費用は全て請負者の負担とする。
ニ. 本工事の施工に必要なメーカーリスト及び見本等はあらかじめ監督職員の確認を得る。
ホ. 本工事に伴う発生材は関係法令に従い適正に処理するものとし、場外自由処分とする。
ヘ. 本工事の施工に際し、騒音が生じた場合は速やかに監督職員と打合せを行う。
ト. 本工事の施工に際し、居住者及び管理人と連絡を密接にし、迷惑をかけないように注意する。
なお、国及び居住者等の財産に被害損傷を与えた場合は、速やかに原状に復する。
チ. 工事用電源、工事用水の使用については請負者が用意し、その費用は請負者の負担とする。
リ. 保証期間は、引渡しの日(竣工検査日)から10年間とし保証書を提出する。(請負業者・メーカーの連名とする。)

2) 特記事項

- イ. 屋上防水改修工事 (1～7号棟 塗膜防水工法)
イ) 屋上防水改修工事は関東財務局編「防水工事共通仕様書」により施工する。
ロ) 材料

1. 主材料

塗膜を形成する材料は、JIS A6021(屋根用塗膜防水材)により、種類はウレタンゴム系1類及びウレタンゴム系2類とし、使用部位による区分は、平場は一般用又は共用、立上り部は立上り用又は共用とする。

2. その他の材料

プライマー、補強布、接着剤、通気緩衝シート、シーリング材、仕上塗料等は、主材料製造所の指定する製品とする。なお、仕上塗料はシルバーを除くものとし色見本を提出する。

ハ) 種別及び工程

新設防水層は平場X-1工法(脱気工法)とし、立上り部及び架台等天端はX-2工法とする。

ウレタン系塗膜防水の種別及び工程

種 別	X-1		X-2	
	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタン防水材塗り	1.5	ウレタン防水材塗り 補強布張り	0.3
3	ウレタン防水材 (1類)塗り	1.5	ウレタン防水材塗り	1.5 (0.9)
4	仕上塗料塗り	0.2	ウレタン防水材 (1類)塗り	1.2 (0.8)
5	—	—	仕上塗料塗り	0.2

- (注) 1. 表中のウレタン防水材塗りの使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合にあつては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2. 既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
3. 立上り部はすべて種別X-2とし、工程3及び4は()内とする。
4. 脱気装置はメーカ仕様とする。

二) 施工

1. 下地

- (1) 防水層の下地は、関東財務局「防水工事共通仕様書」2.へによる。なお、架台部分補強については下記による。
1) 設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ廻り、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部は、特記による。特記がなければ監督職員と協議する。

- (2) ルーフドレイン、配管等と防水下地材との取合いはシーリング材で処置する。

2. プライマー塗り

プライマーは、下地乾燥後清掃を行い、ローラー刷毛等を用いて当日の施工範囲をむらなく塗布する。

3. 下地補強

- (1) コンクリートの打ち継ぎ箇所及び2. 既存防水層の処理 へ. により補修を行った著しいひび割れ箇所は、幅100mm以上の補強布を用い、補強塗を行う。
(2) ルーフドレイン、配管等の取合い、出隅及び入隅は、それぞれ100mm以上を、補強布を用い補強塗を行う。

4. 防水材塗り

- (1) 防水材は、製造所の仕様により、可使用時間に見合った量及び方法で攪り混ぜる。
(2) 防水材塗りは、材料に見合った方法で一均に塗付ける。なお、種別X-2の場合は補強布を張りながら塗付ける。
(3) 塗継ぎの重ね幅は100mm以上とし、補強布の重ね幅は50mm以上とする。
(4) 種別X-2の立上り部においては平場部との取合いから100mm程度の高さまで防水材の増張りを行う。
5. 1～4に定める以外は、主材料製造所の仕様による。

ロ. 屋上防水改修工事 (8号棟 合成高分子系ルーフィングシート防水)

- イ) 8号棟屋上防水は下記仕様により施工する。

ロ) 材料

1. ルーフィングシートは、JIS A 6008(合成高分子系ルーフィングシート)による。また、ルーフィングシートの厚さは、種別S-F1の場合は1.2mm、S-F3、S-M1及びS-M2の場合は1.5mmとする。
2. 絶縁シートの材質は、押えコンクリート面はウレタン皮成イソシアメレートボード厚みは10mmとし、側溝内は発泡ポリエチレンシート厚みは1.0mmとする。
3. その他の材料
プライマー、成形役物、接着剤、シール材、固定金具、
絶縁用テープ等は、ルーフィングシート製造所の指定する製品とする。

ハ) 種別及び工程

1. 新設防水層部分で、バラベツト部分は接着工法とし、排水溝、コンクリート押え部分及び縁石部分は機械的固定工法とする。

合成高分子系ルーフィングシート防水の工法、種別及び工程

工 法	接着工法				機械的固定工法			
	S-F1		S-F3		S-M1		S-M2	
種 別	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
工 程								
1	プライマー塗り	0.2	—	—	—	—	—	—
2	接着剤塗布	0.4	接着剤塗布	0.4	絶縁シート敷設	—	絶縁シート敷設	—
3	加硫ゴム系ルーフィングシート張付け	—	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート張付け	—	加硫ゴム系ルーフィングシートの固定金具による固定	—	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシートの固定金具による固定	—
4	仕上塗料塗り	0.25	—	—	仕上塗料塗り	0.25	—	—

二) 施工

1. 下地

- (1) S-F1、S-F3部分の下地処理は、次による。
(Ⅰ) 既存露出防水層の表面は、ゴミ等の異物を取り除き、水洗いを行う。
(Ⅱ) 既存露出防水層の損傷箇所、継目等のはく離箇所又は浮き部分等は、切除し、ポリマーセメントモルタル等で平滑に補修する。ただし、既存防水層の表面が著しく劣化していたり、既存防水層と下地の接着強度が不十分な場合は、監督職員と協議する。
(2) S-M1、S-M2部分の下地処理は、次による。
(Ⅰ) 下地に付着している異物はケレンし、清掃を行う。
(Ⅱ) 下地の著しい欠損部は、ポリマーセメントモルタルで補修する。

- (Ⅲ) 下地の脆弱等で、固定金具の固定強度が不十分な場合は、監督職員と協議する。
又施工に先立ち、固定金具の下地への固定に使用するアンカーの引抜強度を確認する。
数量と位置については監督職員と協議する。
(Ⅳ) 既存目地の欠損部は、ポリマーセメントモルタルを充填する等して、平らに補修する。
また、突出している目地材は、平らに撤去する。
(Ⅴ) 部分的な水はけ不良がある場合は、ポリマーセメントモルタルで補修する。
ただし、勾配不良がみられる場合は、監督職員と協議する。
(3) 金物類の処理は、次による。
ルーフドレイン、配管類に施されている塗料で、接着剤で溶解するおそれのあるものは、ルーフィングシートの張付けに先立ち、ワイヤーブラシ又は溶剤を用いて除去する。
又、バラベツト端末の押え金物は撤去する。

2. プライマー塗り(接着工法)

- (1) プライマーは、下地乾燥後清掃を行い、ローラーはけ等を用いて当日の施工範囲をむらなく塗布する。

3. 接着剤の塗布(接着工法)

- (1) 下地に塗布する場合は、事前に下地調整材を全面塗布した後ローラーはけ、くしべら等を用いてむらなく行う。
下地調整材と接着剤についてはルーフィング製造所の仕様による。

4. 増張り

- (1) 立上り及び立下がり部の、出入隅角の補強は、次による。
(Ⅰ) 種別S-F1、S-M1の場合は、ルーフィングシート張付けに先立ち、200mm角程度の増張り用シートを増張りする。
(Ⅱ) 種別S-F3、S-M2の場合は、ルーフィングシート施工後に、成形役物を張り付ける。
(2) 種別S-F1、及びS-M1の場合、ルーフドレイン、配管等と防水下地との取合いは、シートの張付けに先立ち、次の処理を行う。
(Ⅰ) ルーフドレイン回りは、幅100mm程度の増張り用シートをドレインと下地に割り張り、張り付ける。
(Ⅱ) 配管回りは、幅100mm程度の増張り用シートを下地面に20mm程度張り掛け、張り付ける。

5. 一般部のルーフィングシートの張付け

- (1) 接着工法の場合は、接着剤の適切な乾燥状態を見計らい、ルーフィングシートに引張りを与えないよう、また、しわを生じないように張り付け、ローラー等で密着させる。
(2) 機械的固定工法の場合は、次による。
(Ⅰ) 建築基準法に基づき定められた風速(V0)は34m/sec及び地表面粗度区分は(Ⅲ)とする。
なお、指定された条件により、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を、5.1)、ロの施工計画書で定める。
(Ⅱ) 絶縁シートを敷き並べたのちに、(Ⅰ)の施工計画書に基づき、固定金具を用いてルーフィングシートを固定する。ルーフドレイン回りは、ルーフドレイン周囲から300mm程度の位置に固定金具を掛けて、これにルーフィングシートを固定する。
(3) ルーフィングシートの重ね幅等は、次による。
(Ⅰ) 種別S-F1及びS-M1の場合
重ね幅は、縦横とも100mm以上とする。ただし、立上りと平場の重ね幅は、150mm以上とする。
ルーフィングシートが3枚重ねとなる部分は、内部にシール材を充填する。
(Ⅱ) 種別S-F3及びS-M2の場合
重ね幅は、縦横とも40mm以上とし、接合部は熱融着又は溶剤溶着により接合し、その端部をひも状又は液状シール材でシールする。ルーフィングシートが3枚重ねとなる部分は、熱融着して重ね部の隙間をなくす。

6. 立上り及び立下り部の防水末端部の処理

立上り及び立下り部は、その端部にテープ状シール材を張り付けたのちにルーフィングシートを張り付け、末端部は押え金物で固定し、シール材を充填する。

7. 仕上塗料塗り

仕上塗料塗りは、ルーフィングシートを張り付けたのち、ローラーはけ等を用いて、むらなく塗り付ける。

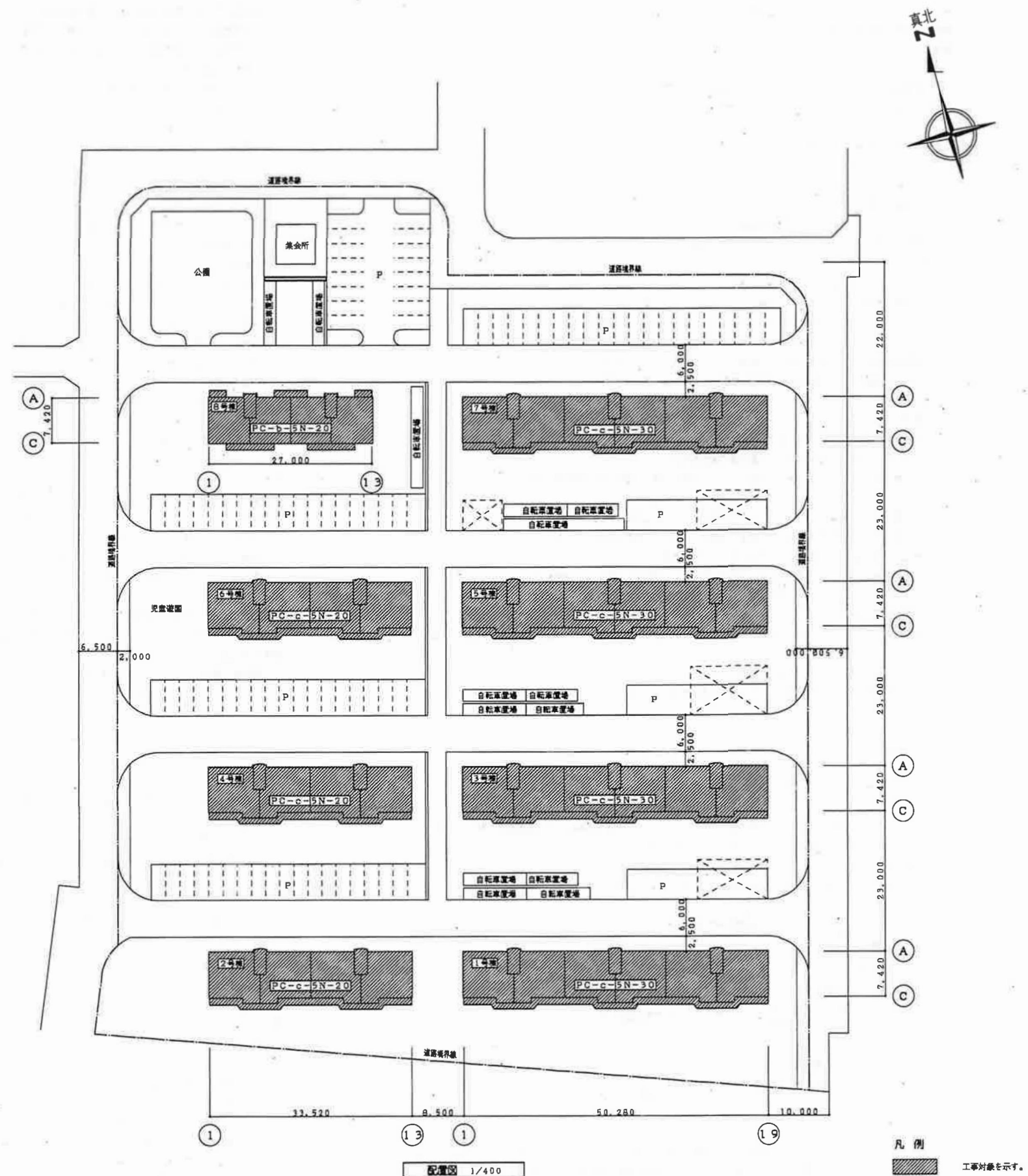
8. 1.～7.に定める以外は、ルーフィングシート製造所の仕様による。

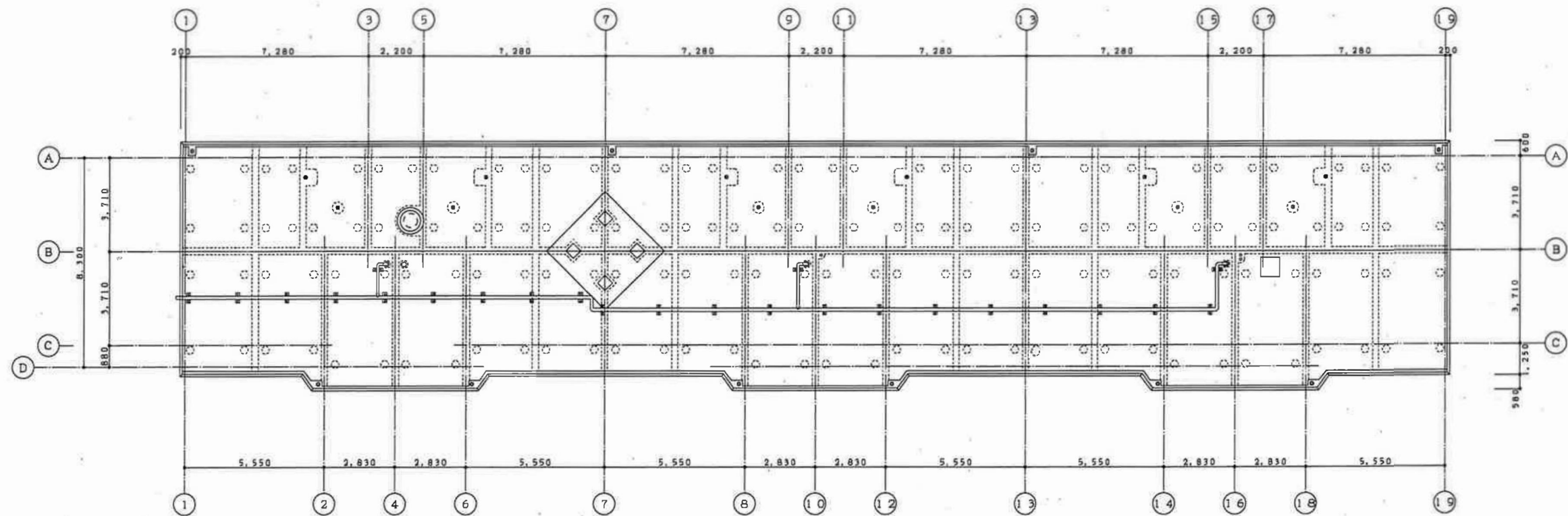
ハ. 雑工事

- イ) ルーフドレイン塗装は、タールエポキシ樹脂塗料(JIS K 5664 1種)2回塗りとする。
ロ) SOP塗装工程は「保全工事共通仕様書」5.2.1表、5.2.2表、及び5.2.3表により行い、種別はS-OP-Bとする。下地処理(ケレン)は、5.1.1表の3種ケレンとするが、必要に応じて2種ケレンを施す。
ハ) 改修ドレインは(アーキヤマデ 品番AYドレンN、田島ルーフィング 品番ドレンキャップAL、ダイフレックス 品番DDドレンキャップ タテ型)同等品以上とする。

屋上防水改修(H16) 既存図面

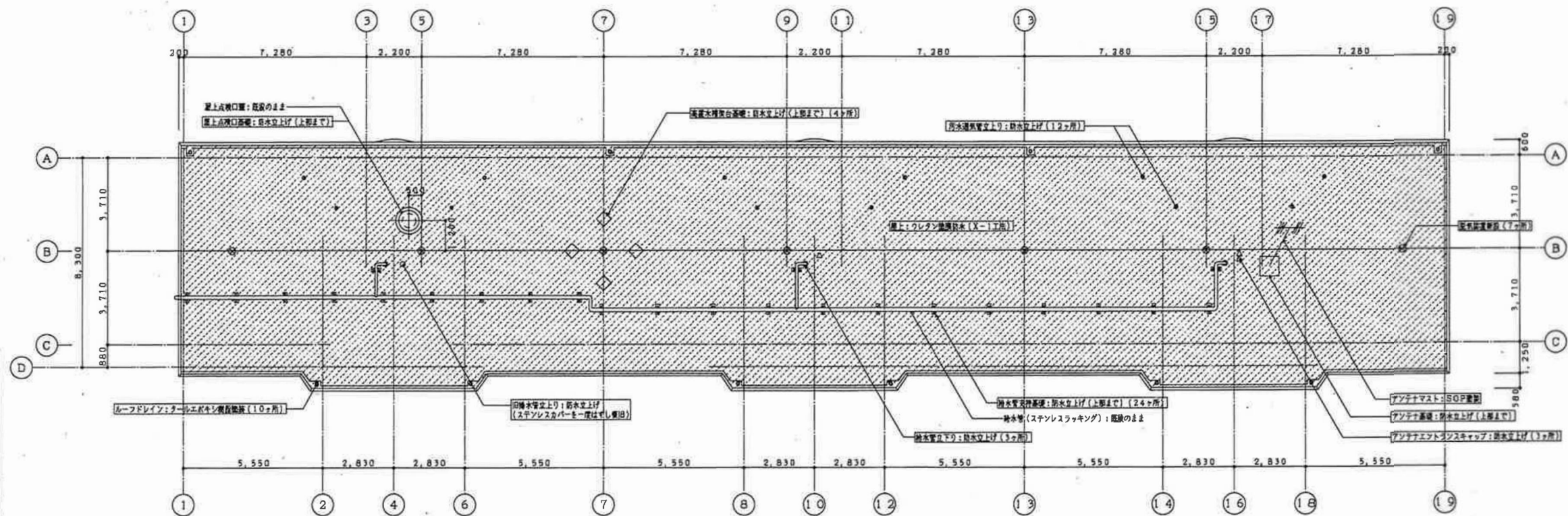
有限会社 佐藤建築構造設計事務所 一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号 一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦				工事名	国家公務員宿舍二和住宅跡地建物解体工事		図面番号
				図面名	工事概要書		K-64
					船橋市建設局建築部建築課		(122/133)
					令和7年度		





改修前1号棟屋根伏図 1/100

--- 鉄筋水置位置を示す。
※ 3・5・7号棟は1号棟に準ずる。



改修後1号棟屋根伏図 1/100

凡例	
	工事内容を示す
	設水改修範囲を示す (X-1工法)
	排水管支持基礎を示す
	排水管立上り位置を示す
	排水管立上り位置を示す
	アンテナエントランスキャップ位置を示す
	アンテナ基礎位置を示す
	既設位置を示す

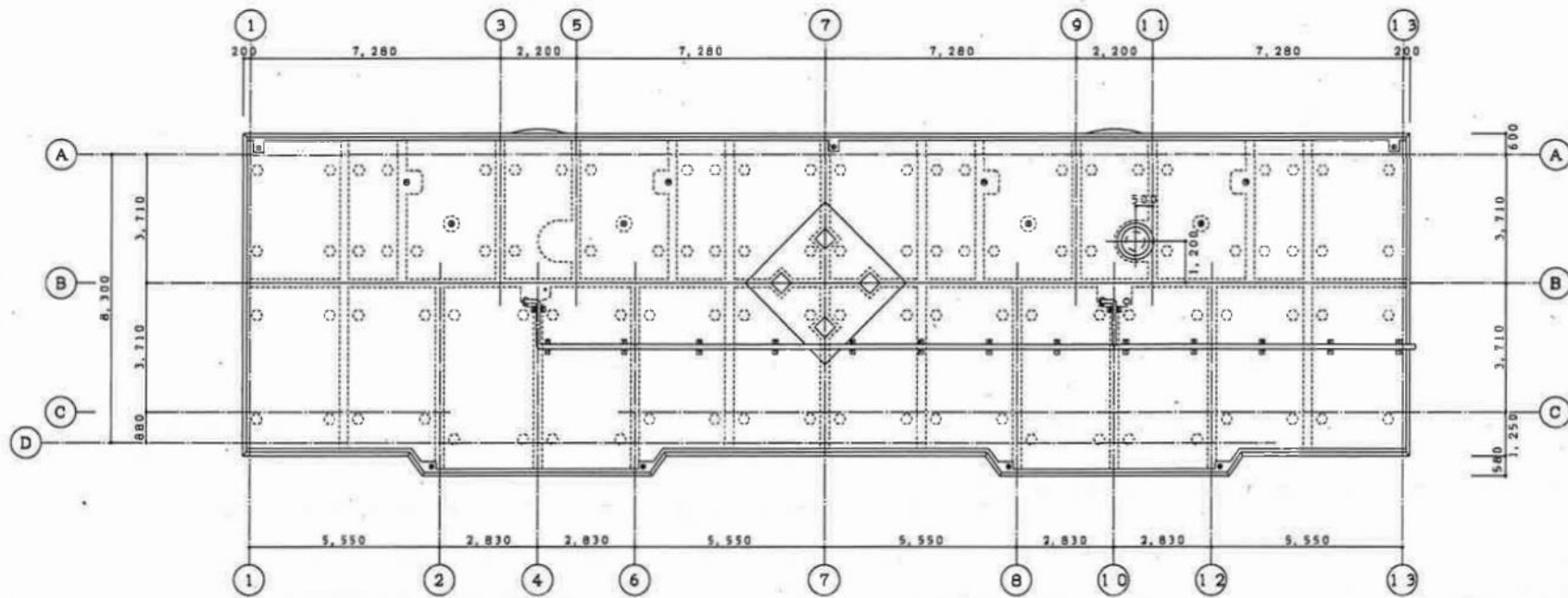
屋上防水改修 (H16) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名 国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事
図面名 屋根伏図 (1号棟)
船橋市建設局建築部建築課

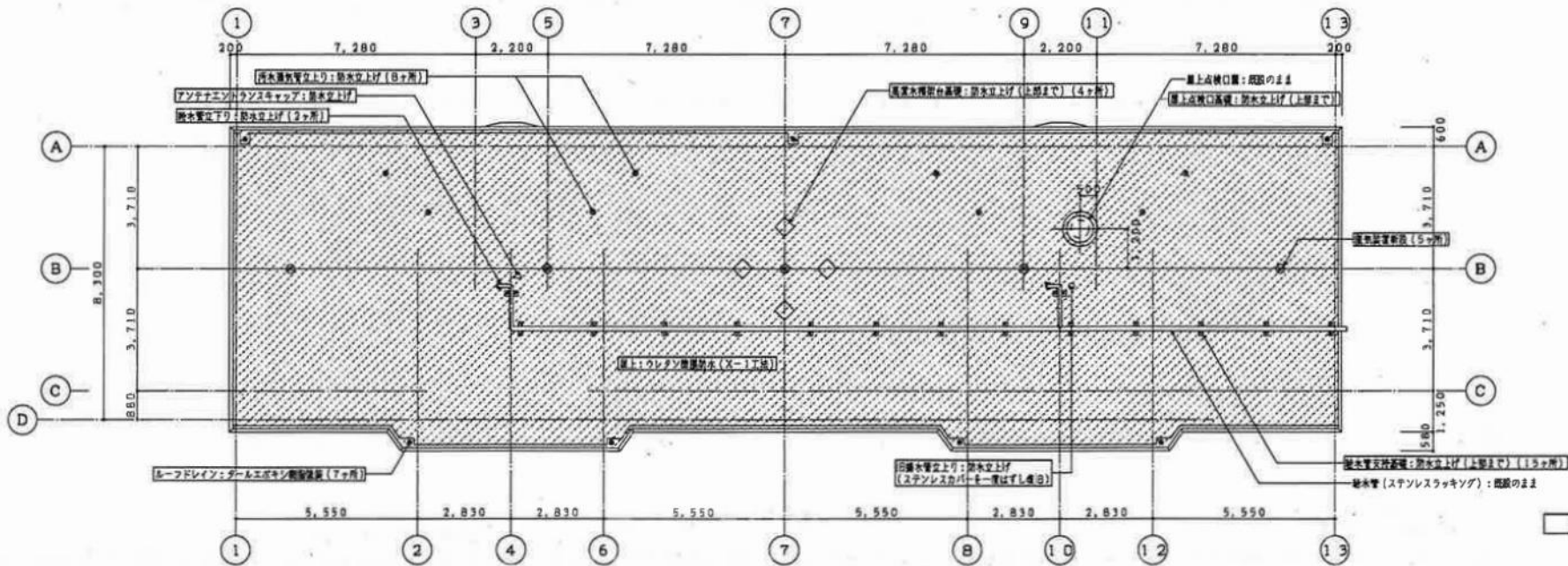
図面番号 K-66
(124/133)
令和7年度

凡例	
	工事内容を示す
	既存改修範囲を示す (X-1工法)
	雨水管と汚水管を示す
	雨水管上下りを示す
	汚水逆流防止上りを示す
	雨水管上りを示す
	アンテナエントランスキャップを示す
	アンテナ支持金物を示す
	既設設置を示す

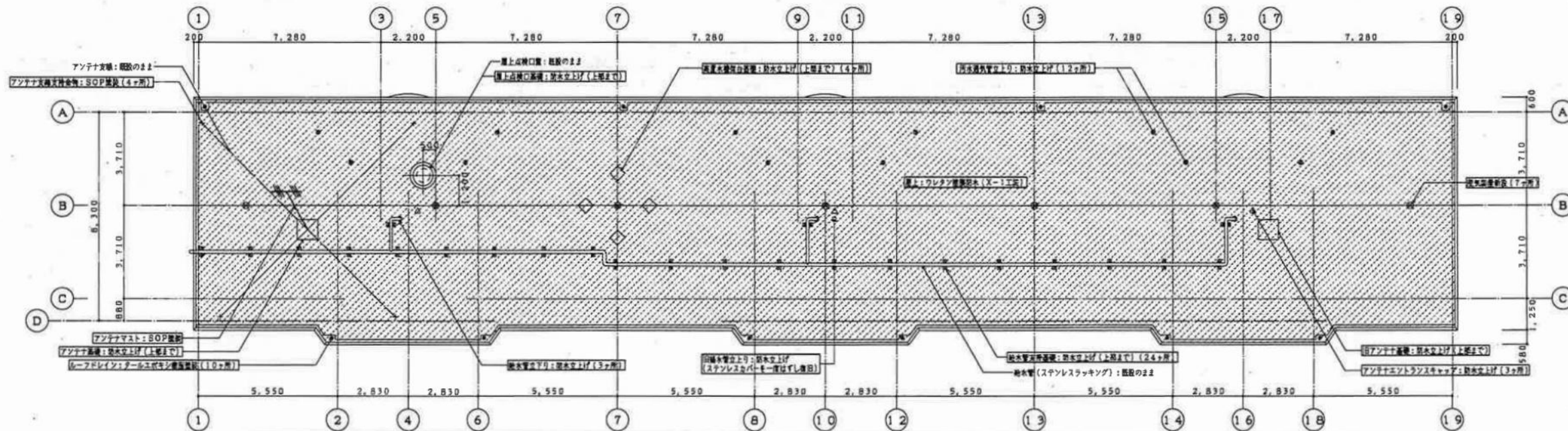


改修前2号棟屋根伏図 1/100

--- 雨水管位置を示す。
■ 4・6号棟は2号棟に準ずる。



改修後2号棟屋根伏図 1/100



改修後3号棟屋根伏図 1/100

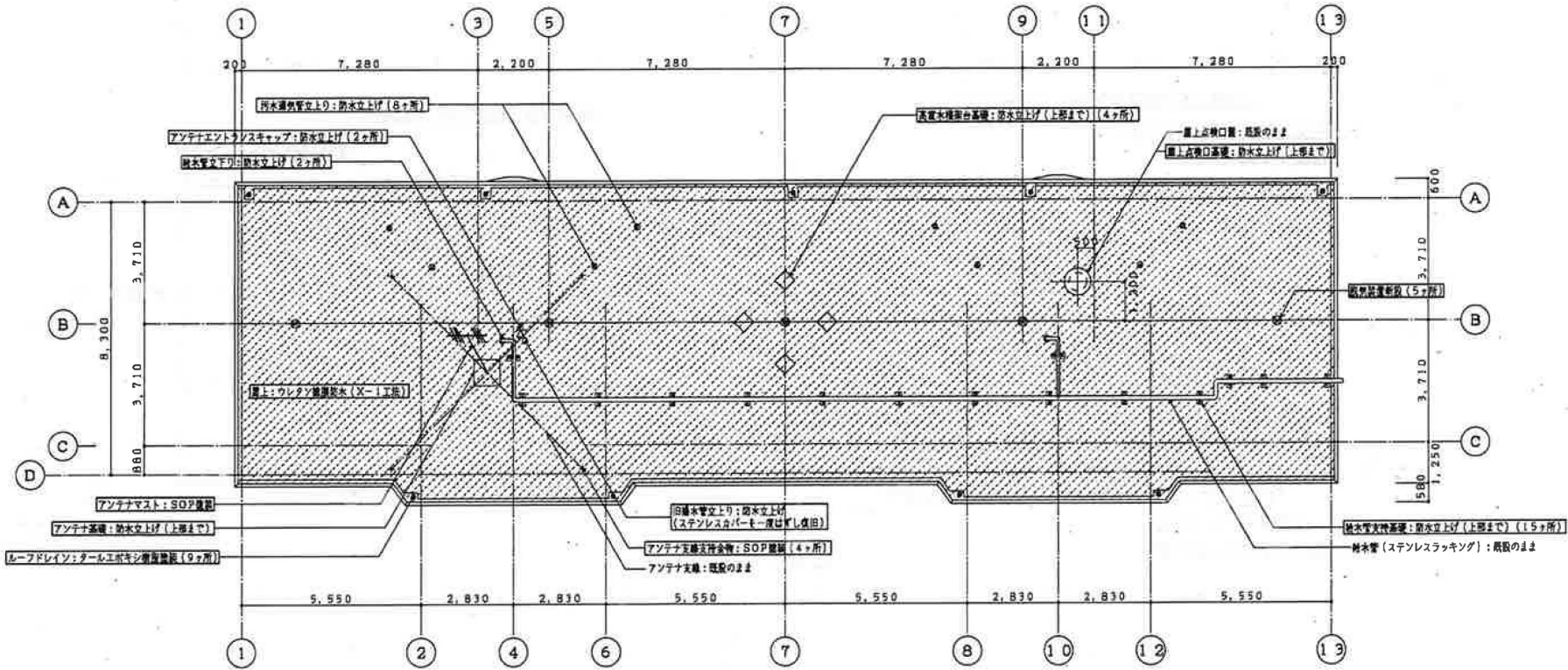
屋上防水改修 (H16) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤 博彦

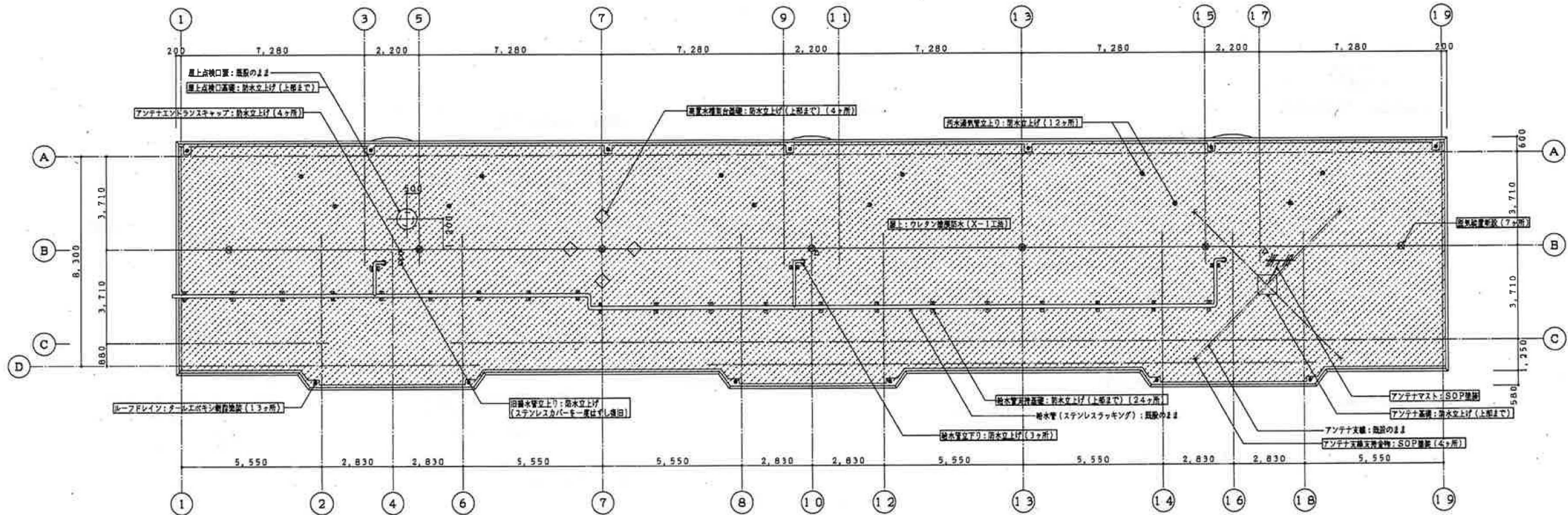
工事名 国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事
図面名 屋根伏図 (2・3号棟)
船橋市建設局建築部建築課

図面番号 K-67
(125/133)
令和7年度

Table with 2 columns: Symbol and Description. It lists various construction symbols used in the drawings, such as '工機内図を示す' (Indicates internal structure of work/machine), '防水改修範囲を示す(X-1工法)' (Indicates waterproofing repair area using X-1 method), and '排水管立上りを示す' (Indicates drainage pipe riser).

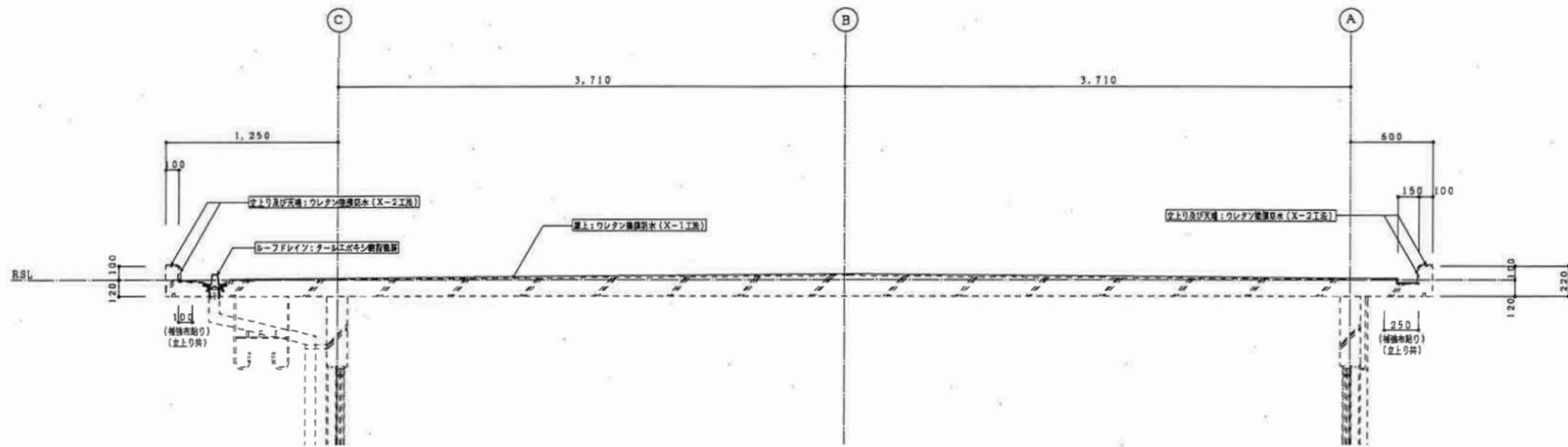


改修後6号棟屋根伏図 1/100

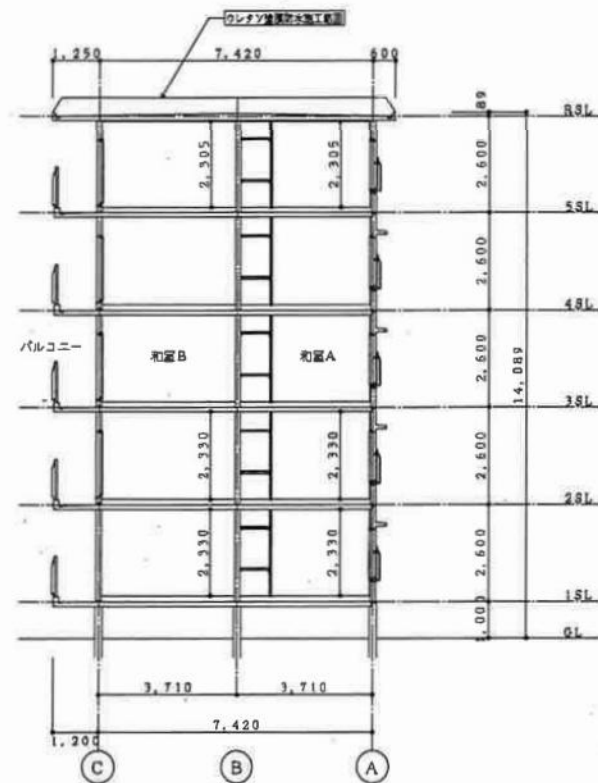


改修後7号棟屋根伏図 1/100

屋上防水改修 (H16) 既存図面



矩計図 (1~7号棟) 1/20



断面図 (1~7号棟) 1/100

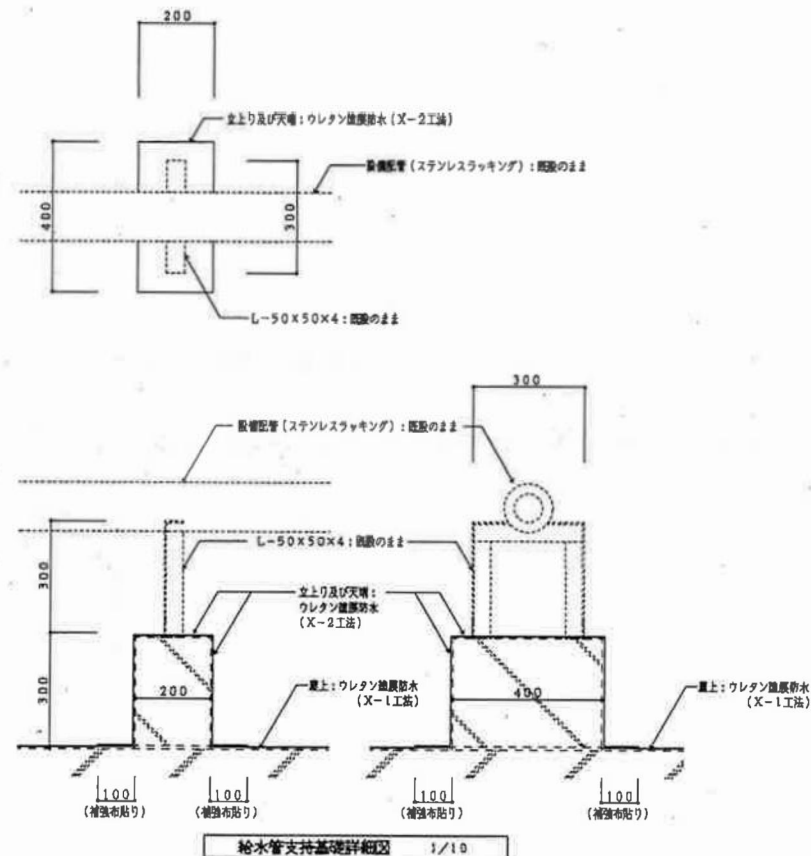
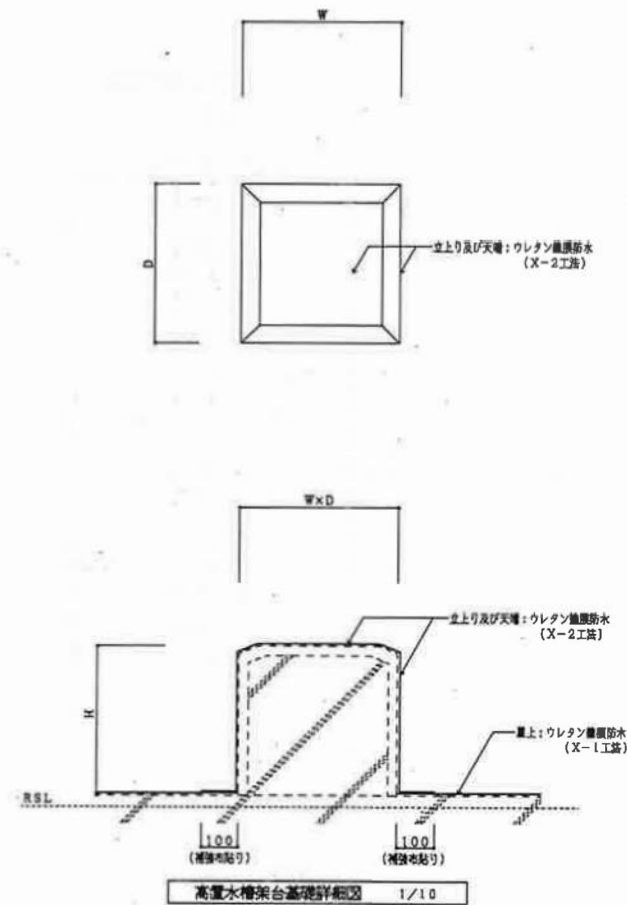
屋上基礎廻り数量表																
棟番号	型式・住戸数	1号棟との違い	既設防水の種類	ルーフドレイン	汚水通気管立上り	アンテナ基礎	アンテナマスト	アンテナ支線 支持金物	高置水曜架台基礎	給水管支持基礎	給水管立下り	旧給水管立上り	屋上点検口基礎	アンテナ エントランスキャップ	既設設置	備 考
1号棟	PC-c-5N 30戸	住戸数	PC版に防水	10か所	12か所	1か所 W770×D770×H280	1か所	なし	4か所 W425×D425×H400	24か所	3か所	1か所 175φ×H240	1か所 立上りあり	3か所	7か所	
2号棟	PC-c-5N 20戸		PC版に防水	7か所	8か所	なし	なし	なし	4か所 W500×D500×H400	15か所	2か所 (ステンレスカバー付)	1か所 175φ×H230	1か所 立上りあり	1か所	5か所	
3号棟	PC-c-5N 30戸	アンテナ基礎の数	PC版に防水	10か所	12か所	2か所 W770×D770×H280 W800×D800×H300	1か所	4か所	4か所 W425×D425×H400	24か所	3か所	1か所 245φ×H230	1か所 立上りあり	3か所	7か所	
4号棟	PC-c-5N 20戸	住戸数 屋上点検口立上りの形状 ルーフドレインの数	PC版に防水	9か所	8か所	1か所 W890×D870×H310	1か所	4か所	4か所 W530×D530×H410	15か所	2か所	1か所 180φ×H250	1か所 立上りあり	2か所	5か所	
5号棟	PC-c-5N 30戸	屋上点検口立上りの形状 ルーフドレインの数 TV用電線管	PC版に防水	13か所	12か所	1か所 W800×D800×H280	1か所	4か所	4か所 W425×D425×H400	24か所	3か所	1か所 250φ×H280	1か所 立上りあり	2か所	7か所	TV用電線管 SOP塗替
6号棟	PC-c-5N 20戸	住戸数 屋上点検口立上りの形状 ルーフドレインの数	PC版に防水	9か所	8か所	1か所 W890×D880×H315	1か所	4か所	4か所 W500×D500×H400	15か所	2か所	1か所 180φ×H280	1か所 立上りあり	2か所	5か所	
7号棟	PC-c-5N 30戸	屋上点検口立上りの形状 ルーフドレインの数	PC版に防水	13か所	12か所	1か所 W800×D800×H150	1か所	4か所	4か所 W425×D425×H400	24か所	3か所 (ステンレスカバー付)	1か所 160φ×H250	1か所 立上りあり	4か所	7か所	
8号棟	PC-b-5N 20戸	外断熱防水	PC版に外断熱防水 の上 補修コンクリート打設	10か所	8か所	1か所 W800×D800×H80	1か所	4か所	4か所 W520×D520×H380	15か所	2か所	1か所 130φ×H420	1か所 立上りあり	2か所	—	給水管支持基礎 1か所
合計	200戸			81か所	80か所	8か所	7か所	24か所	32か所	156か所	20か所	8か所	8か所	19か所	43か所	

屋上防水改修 (H16) 既存図面

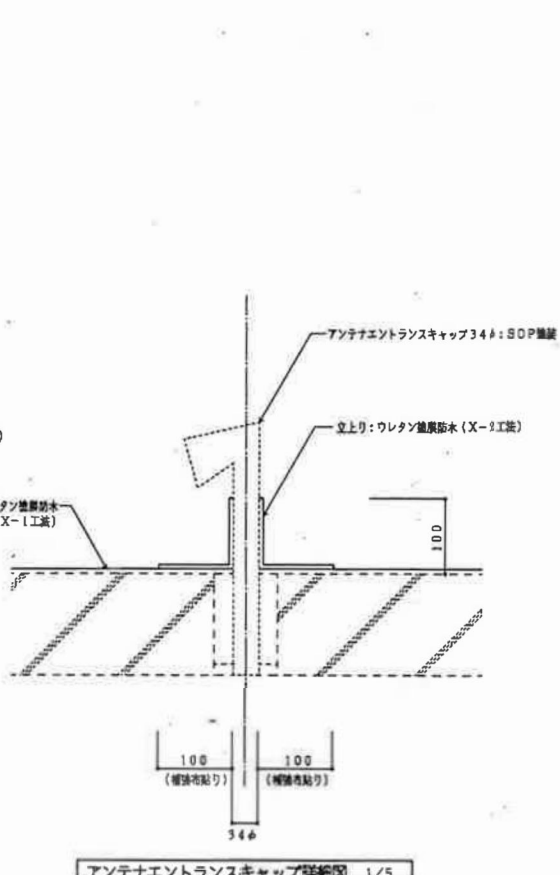
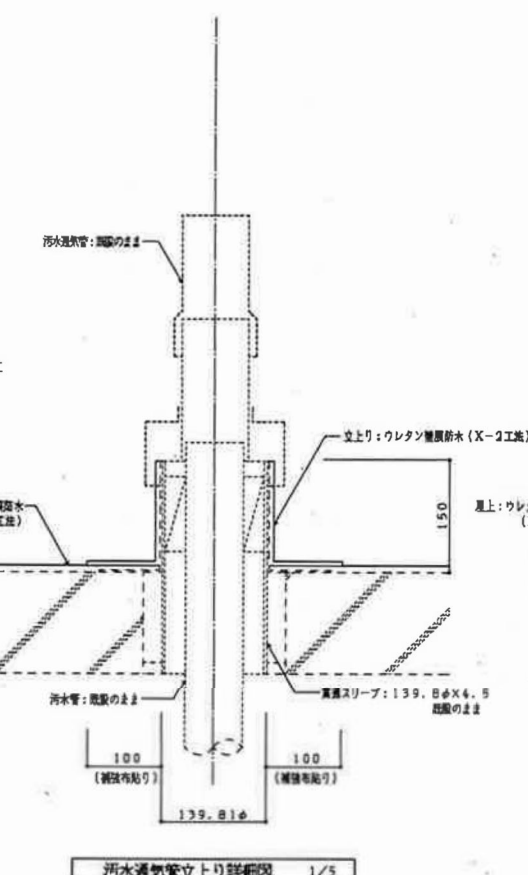
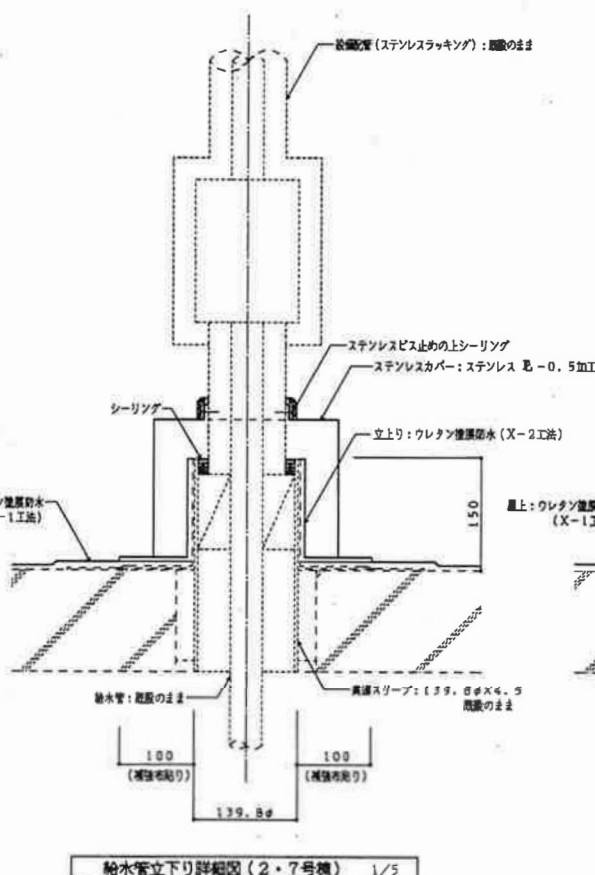
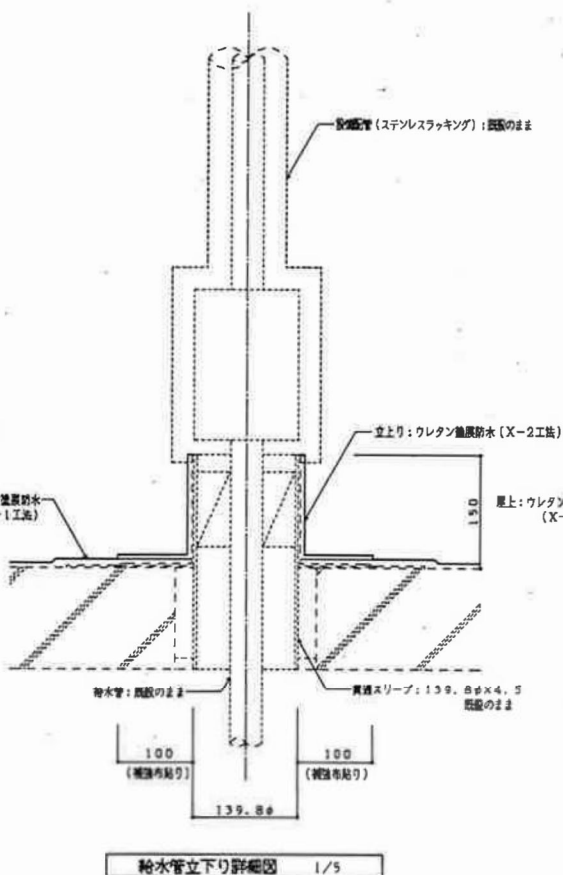
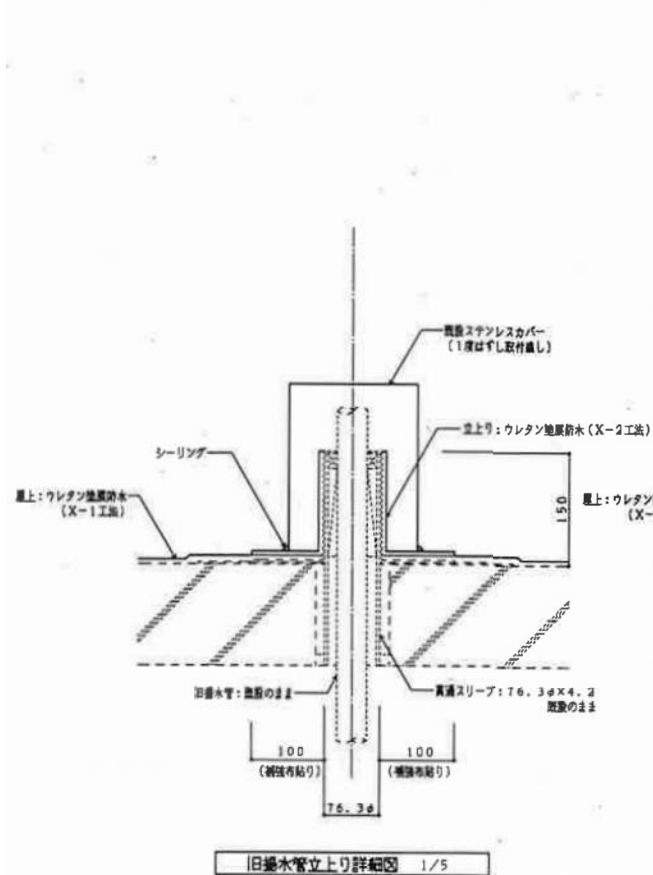
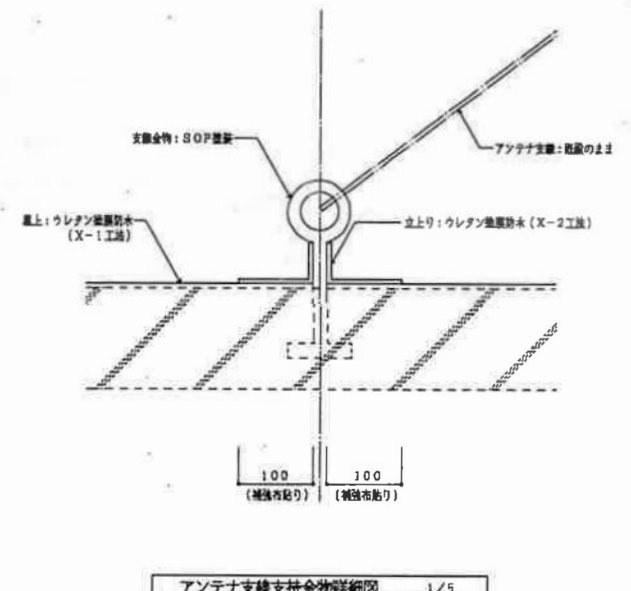
有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名 国家公務員宿舎和住宅跡地建物解体工事
図面名 矩計図・断面図 (1~7号棟) ・数量表
船橋市建設局建築部建築課

図面番号 K-70
(128/133)
令和7年度



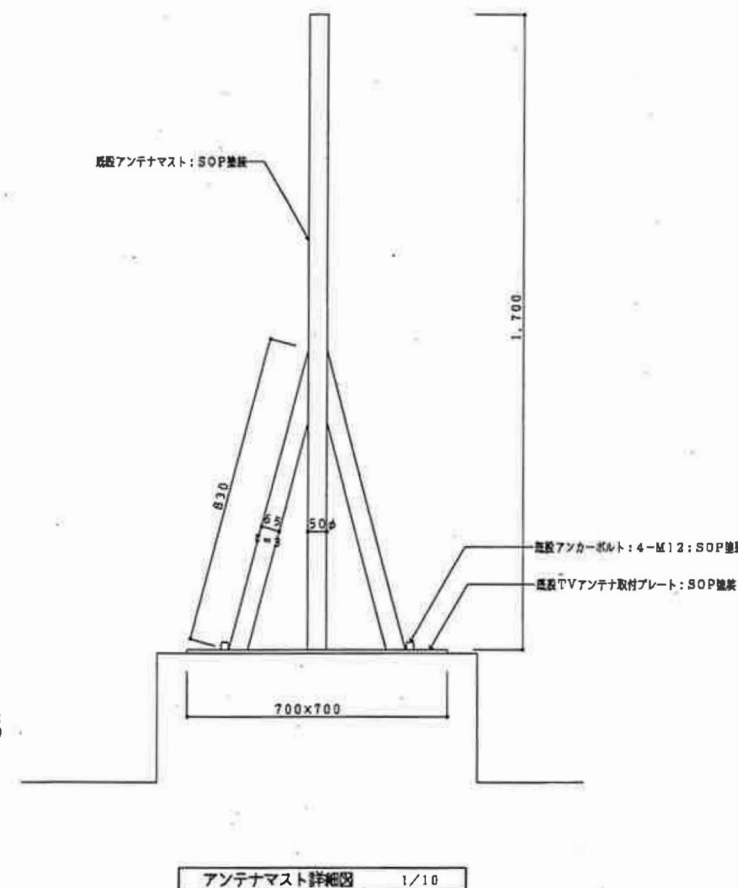
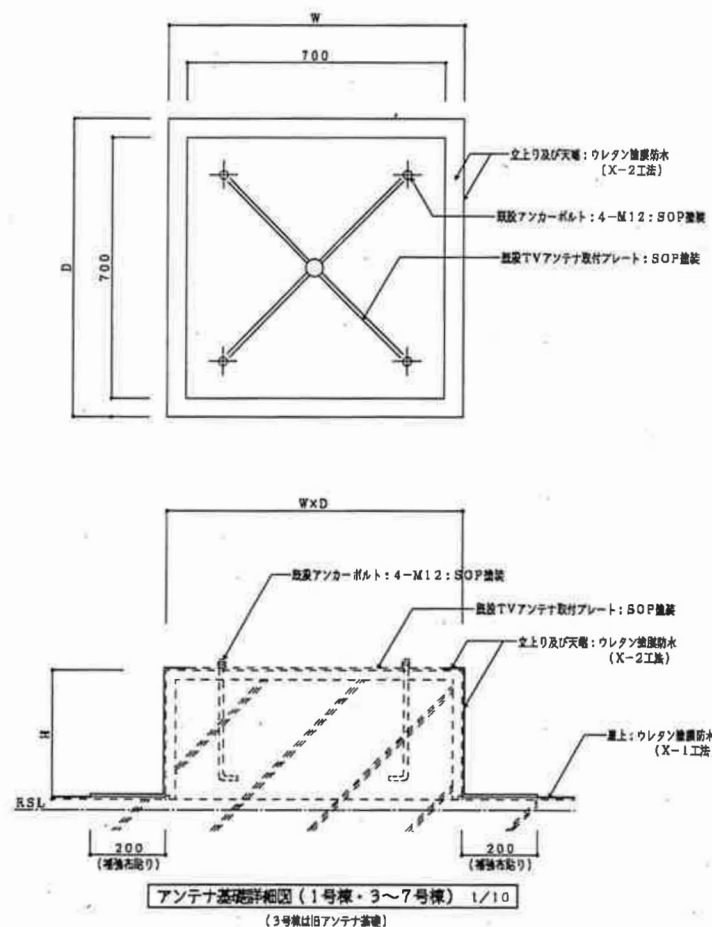
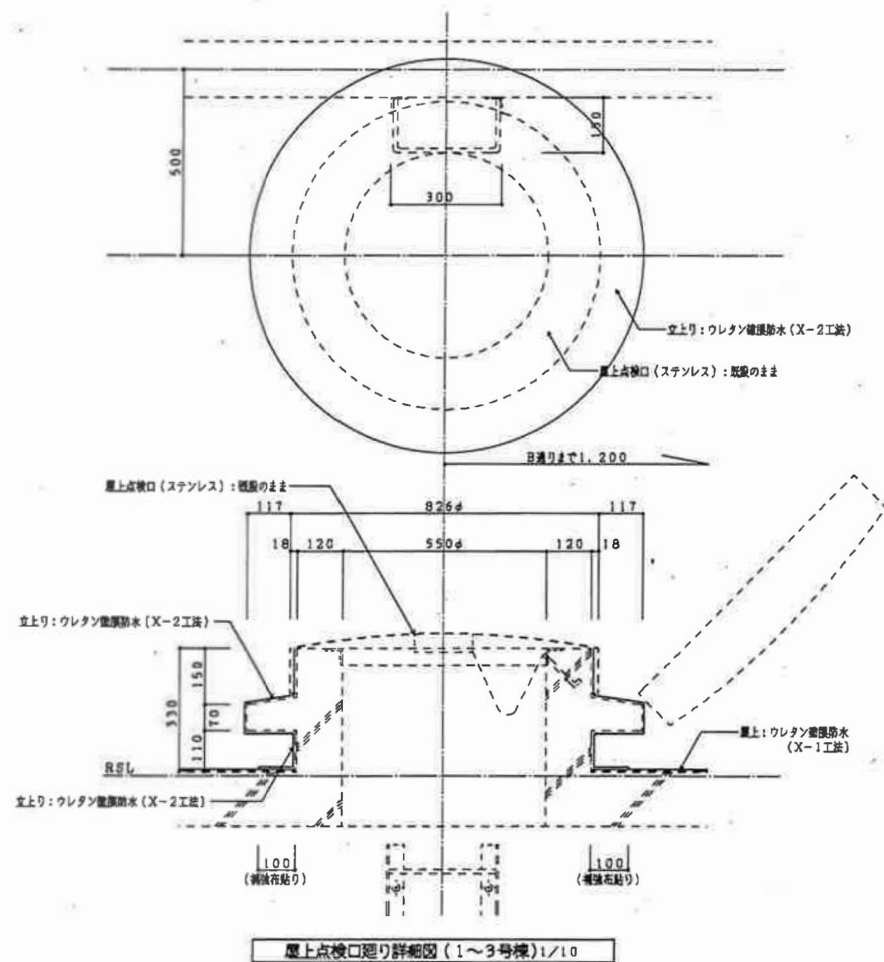
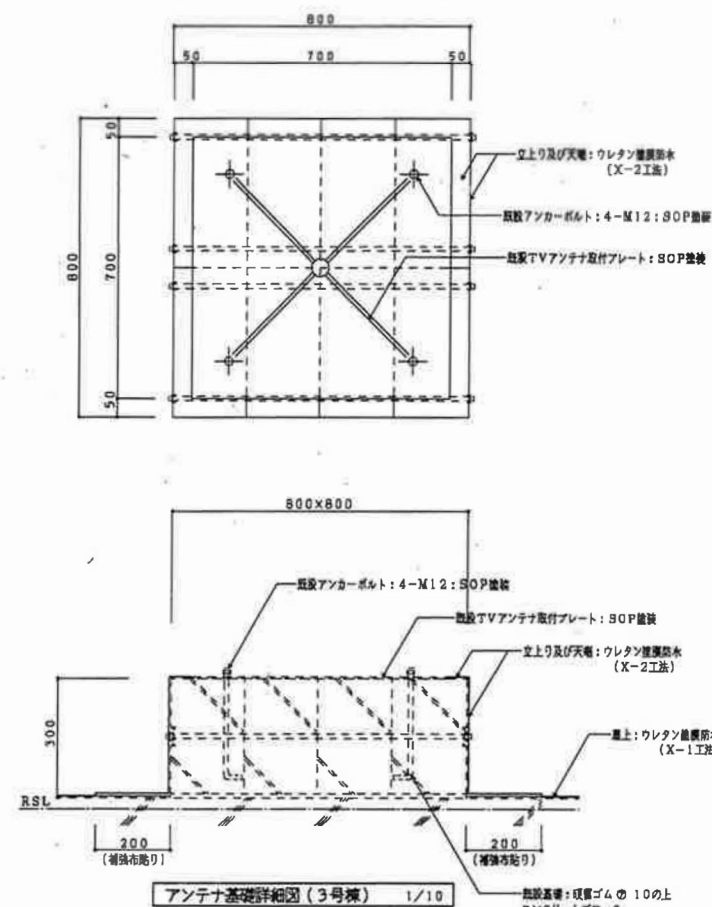
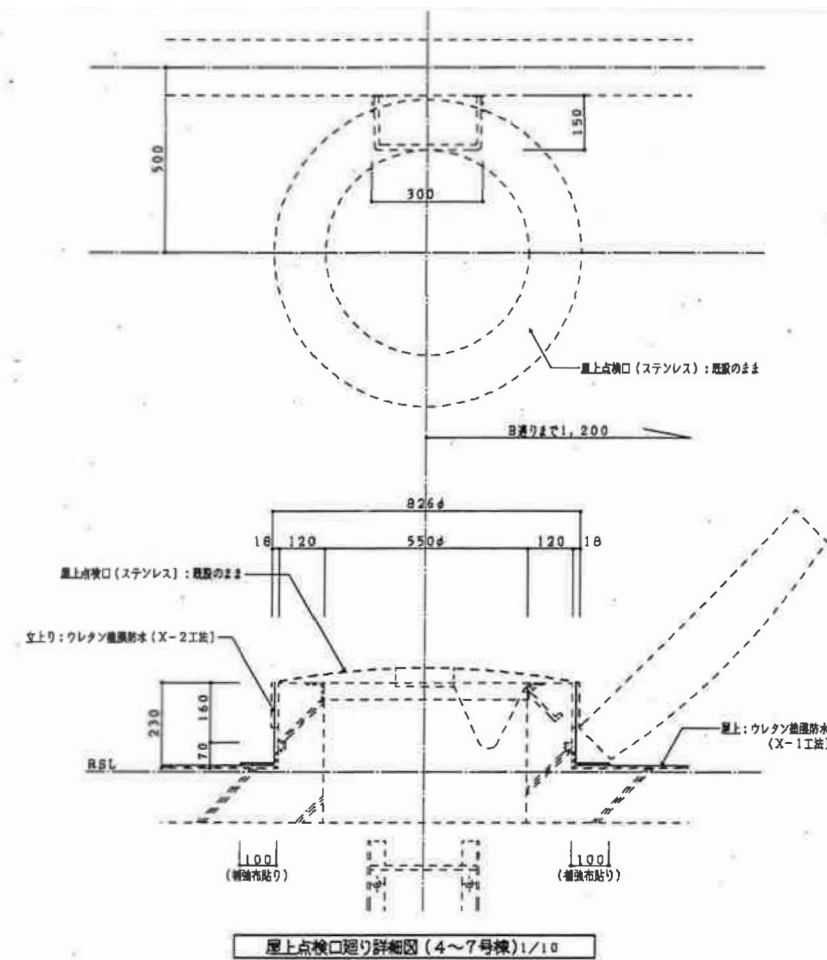
※ 「シーリング」は変成シリコンとする。



屋上防水改修 (H16) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名	国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-71
図面名	各部詳細図 (1) (1~7号棟)	図尺	(129/133)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

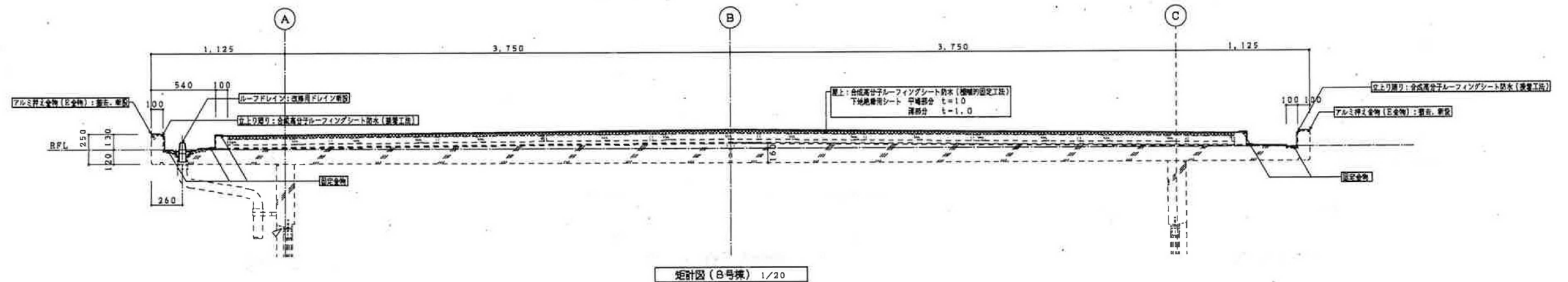
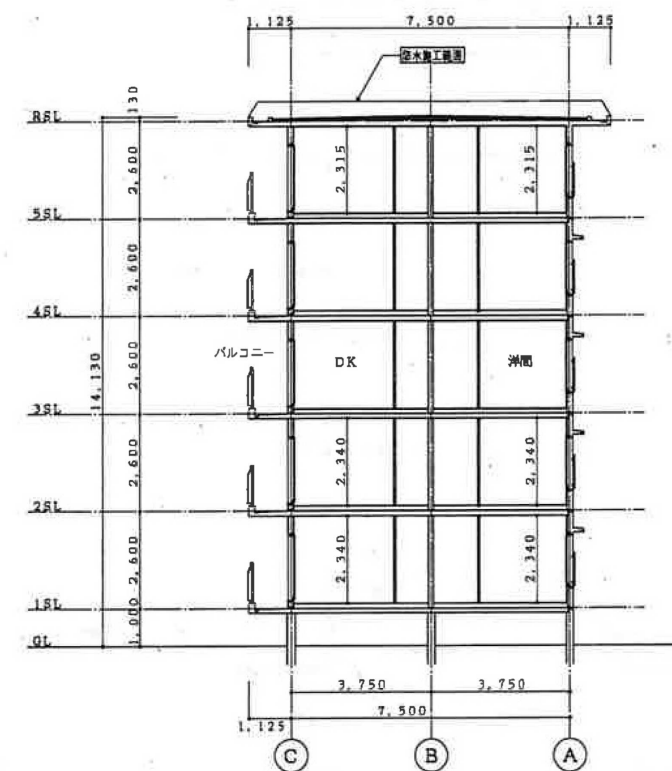
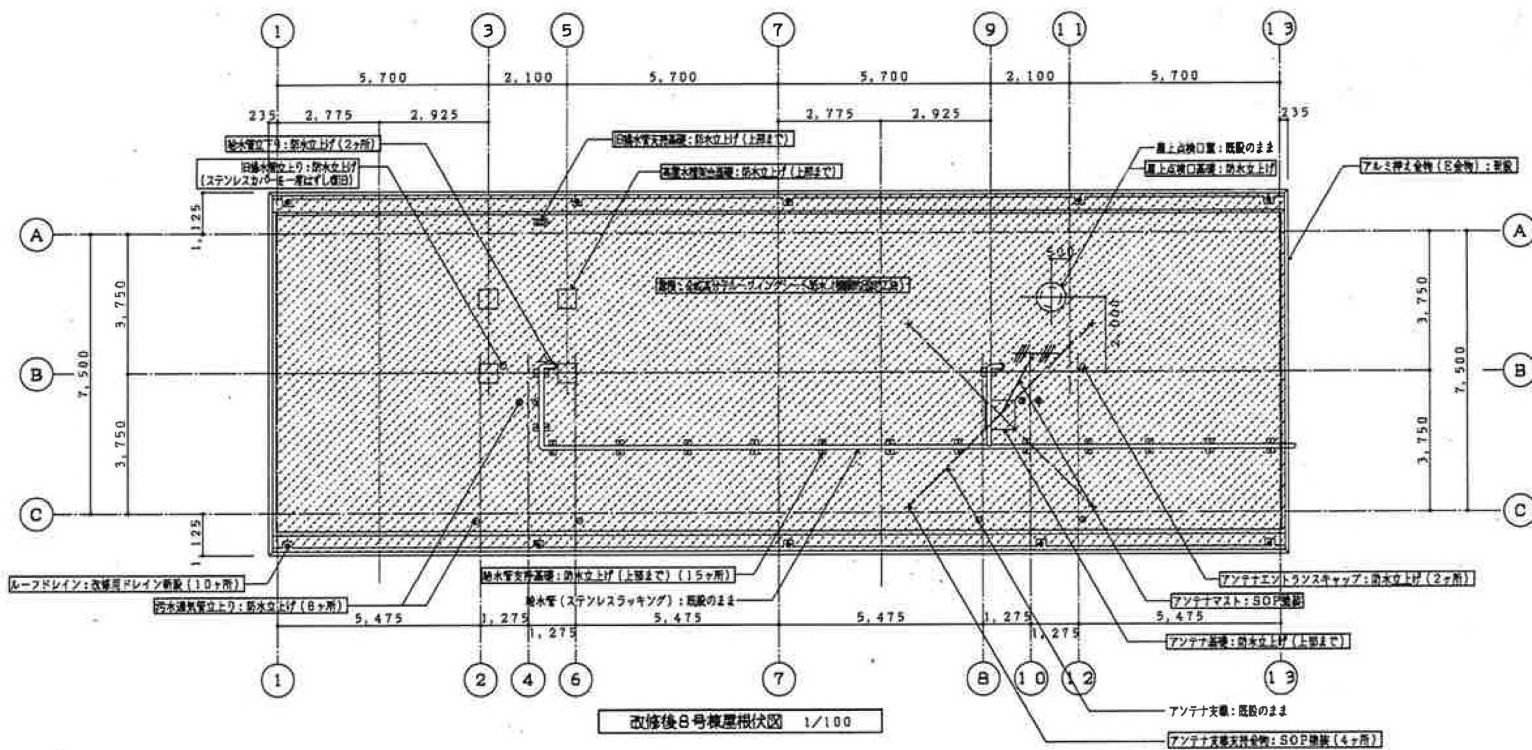
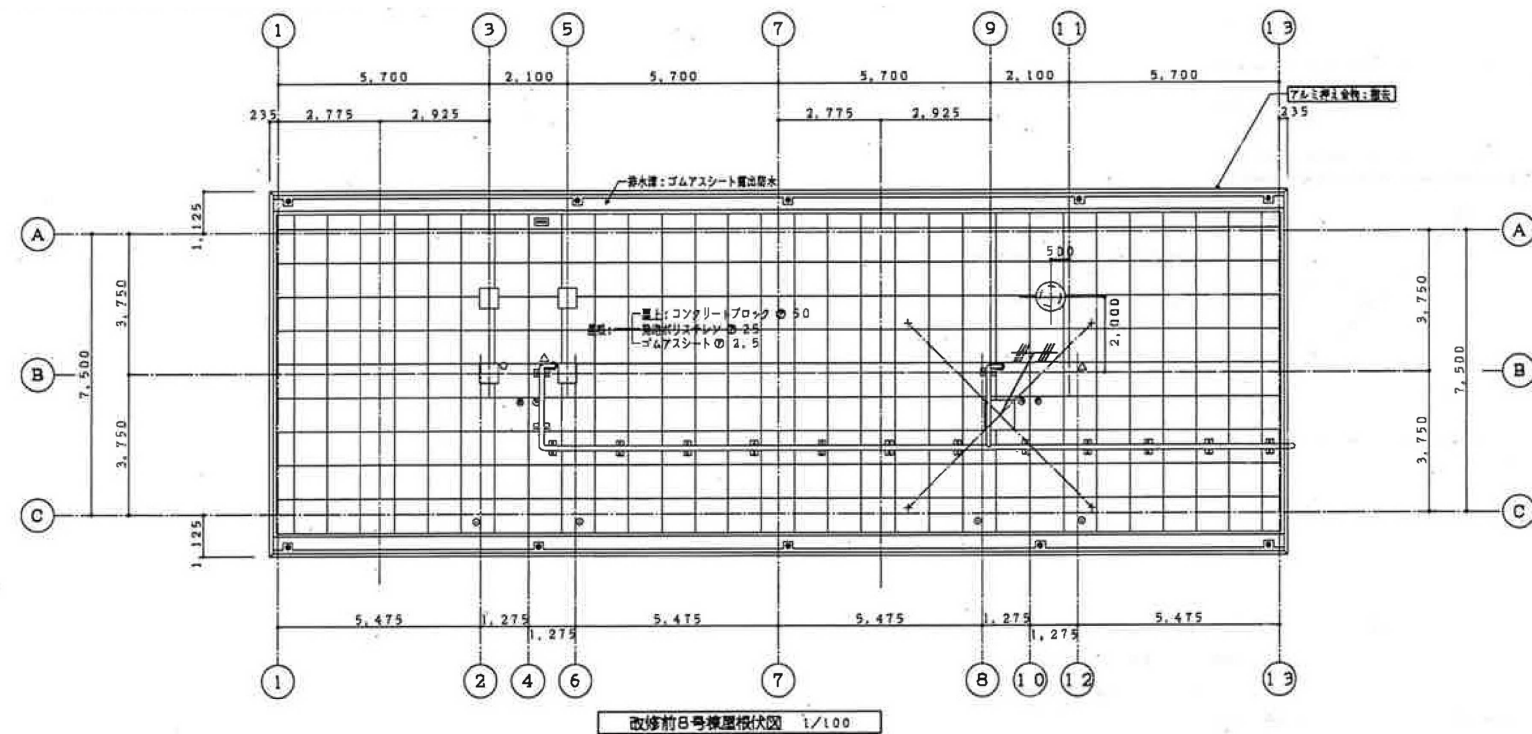


屋上防水改修 (H16) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤 暢彦

工事名 国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事
図面名 各部詳細図 (2) (1~7号棟)
船橋市建設局建築部建築課

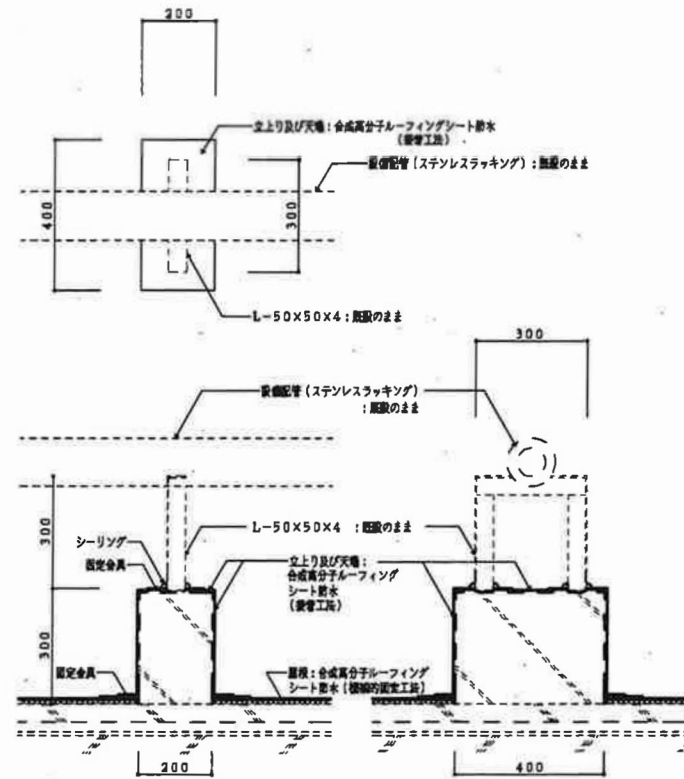
図面番号 K-72
(130/133)
令和7年度



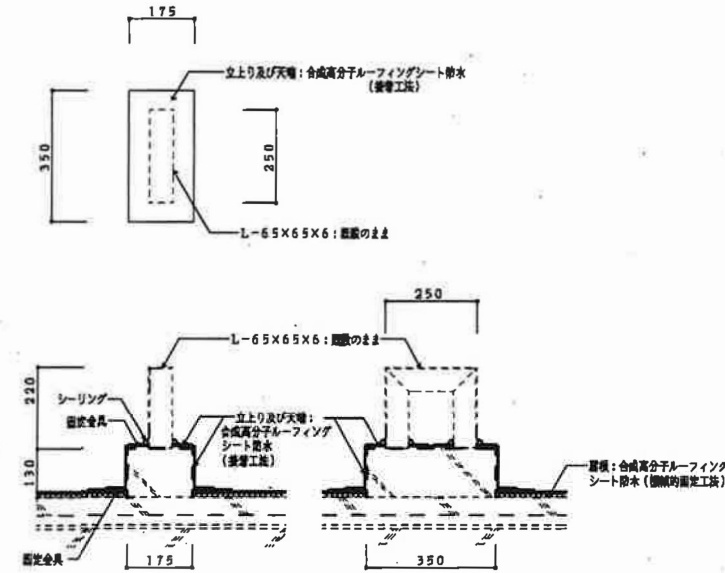
凡例	
	工事内容を示す
	防水改修箇所を示す（機材の指定工法）
	
	防水層支保具設置を示す
	防水層立下りを示す
●	防水層設置立上りを示す
○	既設防水層立上りを示す
△	アンチシフトガラスキャップを示す
+	アンチシフト固定式安全柵を示す

参考図-1

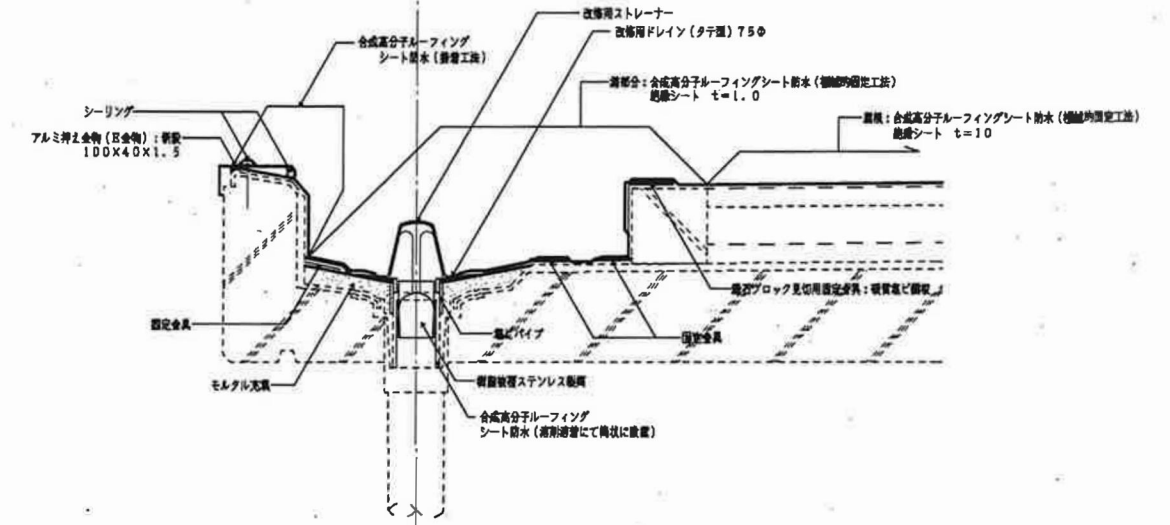
※図中、防水シート、透気膜等はメーカー仕様による。



給水管支持部詳細図 1/10

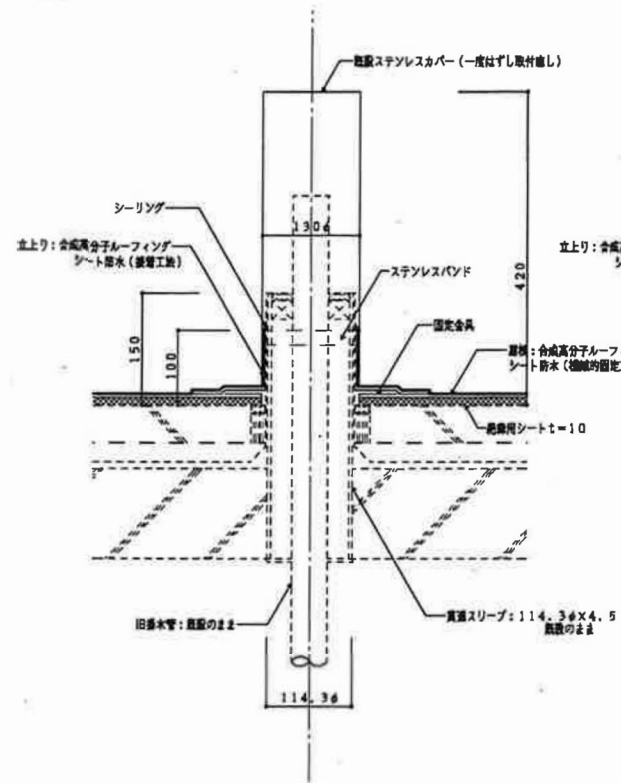


給水管支持部詳細図 1/10

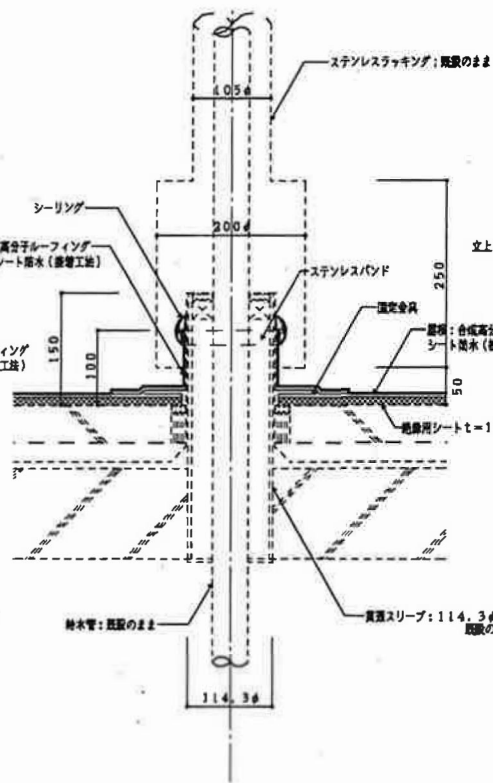


ドレーン及びパラペット廻り詳細図 1/5

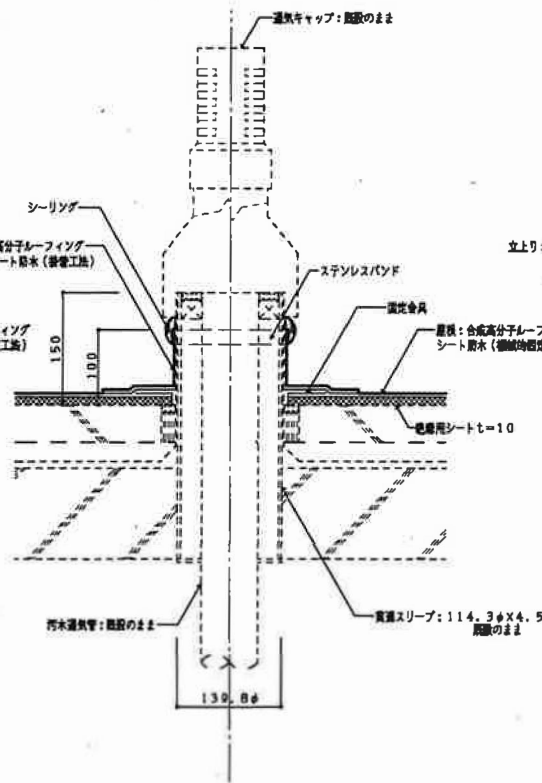
※「シーリング」は変成シリコンとする。



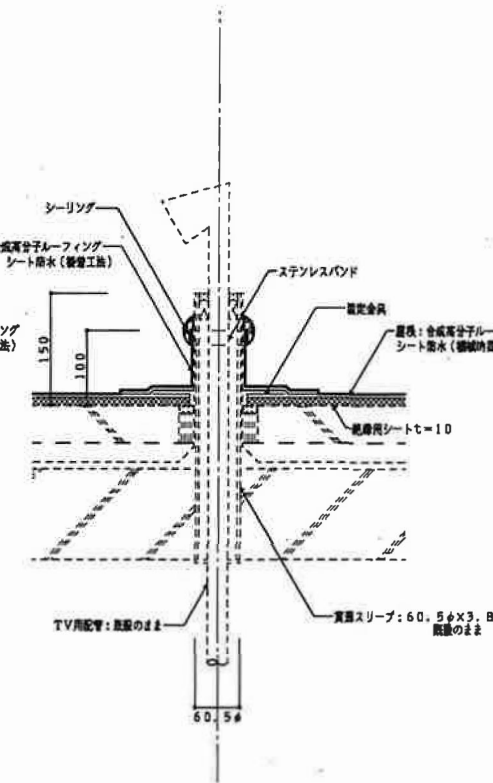
旧給水管立ち上り詳細図 1/5



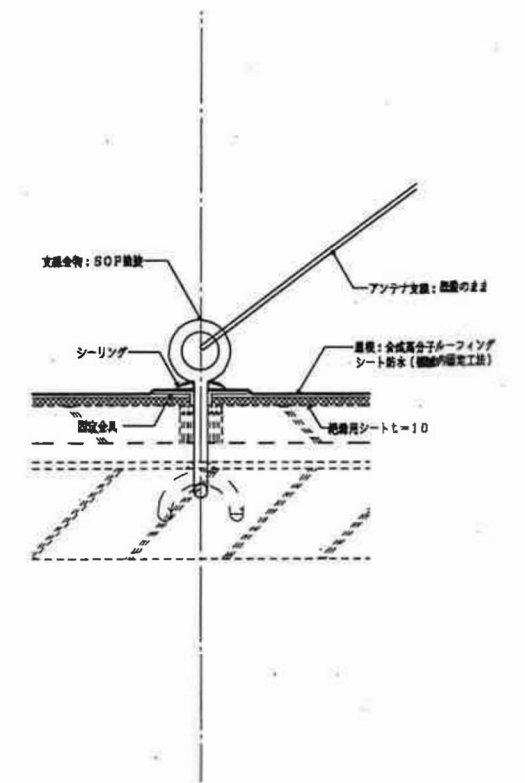
給水管立ち下り詳細図 1/5



汚水通気管立ち上り詳細図 1/5



アンテナエントランスキャップ詳細図 1/5



アンテナ支柱支持金物詳細図 1/5

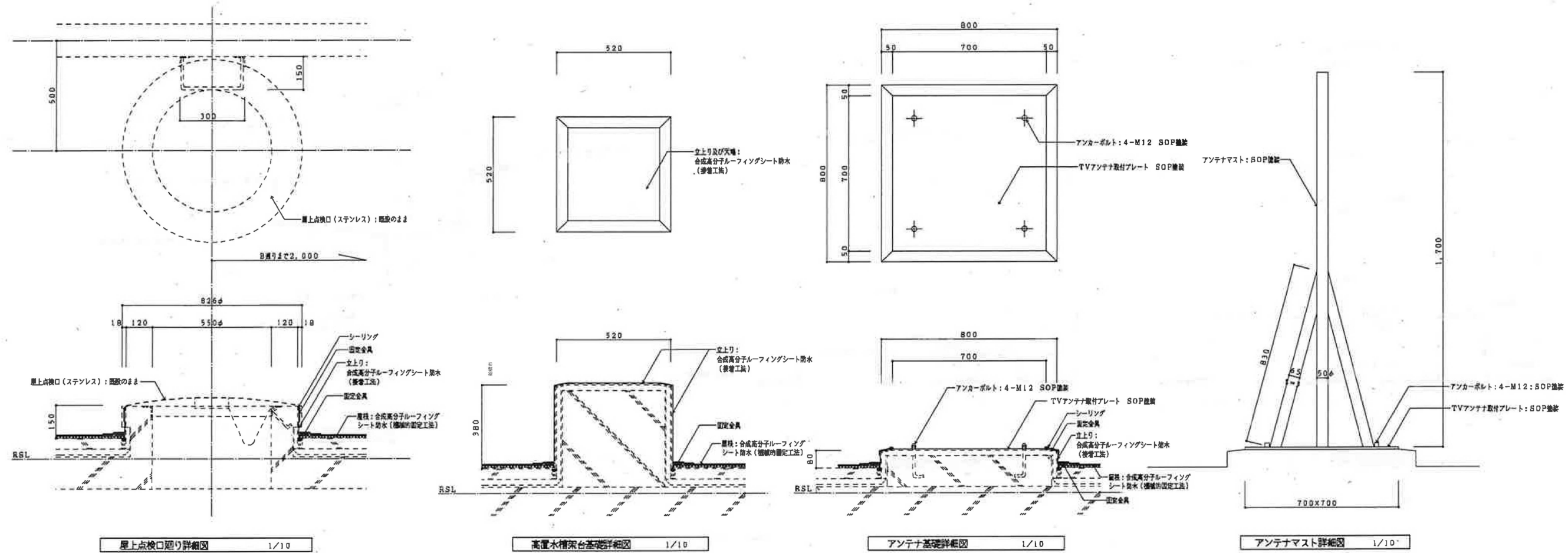
屋上防水改修 (H16) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名	国家公務員宿舎2和住宅跡地建物解体工事	図面番号	K-74
図面名	各部詳細図 (1) (8号棟) 参考図-1	図尺	(132/133)
作成	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	

参考図-2

※固定金具、防水シート、防水処理等はメーカー仕様による。



屋上防水改修 (H16) 既存図面

有限会社 佐藤建築構造設計事務所
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2012-6537号
一級建築士登録 第241683号 佐藤暢彦

工事名 国家公務員宿舎二和住宅跡地建物解体工事
図面名 各部詳細図 (2) (8号棟) 参考図-2
船橋市建設局建築部建築課

図面番号 K-75
(133/133)
令和7年度